

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第4136238号
(P4136238)

(45) 発行日 平成20年8月20日(2008.8.20)

(24) 登録日 平成20年6月13日(2008.6.13)

(51) Int.Cl.

F 1

G03G 5/147 (2006.01)

G03G 5/147 502

G03G 5/06 (2006.01)

G03G 5/06 312

G03G 5/07 (2006.01)

G03G 5/07 103

請求項の数 26 (全 128 頁)

(21) 出願番号

特願平11-353227

(22) 出願日

平成11年12月13日(1999.12.13)

(65) 公開番号

特開2001-166516(P2001-166516A)

(43) 公開日

平成13年6月22日(2001.6.22)

審査請求日

平成18年12月5日(2006.12.5)

(73) 特許権者 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(74) 代理人 100065385

弁理士 山下 橋平

(72) 発明者 大地 敦

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キ
ヤノン株式会社内

(72) 発明者 菊地 慶裕

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キ
ヤノン株式会社内

(72) 発明者 植松 弘規

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キ
ヤノン株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】電子写真感光体、プロセスカートリッジ及び電子写真装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

導電性支持体及び該導電性支持体上に設けられた感光層を有する電子写真感光体において、

該電子写真感光体の最表面層が、同一分子内に2つ以上の連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物を重合した化合物を含有し、

該最表面層の示差走査熱分析での発熱量が60mJ/mg以下であることを特徴とする電子写真感光体。

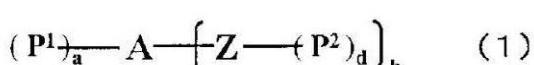
【請求項 2】

前記最表面層の示差走査熱分析での発熱量が40mJ/mg以下である請求項1に記載の電子写真感光体。 10

【請求項 3】

前記連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物が、下記一般式(1)で示される化合物である請求項1又は2に記載の電子写真感光体。

【化1】



(一般式(1)中、Aは正孔輸送性基を示す。P¹及びP²は連鎖重合性官能基を示す。)

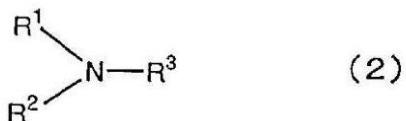
20

P^1 と P^2 は同一でも異なっても良い。Zは置換基を有しても良い有機基を示す。a、b及びdは0又は1以上の整数を示し、 $a + b \times d$ は2以上の整数を示す。また、aが2以上の場合 P^1 は同一でも異なっても良く、dが2以上の場合 P^2 は同一でも異なっても良く、またbが2以上の場合、Z及び P^2 は同一でも異なっても良い。)

【請求項4】

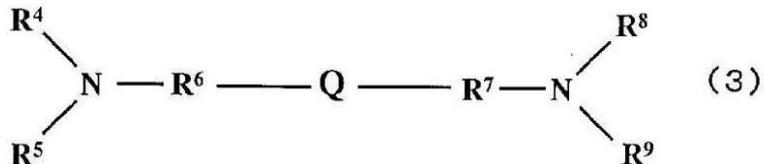
前記一般式(1)中のAの、Aと P^1 との結合部位及びAとZとの結合部位を水素原子に置き換えた正孔輸送性化合物が、下記一般式(2)で示される化合物、下記一般式(3)で示される化合物、下記一般式(4)で示される化合物、下記一般式(5)で示される化合物、下記一般式(7)で示される化合物、縮合環炭化水素、及び、縮合複素環(但し、下記一般式(7)で示される化合物、縮合環炭化水素、及び、縮合複素環は、下記一般式(8)で示される置換基を1つ以上有する。)からなる群から選ばれた少なくとも1種である請求項3に記載の電子写真感光体。

【化2】



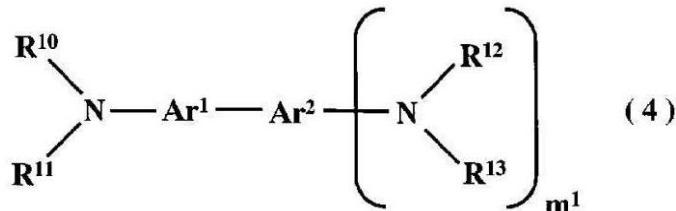
(一般式(2)中、 R^1 、 R^2 及び R^3 は置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基又は置換基を有しても良いアリール基を示す。但し、少なくともそのうち2つはアリール基を示す。また、 R^1 、 R^2 及び R^3 はそれぞれ同一であっても異なっていてもよい。)

【化3】



(一般式(3)中、 R^4 、 R^5 、 R^8 及び R^9 は置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基又は置換基を有しても良いアリール基を示し、 R^4 、 R^5 、 R^8 及び R^9 はそれぞれ同一であっても異なっていてもよい。 R^6 及び R^7 は置換基を有しても良いアルキレン基又は置換基を有しても良いアリーレン基を示し、 R^6 及び R^7 は同一であっても異なっていてもよい。Qは置換基を有しても良い有機基を示す。)

【化4】



(一般式(4)中、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 及び R^{13} は置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基又は置換基を有しても良いアリール基を示す。また、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 及び R^{13} はそれぞれ同一であっても異なっていてもよい。Ar¹及びAr²は置換基を有しても良いアリーレン基を示し、それぞれ同一でも異なっても良い。 m^1 は0又は1を示す。)

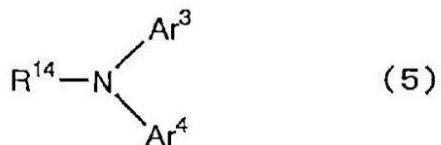
10

20

30

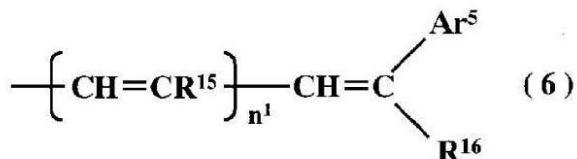
40

【化5】



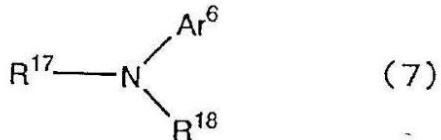
{(一般式(5)中、Ar³及びAr⁴は置換基を有しても良いアリール基を示し、Ar³及びAr⁴は同一でも異なっても良い。R¹⁴は置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基又は置換基を有しても良いアリール基を示す。)但し、Ar³、Ar⁴及びR¹⁴のうち少なくとも1つは、下記一般式(6)で示される基を有する。}

【化6】



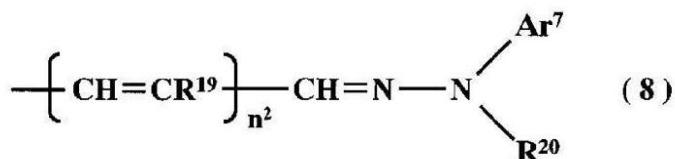
(一般式(6)中、R¹⁵及びR¹⁶は置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基、置換基を有しても良いアリール基又は水素原子を示し、R¹⁵及びR¹⁶は同一であっても異なってもよい。Ar⁵は置換基を有しても良いアリール基を示す。n¹は0~2の整数を示す。)}

【化7】



(一般式(7)中、R¹⁷及びR¹⁸は置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基又は置換基を有しても良いアリール基を示し、R¹⁷及びR¹⁸は同一であっても異なってもよい。Ar⁶は置換基を有しても良いアリール基を示す。)

【化8】



(一般式(8)中、R¹⁹及びR²⁰は置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基、置換基を有しても良いアリール基又は水素原子を示し、R¹⁹及びR²⁰は同一であっても異なってもよい。Ar⁷は置換基を有しても良いアリール基を示す。n²は0~2の整数を示す。)

【請求項5】

前記一般式(1)中のZ又は前記一般式(3)中のQが、置換基を有しても良いアルキレン基、置換基を有しても良いアリーレン基、CR²¹=CR²²(R²¹及びR²²は置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアリール基又は水素原子を示し、R²¹及びR²²は同一であっても異なっていても良い。)、C=O、S=O、SO₂、酸素原子又は硫黄原子からなる群より選ばれた1つの、あるいは2つ以上が組み合わされてなる有機基である請求項3又は4に記載の電子写真感光体。

【請求項6】

10

20

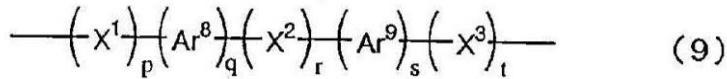
30

40

50

前記一般式(1)中のZ又は一般式(3)中のQが、下記一般式(9)で示される基である請求項3乃至5のいずれかに記載の電子写真感光体。

【化9】

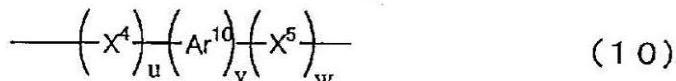


(一般式(9)中、 $X^1 \sim X^3$ は置換基を有しても良いアルキレン基、($CR^{2 \sim 3} = CR^{2 \sim 4}$)_{m2}、C=O、S=O、SO₂、酸素原子又は硫黄原子を示し、Ar⁸及びAr⁹は置換基を有しても良いアリーレン基を示す。R^{2~3}及びR^{2~4}は置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアリール基又は水素原子を示し、R^{2~3}及びR^{2~4}は同一であっても異なっていても良い。m2は1~5の整数、p、q、r、s及びtは0~10の整数を示す。但し、p、q、r、s及びtは同時に0であることはない。)

【請求項7】

前記一般式(1)中のZ又は一般式(3)中のQが、下記一般式(10)で示される基である請求項3乃至5のいずれかに記載の電子写真感光体。

【化10】



(一般式(10)中、Ar^{1~0}は置換基を有しても良いアリーレン基を示す。 X^4 及び X^5 は(CH_2)_{m3}、($CH=CR^{2~5}$)_{m4}、C=O又は酸素原子を示す。R^{2~5}は置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアリール基又は水素原子を示し、m3は1~10の整数、m4は1~5の整数、u、v及びwは0~10の整数を示す。但し、u、v及びwは同時に0であることはない。)

【請求項8】

前記一般式(2)中のR¹、R²及びR³が置換基を有しても良いアリール基である請求項4乃至7のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項9】

前記一般式(3)中のR⁴、R⁵、R⁸及びR⁹のうち少なくとも2つが置換基を有しても良いアリール基であり、R⁶及びR⁷が置換基を有しても良いアリーレン基である請求項4乃至7のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項10】

前記一般式(3)中のR⁴、R⁵、R⁸及びR⁹が置換基を有しても良いアリール基である請求項9に記載の電子写真感光体。

【請求項11】

前記一般式(4)中のR^{1~0}及びR^{1~1}が置換基を有しても良いアリール基である請求項4乃至7のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項12】

前記一般式(4)中のm¹が1であり、R^{1~0}、R^{1~1}、R^{1~2}及びR^{1~3}が置換基を有しても良いアリール基である請求項11に記載の電子写真感光体。

【請求項13】

前記一般式(5)中のR^{1~4}が置換基を有しても良いアリール基である請求項4乃至7のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項14】

前記一般式(6)中のR^{1~6}が置換基を有しても良いアリール基である請求項13に記載の電子写真感光体。

【請求項15】

前記一般式(7)中のR^{1~7}及びR^{1~8}が置換基を有しても良いアリール基である請求

10

20

30

40

50

項4乃至7のいずれかに記載の電子写真感光体。

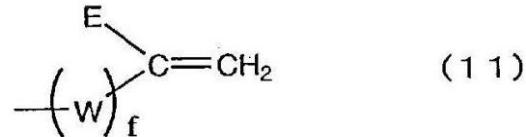
【請求項16】

前記一般式(8)中のR²⁰が置換基を有しても良いアリール基である請求項15に記載の電子写真感光体。

【請求項17】

前記連鎖重合性官能基P¹及びP²の一方又は両方が、下記一般式(11)で示される不飽和重合性官能基である請求項3乃至16のいずれかに記載の電子写真感光体。

【化11】



10

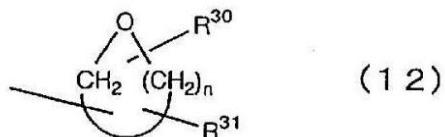
(一般式(11)中、Eは水素原子、ハロゲン原子、置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアリール基、シアノ基、ニトロ基、アルコキシ基、-COOR²⁶{R²⁶は水素原子、ハロゲン原子、置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基又は置換基を有しても良いアリール基を示す。}又は-CO NR²⁷R²⁸{R²⁷及びR²⁸は水素原子、ハロゲン原子、置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基又は置換基を有しても良いアリール基を示し、互いに同一であっても異なっていてもよい。}を示す。Wは置換基を有しても良いアリーレン基、置換基を有しても良いアルキレン基、-COO-、-CH₂-、-O-、-OO-、-S-又は-CO NR²⁹-{R²⁹は水素原子、ハロゲン原子、置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基又は置換基を有しても良いアリール基を示す。}を示す。fは0又は1を示す。)

20

【請求項18】

前記連鎖重合性官能基P¹及びP²の一方又は両方が、下記一般式(12)で示される環状エーテル基である請求項3乃至16のいずれかに記載の電子写真感光体。

【化12】



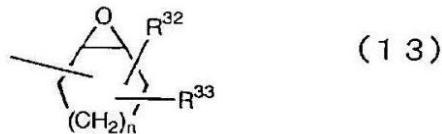
30

(一般式(12)中、R³⁰及びR³¹は水素原子、置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基又は置換基を有しても良いアリール基を示す。nは1~10の整数を示す。)

【請求項19】

前記連鎖重合性官能基P¹及びP²の一方又は両方が、下記一般式(13)で示される脂環式エポキシ基である請求項3乃至16のいずれかに記載の電子写真感光体。

【化13】



40

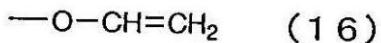
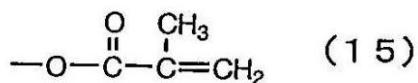
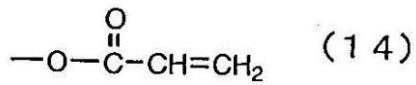
(一般式(13)中、R³²及びR³³は水素原子、置換基を有しても良いアルキル基、置換基を有しても良いアラルキル基又は置換基を有しても良いアリール基を示す。nは0~10の整数を示す。)

【請求項20】

前記連鎖重合性官能基P¹及びP²の一方又は両方が、下記構造式(14)乃至(20)

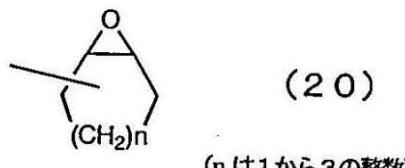
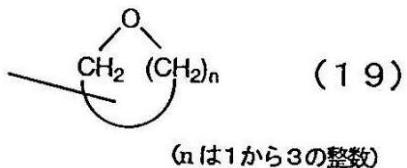
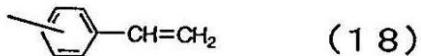
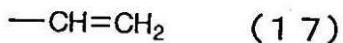
50

) のいずれかで示される基である請求項 3 乃至 16 のいずれかに記載の電子写真感光体。
【化 14】



【化 15】

10



【請求項 21】

20

同一分子内に 2 つ以上の連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物の酸化電位が、0 . 4 ~ 1 . 2 (V) である請求項 1 乃至 20 のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項 22】

前記重合が、電子線によって行われる重合である請求項 1 乃至 21 のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項 23】

前記電子線の加速電圧が、250 kV 以下である請求項 22 に記載の電子写真感光体。

【請求項 24】

前記電子線の線量が、1 ~ 100 Mrad である請求項 22 又は 23 に記載の電子写真感光体。

30

【請求項 25】

請求項 1 乃至 24 のいずれかに記載の電子写真感光体と、該電子写真感光体を帯電させる帯電手段、静電潜像の形成された電子写真感光体をトナーで現像する現像手段、及び、転写工程後の電子写真感光体上に残余するトナーを回収するクリーニング手段からなる群より選ばれる少なくとも 1 つの手段とを共に一体に支持し、電子写真装置本体に着脱自在であることを特徴とするプロセスカートリッジ。

【請求項 26】

請求項 1 乃至 24 のいずれかに記載の電子写真感光体、該電子写真感光体を帯電させる帯電手段、帯電した該電子写真感光体に対して露光を行い該電子写真感光体上に静電潜像を形成する露光手段、該電子写真感光体上に形成された静電潜像をトナーで現像する現像手段、及び、該電子写真感光体上のトナー像を転写材上に転写する転写手段を備えることを特徴とする電子写真装置。

40

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は電子写真感光体、プロセスカートリッジ及び電子写真装置に関し、詳しくは、特定の正孔輸送化合物を感光層に有する電子写真感光体、その電子写真感光体を有するプロセスカートリッジ及び電子写真装置に関する。

【0002】

50

【従来の技術】

従来、電子写真感光体に用いられる光導電材料としては、セレン、硫化カドミウム及び酸化亜鉛等の無機材料が知られていた。他方、有機材料であるポリビニルカルバゾール、フタロシアニン及びアゾ顔料等は高生産性や無公害性等の利点が注目され、無機材料と比較して光導電特性や耐久性等の点で劣る傾向にあるものの、広く用いられるようになってきた。

【0003】

これらの電子写真感光体は、電気的及び機械的特性の双方を満足するために電荷発生層と電荷輸送層を積層した機能分離型の電子写真感光体として利用される場合が多い。一方、当然のことながら電子写真感光体には適用される電子写真プロセスに応じた感度、電気的特性、更には光学的特性を備えていることが要求される。

10

【0004】

特に、繰り返し使用される電子写真感光体にあっては、その電子写真感光体の表面には帯電、画像露光、トナー現像、紙への転写、クリーニング処理といった電気的、機械的外力が直接加えられるため、それらに対する耐久性が要求される。具体的には、摩擦による表面の磨耗や傷の発生に対する耐久性、帯電による表面劣化（例えば転写効率や滑り性の低下）、更には感度低下、電位低下等の電気特性の劣化に対する耐久性も要求される。

【0005】

一般に電子写真感光体の表面は薄い樹脂層であり、樹脂の特性が非常に重要である。上述の諸条件をある程度満足する樹脂として、近年、アクリル樹脂やポリカーボネート樹脂等が実用化されているが、前述したような特性の全てがこれらの樹脂で満足されるわけではなく、特に電子写真感光体の高耐久化を図る上では樹脂の被膜硬度は十分高いとは言い難い。これらの樹脂を表面層形成用の樹脂として用いた場合でも繰り返し使用時において表面層の磨耗が起こり、更に傷が発生するという問題点があった。

20

【0006】

更に、近年の有機電子写真感光体の高感度化に対する要求から電荷輸送材料等の低分子量化合物が比較的大量に添加される場合が多いが、この場合それら低分子量材料の可塑剤的な作用により膜強度が著しく低下し、一層繰り返し使用時の表面層の磨耗や傷発生が問題となっている。また、電子写真感光体を長期にわたって保存する際に前述の低分子量成分が析出してしまい、層分離するといった問題も発生している。

30

【0007】

これらの問題点を解決する手段として、硬化性の樹脂を電荷輸送層用の樹脂として用いる試みが、例えば特開平2-127652号公報に開示されている。このように、電荷輸送層用の樹脂に硬化性の樹脂を用い電荷輸送層を硬化、架橋することによって機械的強度が増し、繰り返し使用時の耐削れ性及び耐傷性は大きく向上する。しかしながら硬化性樹脂を用いても、低分子量成分はあくまでも結着樹脂中において可塑剤として作用するので、先に述べたような析出や層分離の問題の根本的な解決にはなっていない。

【0008】

また、有機電荷輸送材料と結着樹脂とで構成される電荷輸送層においては、電荷輸送能の樹脂に対する依存度が大きく、例えば硬度が十分に高い硬化性樹脂では電荷輸送能が十分ではなく繰り返し使用時に残留電位の上昇が見られる等、両者を満足させるまでには至っていない。また、特開平5-216249号公報、特開平7-72640号公報等においては、電荷移動層に炭素-炭素二重結合を有するモノマーを含有させ、電荷移動材の炭素-炭素二重結合と熱あるいは光のエネルギーによって反応させて電荷移動層硬化膜を形成した電子写真感光体が開示されているが、電荷輸送材はポリマー主骨格にペンドント状に固定化されているだけであり、先の可塑的な作用を十分に排除できないため機械的強度が十分ではない。また、電荷輸送能の向上のために電荷輸送材の濃度を高くすると、架橋密度が低くなり十分な機械的強度を確保することができない。更には、重合時に必要とされる開始剤類の電子写真特性への影響も懸念されていた。

40

【0009】

50

また、別の解決手段として例えば特開平8-248649号公報においては、熱可塑性高分子主鎖中に電荷輸送能を有する基を導入し電荷輸送層を形成させた電子写真感光体が開示されているが、従来の分子分散型の電荷輸送層と比較して析出や層分離に対しては効果があり、機械的強度も向上するが、あくまでも熱可塑性樹脂であり、その機械的強度には限界があり、樹脂の溶解性等を含めたハンドリングや生産性の面で十分であるとは言い難い。

【0010】

以上述べたように、これまでの系では高い機械的強度と電荷輸送能の両立が達成されていなかった。

【0011】

10

【発明が解決しようとする課題】

本発明の目的は、従来の樹脂を表面層として使用した電子写真感光体の有していた問題点を解決し、膜強度を高くすることによって耐磨耗性及び耐傷性を向上させ、かつ耐析出性が良好な電子写真感光体を提供することにある。

【0012】

本発明の別の目的は、繰り返し使用や環境の変動によらず、安定して優れた電位特性を示し、カブリ等の画像欠陥のない良好な画質を与え、更に転写メモリーやフォトメモリーの極めて小さい優れた電子写真感光体を提供することにある。

【0013】

本発明の更に別の目的は、上記電子写真感光体を有するプロセスカートリッジ及び電子写真装置を提供することにある。

20

【0014】

【課題を解決するための手段】

本発明に従って、導電性支持体及び該導電性支持体上に設けられた感光層を有する電子写真感光体において、

該電子写真感光体の最表面層が、同一分子内に2つ以上の連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物を重合した化合物を含有し、

該最表面層の示差走査熱分析での発熱量が60 mJ / mg以下であることを特徴とする電子写真感光体が提供される。

【0015】

30

また、本発明に従って、上記電子写真感光体を有するプロセスカートリッジ及び電子写真装置が提供される。

【0016】

【発明の実施の形態】

以下に本発明の実施の形態を詳細を説明する。

【0017】

まず、本発明における連鎖重合性官能基について説明する。本発明における連鎖重合とは、高分子物の生成反応を大きく連鎖重合と逐次重合に分けた場合の前者の重合反応形態を示し、詳しくは例えば技報堂出版 三羽忠広著の「基礎 合成樹脂の化学(新版)」1995年7月25日(1版8刷)24頁に説明されているように、その形態が主にラジカルあるいはイオン等の中間体を経由して反応が進行する不飽和重合、開環重合そして異性化重合等のことをいう。

40

【0018】

前記一般式(1)における連鎖重合性官能基P¹及びP²とは、前述の反応形態が可能な官能基を意味するが、ここではその大半を占め応用範囲の広い不飽和重合あるいは開環重合性官能基の具体例を示す。

【0019】

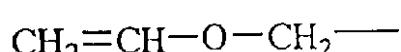
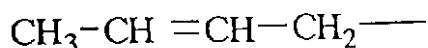
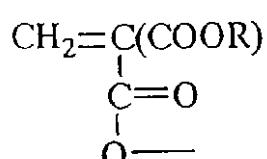
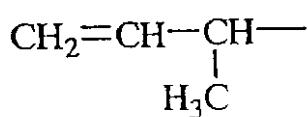
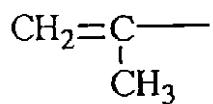
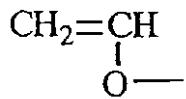
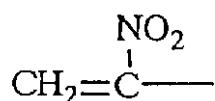
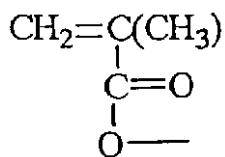
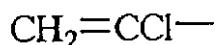
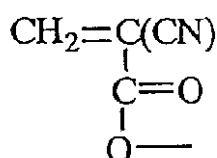
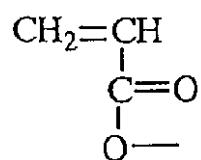
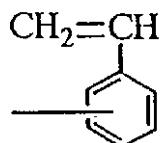
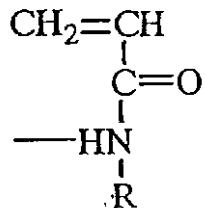
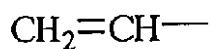
不飽和重合とは、ラジカル、イオン等によって不飽和基、例えばC=C、C-C、C=O、C=N、C-N等が重合する反応であるが、主にはC=Cである。不飽和重合性官能基の具体例を表1に示すがこれらに限定されるものではない。

50

【0020】

【表1】

表1：不飽和重合性官能基の具体例



【0021】

表中、Rは置換基を有してもよいメチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等のアルキル基、置換基を有しても良いベンジル基、フェネチル基、ナフチルメチル基、フルフリル基及びチエニル基等のアラルキル基、置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基及びアンスリル基等のアリール基又は水素原子を示す。

【0022】

10

20

30

40

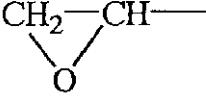
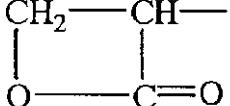
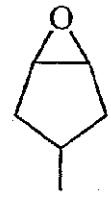
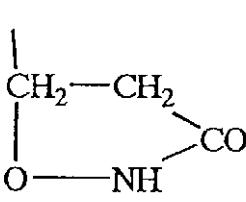
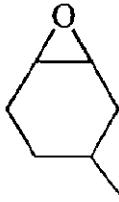
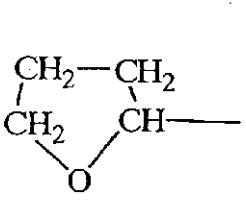
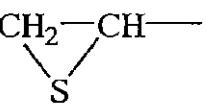
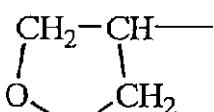
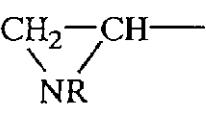
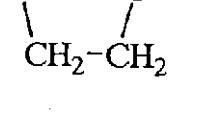
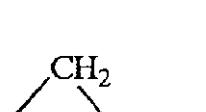
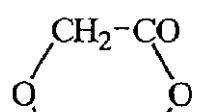
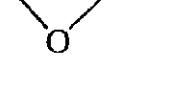
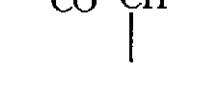
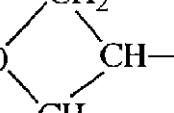
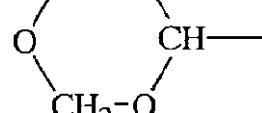
50

開環重合とは、炭素環、オクソ環及び窒素ヘテロ環等のひずみを有した不安定な環状構造が触媒の作用で活性化され、開環すると同時に重合を繰り返し鎖状高分子物を生成する反応であるが、この場合、基本的にはイオンが活性種として作用するものが大部分である。開環重合性官能基の具体例を表2に示すがこれらに限定されるものではない。

【0023】

【表2】

表2. 開環重合性官能基の具体例

		10
		
		20
		
		30
		
		40
		

【0024】

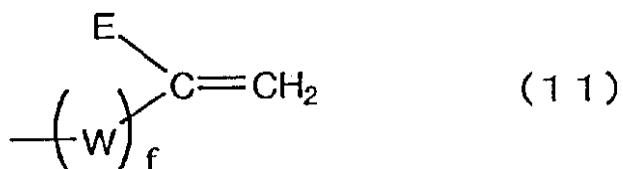
表中、Rは置換基を有してもよいメチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等のアルキル基、置換基を有しても良いベンジル基、フェネチル基、ナフチルメチル基、フルフリル基及びチエニル基等のアラルキル基、置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基及びアンスリル基等のアリール基又は水素原子を示す。

【0025】

上記で説明したような本発明に係わる連鎖重合性官能基の中でも、下記の一般式(11)～一般式(13)で示されるものが好ましい。

【0026】

【化16】



10

【0027】

式中、Eは水素原子、フッ素、塩素及び臭素等のハロゲン原子、置換基を有しても良いメチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等のアルキル基、置換基を有しても良いベンジル基、フェネチル基、ナフチルメチル基、フルフリル基及びチエニル基等のアラルキル基、置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基、アンスリル基、ピレニル基、チオフェニル基及びフリル基等のアリール基、CN基、ニトロ基、メトキシ基、エトキシ基及びプロポキシ基等のアルコキシ基、-COOR²⁶又は-CO NR²⁷R²⁸を示す。

【0028】

Wは置換基を有しても良いフェニレン基、ナフチレン基及びアントラセニレン基等のアリーレン基、置換基を有しても良いメチレン基、エチレン基及びブチレン基等のアルキレン基、-COO-、-CH₂-、-O-、-OO-、-S-又は-CO NR²⁹-で示される。

20

【0029】

R²⁶～R²⁹は水素原子、フッ素、塩素及び臭素等のハロゲン原子、置換基を有しても良いメチル基、エチル基及びプロピル基等のアルキル基、置換基を有しても良いベンジル基及びフェネチル基等のアラルキル基又は置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基及びアンスリル基等のアリール基を示し、R²⁷とR²⁸は互いに同一であっても異なっても良い。また、fは0又は1を示す。

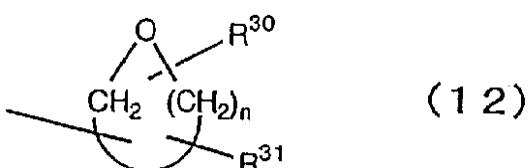
【0030】

30

E及びW中で有してもよい置換基としては、フッ素、塩素、臭素及びヨウ素等のハロゲン原子；ニトロ基、シアノ基、水酸基；メチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等のアルキル基；メトキシ基、エトキシ基及びプロポキシ基等のアルコキシ基；フェノキシ基及びナフトキシ基等のアリールオキシ基；ベンジル基、フェネチル基、ナフチルメチル基、フルフリル基及びチエニル基等のアラルキル基；又はフェニル基、ナフチル基、アンスリル基及びピレニル基等のアリール基等が挙げられる。

【0031】

【化17】



40

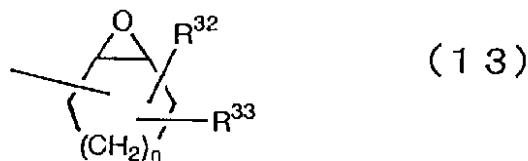
【0032】

式中、R³⁰及びR³¹は水素原子、置換基を有しても良いメチル基、エチル基プロピル基及びブチル基等のアルキル基、置換基を有しても良いベンジル基及びフェネチル基等のアラルキル基、又は置換基を有しても良いフェニル基及びナフチル基等のアリール基を示し、nは1～10の整数を示す。

【0033】

50

【化18】



【0034】

式中、R³²及びR³³は水素原子、置換基を有しても良いメチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等のアルキル基、置換基を有しても良いベンジル基及びフェネチル基等のアラルキル基、又は置換基を有しても良いフェニル基及びナフチル基等のアリール基を示し、nは0～10の整数を示す。

【0035】

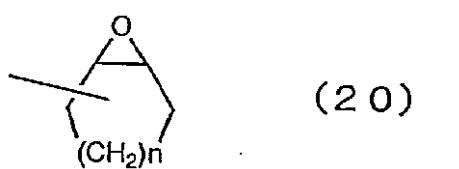
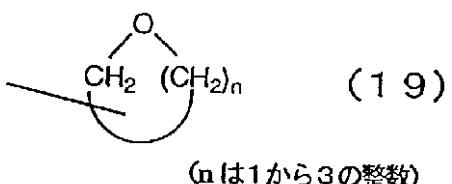
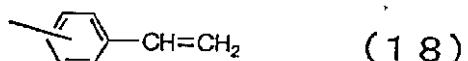
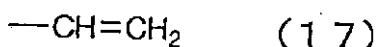
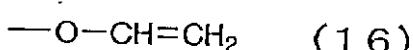
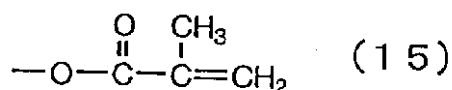
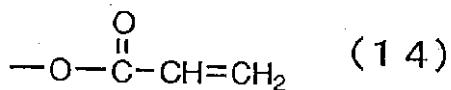
なお、上記一般式(12)及び(13)のR³⁰～R³³が有しても良い置換基としてはフッ素、塩素、臭素及びヨウ素等のハロゲン原子；メチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等のアルキル基；メトキシ基、エトキシ基及びプロポキシ基等のアルコキシ基；フェノキシ基及びナフトキシ基等のアリールオキシ基；ベンジル基、フェネチル基、ナフチルメチル基、フルフリル基及びチエニル基等のアラルキル基；又はフェニル基、ナフチル基、アンスリル基及びピレニル基等のアリール基等が挙げられる。

【0036】

また、上記一般式(11)～一般式(13)の中でも、更に特に好ましい連鎖重合性官能基としては、下記一般式(14)～一般式(20)で示されるものが挙げられる。

【0037】

【化19】



【0038】

更に、上記一般式(14)～一般式(20)の中でも、一般式(14)のアクリロイルオキシ基及び一般式(15)のメタクリロイルオキシ基が重合特性等の点から特に好ましい。

【0039】

本発明で『連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物』とは、上記で説明した連鎖重合性官能基が上記で説明した正孔輸送性化合物に官能基として2つ以上の化学結合している化合物を示す。この場合、それらの連鎖重合性官能基は全て同一でも異なったものであつ

10

20

30

40

50

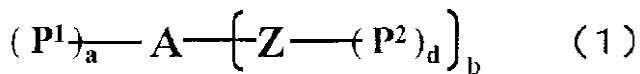
てもよい。

【0040】

それらの連鎖重合性官能基を2つ以上有する正孔輸送性化合物としては、下記の一般式(1)である場合が好ましい。

【0041】

【化20】



10

【0042】

式中、Aは正孔輸送性基を示す。P¹及びP²は連鎖重合性官能基を示し、P¹とP²は同一でも異なっても良い。Zは置換基を有しても良い有機基を示す。a、b及びdは0又は1以上の整数を示し、a+b×dは2以上の整数を示す。また、aが2以上の場合P¹は同一でも異なっても良く、dが2以上の場合P²は同一でも異なっても良く、またbが2以上の場合、Z及びP²は同一でも異なっても良い。

【0043】

なおここで、『aが2以上の場合P¹は同一でも異なっても良く』とは、それぞれ異なるn種類の連鎖重合性官能基をP¹¹、P¹²、P¹³、P¹⁴、P¹⁵……P¹ⁿと示した場合、例えばa=3のとき正孔輸送性化合物Aに直接結合する重合性官能基P¹は3つとも同じものでも、2つ同じで一つは違うもの（例えば、P¹¹とP¹¹とP¹²とか）でも、それぞれ3つとも異なるもの（例えば、P¹²とP¹⁵とP¹⁷とか）でも良いということを意味するものである（『dが2以上の場合P²は同一でも異なっても良く』というのも、『bが2以上の場合、Z及びP²は同一でも異なっても良い』というのもこれと同様なことを意味するものである）。

20

【0044】

上記一般式(1)のAは正孔輸送性基を示し、正孔輸送性を示すものであればいずれのものでもよく、P¹やZとの結合部位を水素原子に置き換えた水素付加化合物（正孔輸送化合物）として示せば、例えば、オキサゾール誘導体、オキサジアゾール誘導体、イミダゾール誘導体及びトリフェニルアミン等のトリアリールアミン誘導体、9-(p-ジエチルアミノスチリル)アントラセン、1,1-ビス-(4-ジベンジルアミノフェニル)プロパン、スチリルアントラセン、スチリルピラゾリン、フェニルヒドラゾン類、チアゾール誘導体、トリアゾール誘導体、フェナジン誘導体、アクリジン誘導体、ベンゾフラン誘導体、ベンズイミダゾール誘導体、チオフェン誘導体及びN-フェニルカルバゾール誘導体等が挙げられる。

30

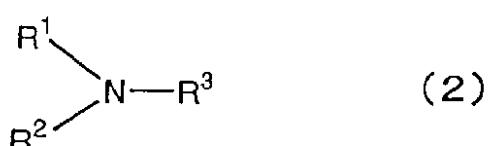
【0045】

更に、上記正孔輸送化合物の中でも、下記一般式(2)、(3)、(4)、(5)及び(7)から選ばれる一般式で示される化合物、あるいは下記一般式(8)で示される基を有する縮合環炭化水素又は下記一般式(8)で示される基を有する縮合複素環であるものが好ましい。その中でも、一般式(2)、(3)及び(4)で示される化合物である場合が特に好ましい。

40

【0046】

【化21】



【0047】

50

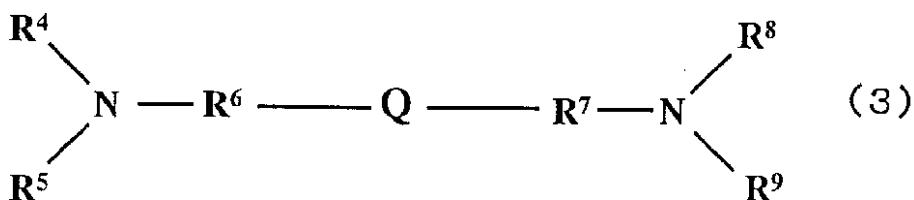
上記一般式(2)中、R¹、R²及びR³は置換基を有しても良いメチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等の炭素数10以下のアルキル基、置換基を有しても良いベンジル基、フェネチル基、ナフチルメチル基、フルフリル基及びチエニル基等のアラルキル基又は置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基、アンスリル基、フェナンスリル基、ピレニル基、チオフェニル基、フリル基、ピリジル基、キノリル基、ベンゾキノリル基、カルバゾリル基、フェノチアジニル基、ベンゾフリル基及びベンゾチオフェニル基等のアリール基を示す。

【0048】

但し、R¹、R²及びR³のうち少なくとも2つはアリール基を示し、R¹、R²及びR³はそれぞれ同一であっても異なっていてもよい。更に、その中でもR¹、R²及びR³の全てがアリール基であるものが特に好ましい。また、上記一般式(2)のR¹又はR²又はR³のうち任意の2つはそれぞれ直接もしくは結合基を介して結合しても良く、その結合基としては、メチレン基、エチレン基及びプロピレン基等のアルキレン基、酸素及び硫黄原子等のヘテロ原子又はC H = C H基等が挙げられる。10

【0049】

【化22】



10

20

【0050】

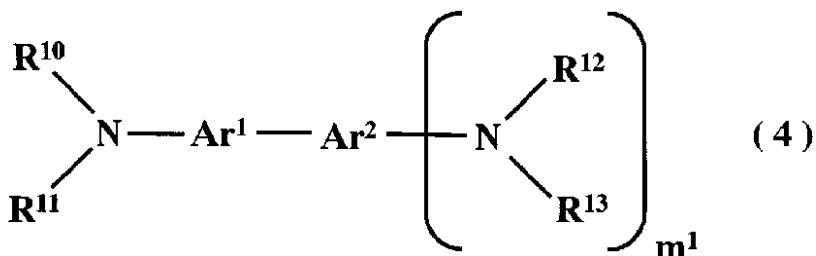
上記一般式(3)中、R⁴、R⁵、R⁸及びR⁹は置換基を有しても良いメチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等の炭素数10以下のアルキル基、置換基を有しても良いベンジル基、フェネチル基、ナフチルメチル基、フルフリル基及びチエニル基等のアラルキル基又は置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基、アンスリル基、フェナンスリル基、ピレニル基、チオフェニル基、フリル基、ピリジル基、キノリル基、ベンゾキノリル基、カルバゾリル基、フェノチアジニル基、ベンゾフリル基、ベンゾチオフェニル基、ジベンゾフリル基及びジベンゾチオフェニル基等のアリール基を示し、R⁴、R⁵、R⁸及びR⁹はそれぞれ同一であっても異なっていてもよい。R⁶及びR⁷は置換基を有しても良いメチレン基、エチレン基及びプロピレン基等の炭素数10以下のアルキレン基、又は置換基を有しても良いアリーレン基(ベンゼン、ナフタレン、アントラセン、フェナンスレン、ピレン、チオフェン、フラン、ピリジン、キノリン、ベンゾキノリン、カルバゾール、フェノチアジン、ベンゾフラン、ベンゾチオフェン、ジベンゾフラン及びジベンゾチオフェン等より2個の水素を取り除いた基)を示し、R⁶及びR⁷は同一であっても異なっていてもよい。Qは置換基を有しても良い有機基を示す。30

【0051】

更にその中でも、上記一般式(3)中のR⁴、R⁵、R⁸及びR⁹のうち少なくとも2つが置換基を有しても良いアリール基であり、かつR⁶及びR⁷は置換基を有しても良いアリーレン基である場合が好ましく、更にR⁴、R⁵、R⁸及びR⁹が4つとも全てアリール基である場合が特に好ましい。また、上記一般式(3)のR⁴又はR⁵又はR⁶のうち任意の2つあるいはR⁷又はR⁸又はR⁹のうち任意の2つはそれぞれ直接もしくは結合基を介して結合しても良く、その結合基としては、メチレン基、エチレン基及びプロピレン基等のアルキレン基、酸素及び硫黄原子等のヘテロ原子又はC H = C H基等が挙げられる。40

【0052】

【化23】



【0053】

上記一般式(4)中、 m^1 は0又は1を示し、 $\text{m}^1 = 1$ であることが好ましく、 $\text{R}^{10} \sim \text{R}^{13}$ は置換基を有しても良いメチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等の炭素数10以下のアルキル基、置換基を有しても良いベンジル基、フェネチル基、ナフチルメチル基、フルフリル基及びチエニル基等のアラルキル基又は置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基、アンスリル基、フェナンスリル基、ピレニル基、チオフェニル基、フリル基、ピリジル基、キノリル基、ベンゾキノリル基、カルバゾリル基、フェノチアジニル基、ベンゾフリル基、ベンゾチオフェニル基、ジベンゾフリル基及びジベンゾチオフェニル基等のアリール基を示し、 $\text{R}^{10} \sim \text{R}^{13}$ はそれぞれ同一であっても異なっていてもよい。

【0054】

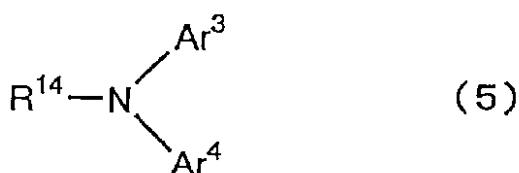
Ar^1 は置換基を有してもよいアリーレン基(ベンゼン、ナフタレン、アントラセン、フェナ NSレン、ピレン、チオフェン、フラン、ピリジン、キノリン、ベンゾキノリン、カルバゾール、フェノチアジン、ベンゾフラン、ベンゾチオフェン、ジベンゾフラン及びジベンゾチオフェン等より2個の水素を取り除いた基)を示し、 Ar^2 は $\text{m}^1 = 0$ の場合、置換基を有してもよいフェニル基、ナフチル基、アンスリル基、フェナンスリル基、ピレニル基、チオフェニル基、フリル基、ピリジル基、キノリル基、ベンゾキノリル基、カルバゾリル基、フェノチアジニル基、ベンゾフリル基、ベンゾチオフェニル基、ジベンゾフリル基及びジベンゾチオフェニル基等のアリール基を示し、 $\text{m}^1 = 1$ の場合は上記 Ar^1 と同様なアリーレン基を示す。なお、 $\text{m}^1 = 1$ の場合は、 Ar^1 と Ar^2 は同一であっても異なっていてもよい。

【0055】

更にその中でも、上記一般式(4)中の R^{10} 及び R^{11} が置換基を有しても良いアリール基である場合が好ましく、 $\text{R}^{10} \sim \text{R}^{13}$ が4つとも全てアリール基である場合が特に好ましい。また、上記一般式(4)の R^{10} と R^{11} 又は R^{12} と R^{13} 又は Ar^1 と Ar^2 はそれぞれ直接もしくは結合基を介して結合しても良く、その結合基としては、メチレン基、エチレン基及びプロピレン基等のアルキレン基、カルボニル基、酸素及び硫黄原子等のヘテロ原子又は $\text{C}=\text{C}$ 基等が挙げられる。

【0056】

【化24】

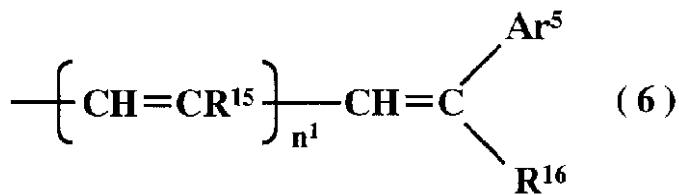


【0057】

但し上記一般式(5)中、 Ar^3 、 Ar^4 及び R^{14} のうち少なくとも1つは、下記一般式(6)で示される基を有する。

【0058】

【化25】



【0059】

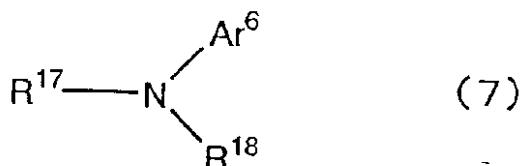
上記一般式(5)及び(6)中、 Ar^3 、 Ar^4 及び Ar^5 は置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基、アンスリル基、フェナンスリル基、ピレニル基、チオフェニル基、フリル基、ピリジル基、キノリル基、ベンゾキノリル基、カルバゾリル基、フェノチアジニル基、ベンゾフリル基、ベンゾチオフェニル基、ジベンゾフリル基及びジベンゾチオフェニル基等のアリール基を示し、 R^{14} 、 R^{15} 及び R^{16} は置換基を有しても良いメチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等の炭素数10以下のアルキル基、置換基を有しても良いベンジル基、フェネチル基、ナフチルメチル基、フルフリル基及びチエニル基等のアラルキル基、置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基、アンスリル基、フェナンスリル基、ピレニル基、チオフェニル基、フリル基、ピリジル基、キノリル基、ベンゾキノリル基、カルバゾリル基、フェノチアジニル基、ベンゾフリル基、ベンゾチオフェニル基、ジベンゾフリル基及びジベンゾチオフェニル基等のアリール基を示し、 R^{15} 及び R^{16} はこれらのアルキル基、アラルキル基及びアリール基に加えて水素原子を示す。なお、 Ar^3 及び Ar^4 と R^{15} 及び R^{16} はそれぞれ同一であっても異なっていてもよい。

【0060】

更にその中でも、 R^{14} 及び R^{16} がアリール基である場合が特に好ましい。また、 R^{14} 又は Ar^3 又は Ar^4 のうち任意の2つ、又は Ar^5 及び R^{16} はそれぞれ直接もしくは結合基を介して結合しても良く、その結合基としては、メチレン基、エチレン基及びプロピレン基等のアルキレン基、酸素及び硫黄原子等のヘテロ原子又は $\text{CH}=\text{CH}$ 基等が挙げられる。 n^1 は0~2の整数を示す。

【0061】

【化26】

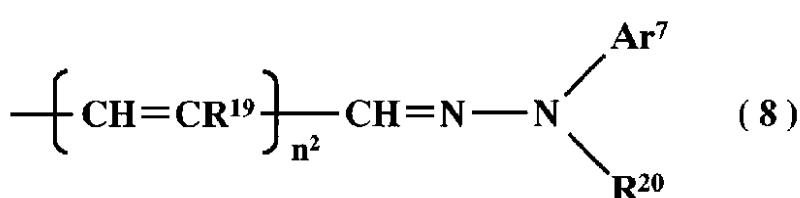


【0062】

但し、上記一般式(7)は、下記一般式(8)で示される基を少なくとも一つ有する。

【0063】

【化27】



【0064】

上記一般式(7)及び(8)中、 Ar^6 及び Ar^7 は置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基、アンスリル基、フェナンスリル基、ピレニル基、チオフェニル基、フリル基、ピリジル基、キノリル基、ベンゾキノリル基、カルバゾリル基、フェノチアジニル基、ベ

ンゾフリル基、ベンゾチオフェニル基、ジベンゾフリル基及びジベンゾチオフェニル基等のアリール基を示し、R¹⁷、R¹⁸、R¹⁹及びR²⁰は置換基を有しても良いメチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等の炭素数10以下のアルキル基、置換基を有しても良いベンジル基、フェネチル基、ナフチルメチル基、フルフリル基及びチエニル基等のアラルキル基、置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基、アンスリル基、フェナンスリル基、ピレニル基、チオフェニル基、フリル基、ピリジル基、キノリル基、ベンゾキノリル基、カルバゾリル基、フェノチアジニル基、ベンゾフリル基、ベンゾチオフェニル基、ジベンゾフリル基及びジベンゾチオフェニル基等のアリール基を示し、R¹⁹及びR²⁰はこれらのアルキル基、アラルキル基及びアリール基に加えて水素原子を示す。なお、R¹⁷とR¹⁸及びR¹⁹とR²⁰はそれぞれ同一であっても異なっていてもよい。

10

【0065】

その中でも、R²⁰がアリール基である場合が好ましく、更にR¹⁷とR¹⁸がアリール基である場合が特に好ましい。また、R¹⁷又はR¹⁸又はAr⁶のうち任意の2つ、又はAr⁷及びR²⁰はそれ直接もしくは結合基を介して結合しても良く、その結合基としては、メチレン基、エチレン基及びプロピレン基等のアルキレン基、酸素及び硫黄原子等のヘテロ原子又はCH=CH基等が挙げられる。n²は0~2の整数を示す。

【0066】

更に、上記一般式(8)で示される基を有する化合物としては、置換基を有してもよい、ナフタレン基、アントラセン基、フェナンスレン基、ペレン基、フルオレン基、フルオランセン基、アズレン基、インデン基、ペリレン基、クリセン基及びコロネン基等の縮合環炭化水素又は置換基を有しても良いベンゾフラン基、インドール基、カルバゾール基、ベンズカルバゾール基、アクリジン基、フェノチアジン基及びキノリン基等の縮合複素環が挙げられる。

20

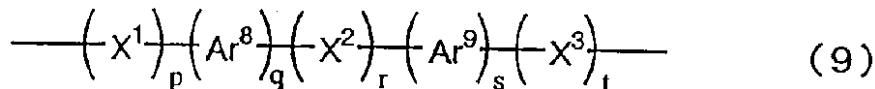
【0067】

また、上記一般式(1)中のZ及び上記一般式(3)中のQは、置換基を有しても良いアルキレン基、置換基を有しても良いアリーレン基、CR²¹=CR²²(R²¹及びR²²はアルキル基、アリール基又は水素原子を示し、R²¹及びR²²は同一でも異なっても良い)、C=O、S=O、SO₂、酸素原子又は硫黄原子より一つあるいは任意に組み合わされた有機基を示す。その中でも下記一般式(9)で示されるものが好ましく、特には下記一般式(10)で示されるものが好ましい。

30

【0068】

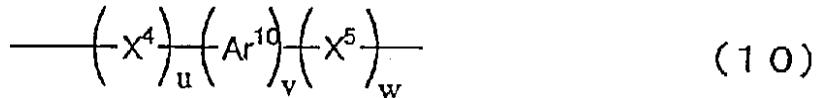
【化28】



【0069】

【化29】

40



【0070】

上記一般式(9)中、X¹~X³は置換基を有しても良いメチレン基、エチレン基及びプロピレン基等の炭素数20以下のアルキレン基、(CR²³=CR²⁴)_{m2}、C=O、S=O、SO₂、酸素原子又は硫黄原子を示し、Ar⁸及びAr⁹は置換基を有しても良いアリーレン基(ベンゼン、ナフタレン、アントラセン、フェナンスレン、ピレン、チ

50

オフェン、フラン、ピリジン、キノリン、ベンゾキノリン、カルバゾール、フェノチアジン、ベンゾフラン、ベンゾチオフェン、ジベンゾフラン、ジベンゾチオフェン等より2個の水素原子を取り除いた基)を示す。R²⁻³及びR²⁻⁴は置換基を有しても良いメチル基、エチル基及びプロピル基等のアルキル基、置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基及びチオフェニル基等のアリール基又は水素原子を示し、R²⁻³及びR²⁻⁴は同一でも異なっても良い。m₂は1~5の整数、p、q、r、s及びtは0~10の整数を示す(但し、p、q、r、s及びtは同時に0であることはない)。

【0071】

上記一般式(10)中、X⁴及びX⁵は(C_H₂)_{m-3}、(C_H=C R²⁻⁵)_{m-4}、C=O、又は酸素原子を示し、Ar¹⁻⁰は置換基を有しても良いアリーレン基(ベンゼン、ナフタレン、アントラセン、フェナンスレン、ピレン、チオフェン、フラン、ピリジン、キノリン、ベンゾキノリン、カルバゾール、フェノチアジン、ベンゾフラン、ベンゾチオフェン、ジベンゾフラン、ジベンゾチオフェン等より2個の水素原子を取り除いた基)を示す。R²⁻⁵は置換基を有しても良いメチル基、エチル基及びプロピル基等のアルキル基、置換基を有しても良いフェニル基、ナフチル基及びチオフェニル基等のアリール基又は水素原子を示す。m₃は1~10の整数、m₄は1~5の整数、u、v及びwは0~10の整数を示す(特に0又は1~5の整数の時が特に好ましい。但し、u、v及びwは同時に0であることはない)。

【0072】

なお、上述の一般式(3)~(10)のR⁴~R²⁻⁵、Ar¹⁻⁰~Ar¹⁻¹⁰、X¹~X⁵、Z及びQがそれぞれ有しても良い置換基としてはフッ素、塩素、臭素及びヨウ素等のハロゲン原子;ニトロ基、シアノ基、水酸基;メチル基、エチル基、プロピル基及びブチル基等のアルキル基;メトキシ基、エトキシ基及びプロポキシ基等のアルコキシ基;フェノキシ基及びナフトキシ基等のアリールオキシ基;ベンジル基、フェネチル基、ナフチルメチル基、フルフリル基及びチエニル基等のアラルキル基;フェニル基、ナフチル基、アンスリル基及びピレニル基等のアリール基が挙げられる。また、一般式(2)のR¹~R⁵が有しても良い置換基としてはアリール基を除いた上記置換基及びジフェニルアミノ基及びジ(p-トリル)アミノ基等のジアリールアミノ基が挙げられる。

【0073】

また、本発明における同一分子内に二つ以上の連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物は、酸化電位が1.2(V)以下であることが好ましく、特には0.4~1.2(V)であることが好ましい。それは、酸化電位が1.2(V)を超えると電荷発生材料からの電荷(正孔)の注入が起こり難く残留電位の上昇、感度悪化及び繰り返し使用時の電位変動が大きくなる等の問題が生じ易く、また0.4(V)未満では帯電能の低下等の問題の他に、化合物自体が容易に酸化されるために劣化し易く、それに起因した感度悪化、画像ボケ及び繰り返し使用時の電位変動が大きくなる等の問題が生じ易くなるためである。

【0074】

なお、ここで述べている酸化電位は、以下の方法によって測定される。

【0075】

(酸化電位の測定法)

飽和カロメル電極を参照電極とし、電解液に0.1N(n-Bu)₄N⁺C₁O₄⁻アセトニトリル溶液を用い、ポテンショナルスイーパによって作用電極(白金)に印加する電位をスイープし、得られた電流-電位曲線がピークを示したときの電位を酸化電位とした。詳しくは、サンプルを0.1N(n-Bu)₄N⁺C₁O₄⁻アセトニトリル溶液に5~10mm^o1%程度の濃度になるように溶解する。そしてこのサンプル溶液に作用電極によって電圧を加え、電圧を低電位(0V)から高電位(+1.5V)に直線的に変化させた時の電流変化を測定し、電流-電位曲線を得る。この電流-電位曲線において、電流値がピーク(ピークが複数ある場合には最初のピーク)を示したときのピークトップの位置の電位を酸化電位とした。

【0076】

10

20

30

40

50

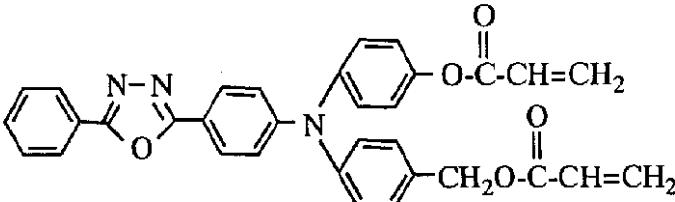
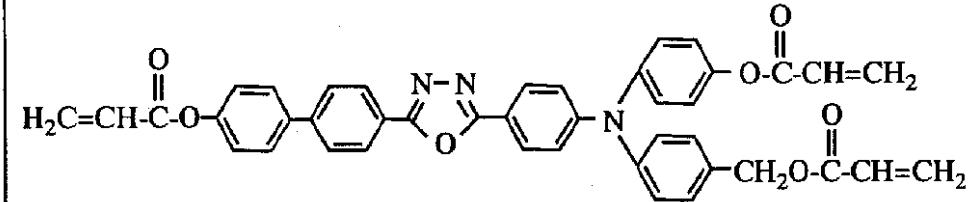
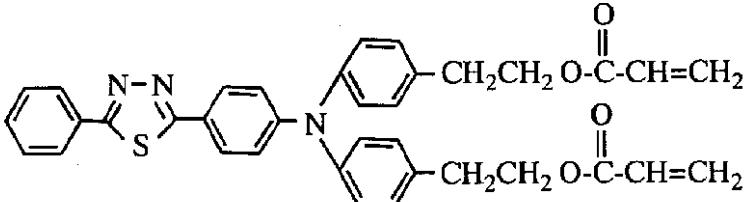
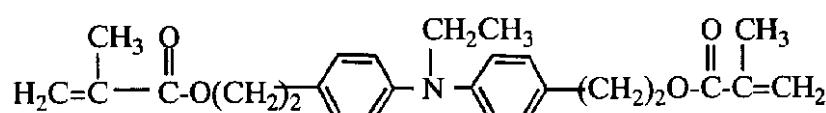
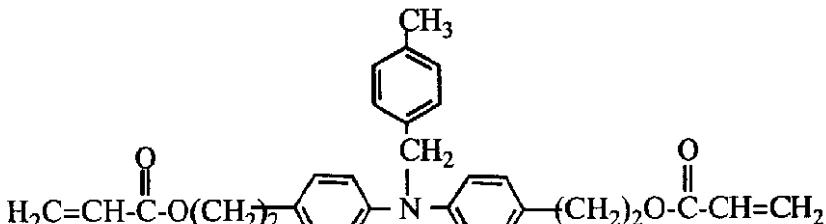
また更に、上記連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物は正孔輸送能として 1×10^{-7} (cm² / V · sec) 以上のドリフト移動度を有しているものが好ましい（但し、印加電界： 5×10^4 V / cm）。 1×10^{-7} (cm² / V · sec) 未満では、電子写真感光体として露光後現像までに正孔が十分に移動できないため見かけ上感度が低減し、残留電位も高くなってしまう問題が発生する場合がある。

【0077】

以下に本発明に係わる、連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物の代表例を挙げるがこれらに限定されるものではない。

【0078】

【化30】

No.	化 合 物 例	
1		10
2		
3		20
4		30
5		40

【0079】
【化31】

No.	化 合 物 例	
6	<p><chem>H2C=CH-C(=O)O(CH2)2-c1ccc(N(c2ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc2)c3ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc3)cc1</chem></p>	10
7	<p><chem>H2C=C(C(=O)CH3)-C(=O)O(CH2)2-c1ccc(N(c2ccc(OCC(=O)C(=CH2)C3=CC=CC=C3)cc2)c3ccc(OCC(=O)C(=CH2)C3=CC=CC=C3)cc3)cc1</chem></p>	
8	<p><chem>H2C=C(C(=O)CH3)-C(=O)O-c1ccc(N(c2ccc(OCC(=O)C=CH2)cc2)c3ccc(OCC(=O)C=CH2)cc3)cc1</chem></p>	20
9	<p><chem>H2C=CH-C(=O)O(CH2)2-O-c1ccc(N(c2ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc2)c3ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc3)cc1</chem></p>	30
10	<p><chem>H2C=C(C(=O)CH3)-C(=O)O(CH2)12-c1ccc(N(c2ccc(OCC(=O)C(=CH2)C3=CC=CC=C3)cc2)c3ccc(OCC(=O)C(=CH2)C3=CC=CC=C3)cc3)cc1</chem></p>	40

【 0 0 8 0 】
【 化 3 2 】

No.	化 合 物 例	
11	<chem>H2C=CH-C(=O)O(CH2)2-C6H4-N(C6H4-(CH2)2O-C(=O)-CH=CH2)C6H4-</chem>	10
12	<chem>H2C=CH-C(=O)OCH2-C6H4-N(C6H4-C(=O)OCH2)C6H4-</chem>	
13	<chem>H2C=CH-C(=O)O-C(CH3)(OCH2-C6H4-N(C6H4-(CH2)2O-C(=O)-CH=CH2)C6H4-)C(=O)OCH2-C(=O)OCH2-C(=O)-CH=CH2</chem>	20
14	<chem>H2C=CH-C(=O)O(CH2)2-O-C6H4-N(C6H4-O(CH2)2O-C(=O)-CH=CH2)C6H4-C(=O)N#C</chem>	30
15	<chem>C6H5-CH=CH-C(=O)O-CH2-C6H4-N(C6H4-CH2-C6H3(CH3)2)C6H4-O(CH2)2O-C(=O)-CH=CH2</chem>	40

【 0 0 8 1 】
【 化 3 3 】

No.	化 合 物 例	
16		10
17		
18		20
19		30
20		40

【0082】
【化34】

No.	化 合 物 例	
21		10
22		
23		20
24		30
25		40

【 0 0 8 3 】
【 化 3 5 】

No.	化 合 物 例	
26	<chem>H2C=CH-C(=O)O(CH2)3-c1ccc(N(c2ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc2)c3ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc3)cc1</chem>	10
27	<chem>H2C=CH-C(=O)O-c1ccc(N(c2ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc2)c3ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc3)cc1</chem>	
28	<chem>H2C=CH-C(=O)OCH2-c1ccc(N(c2ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc2)c3ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc3)cc1</chem>	20
29	<chem>H2C=CH-C(=O)O(CH2)3-c1ccc(N(c2ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc2)c3ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc3)cc1</chem>	30
30	<chem>H2C=CH-C(=O)OCH2-c1ccc(N(c2ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc2)c3ccc(OCC(=O)CH=CH2)cc3)cc1</chem>	40

【 0 0 8 4 】
【 化 3 6 】

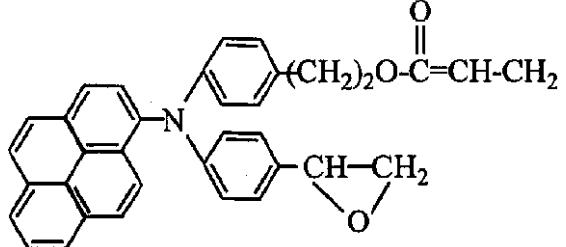
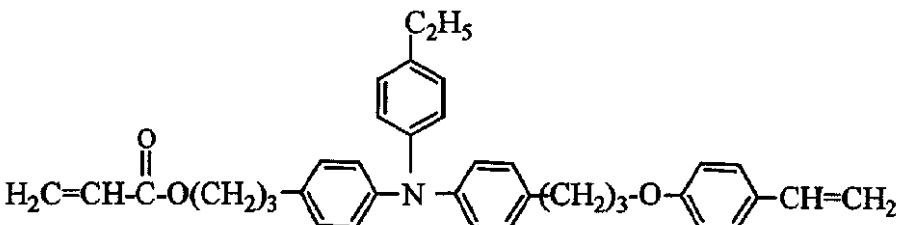
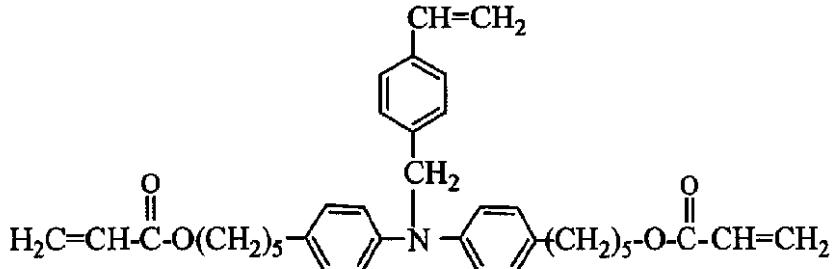
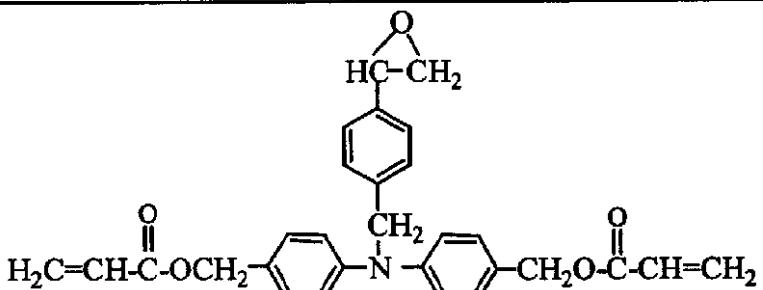
No.	化 合 物 例	
31	 $\text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\text{C}(=\text{O})-\text{OCH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{O}-\text{C}(=\text{O})-\text{CH}=\text{CH}_2$	10
32	 $\text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\text{C}(=\text{O})-\text{OCH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{O}-\text{C}(=\text{O})-\text{CH}=\text{CH}_2$	
33	 $\text{H}_2\text{C}=\text{C}(\text{CH}_3)-\text{C}(=\text{O})-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}(=\text{O})-\text{C}(\text{CH}_3)=\text{CH}_2$	20
34	 $\text{H}_2\text{C}=\text{C}(\text{CH}_3)-\text{C}(=\text{O})-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}(=\text{O})-\text{C}(\text{CH}_3)=\text{CH}_2$	30
35	 $\text{H}_2\text{C}=\text{C}(\text{CH}_3)-\text{C}(=\text{O})-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{S}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{O}-\text{C}(=\text{O})-\text{C}(\text{CH}_3)=\text{CH}_2$	40

【 0 0 8 5 】

【 化 3 7 】

No.	化 合 物 例	
36	<p><chem>H2C=CH-C(=O)OCH2-c1ccc2c(c1)N(c3ccccc3)Cc4ccccc4O=C=CH2</chem></p>	10
37	<p><chem>H2C=CH-C(=O)OCH2-c1ccsc1N(c2ccccc2)Cc3ccccc3O=C=CH2</chem></p>	
38	<p><chem>H2C=CH-C(=O)OCH2-c1ccc2c(c1)N(c3ccccc3)Cc4ccccc4CH=CHc5ccccc5O=C=CH2</chem></p>	20
39	<p><chem>H2C=CH-C(=O)OCH2-c1ccc2c(c1)N(c3ccccc3)Cc4ccccc4O=C=CH2</chem></p>	30
40	<p><chem>c1ccc2c(c1)N(c3ccccc3)Cc4ccccc4O=C=CH-CH2</chem></p>	40

【 0 0 8 6 】
【 化 3 8 】

No.	化 物 例	
41		10
42		
43		20
44		30
45		40

【 0 0 8 7 】

【 化 3 9 】

No.	化 合 物 例	
46		10
47		
48		20
49		30
50		40

【 0 0 8 8 】

【 化 4 0 】

No.	化 合 物 例
51	
52	
53	
54	
55	

【 0 0 8 9 】

【 化 4 1 】

No.	化 合 物 例	
56		10
57		
58		20
59		30
60		40

【 0 0 9 0 】

【 化 4 2 】

No.	化 合 物 例	
61		10
62		
63		20
64		30
65		40

【0091】
【化43】

No.	化 合 物 例	
66	<p style="text-align: right;">10</p>	
67		
68	<p style="text-align: right;">20</p>	
69	<p style="text-align: right;">30</p>	
70	<p style="text-align: right;">40</p>	

【 0 0 9 2 】

【 化 4 4 】

No.	化 合 物 例	
71	<p>$\text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\text{CH}_2-\text{O}(\text{CH}_2)_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-(\text{CH}_2)_2\text{O}-\text{CH}_2-\text{CH}=\text{CH}_2$</p>	10
72		
73		20
74		30
75		40

【 0 0 9 3 】

【 化 4 5 】

No.	化 合 物 例	
76		10
77		
78		20
79		30
80		40

【 0 0 9 4 】

【 化 4 6 】

No.	化 合 物 例
81	<p style="text-align: right;">10</p>
82	
83	<p style="text-align: right;">20</p>
84	<p style="text-align: right;">30</p>
85	<p style="text-align: right;">40</p>

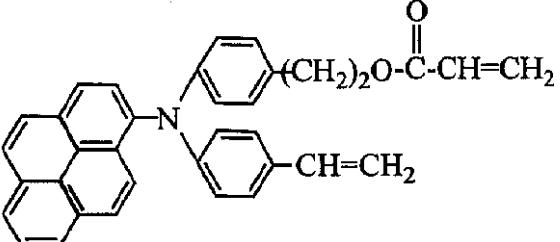
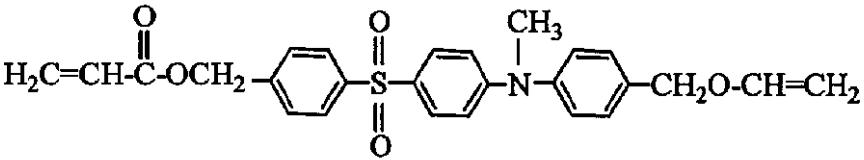
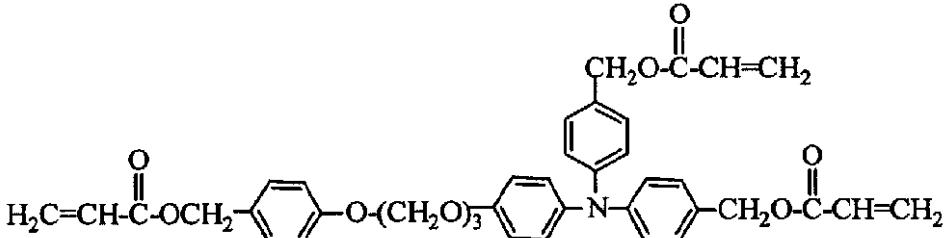
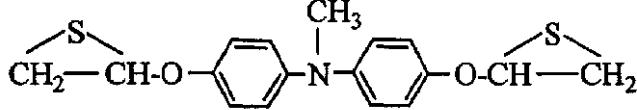
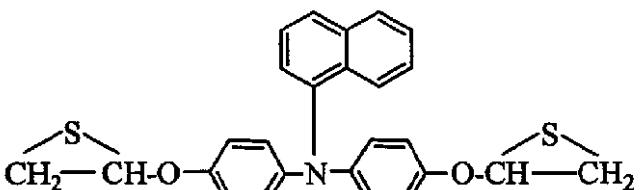
【 0 0 9 5 】

【化 4 7】

No.	化 合 物 例	
86		10
87		
88		20
89		30
90		40

【 0 0 9 6 】

【 化 4 8 】

No.	化 合 物 例
91	
92	
93	
94	
95	

【 0 0 9 7 】

【化 4 9】

No.	化 合 物 例
96	
97	
98	
99	
100	

【 0 0 9 8 】

【 化 5 0 】

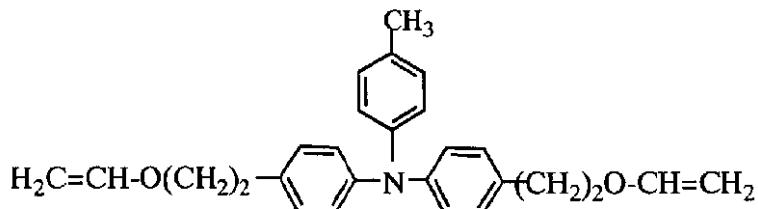
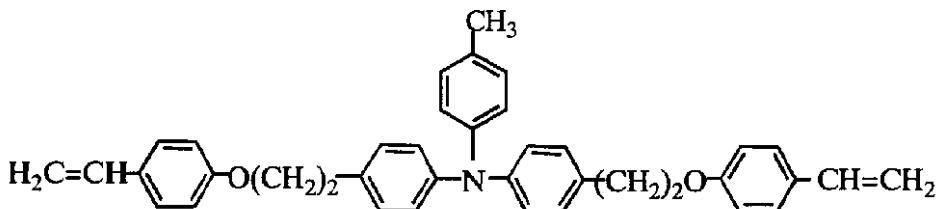
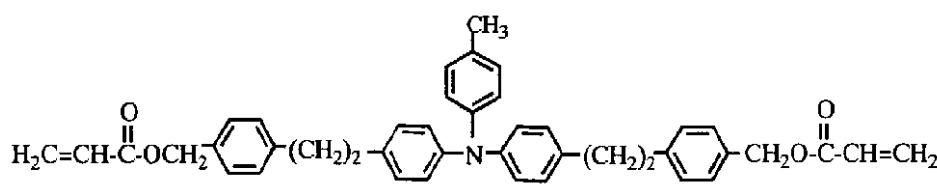
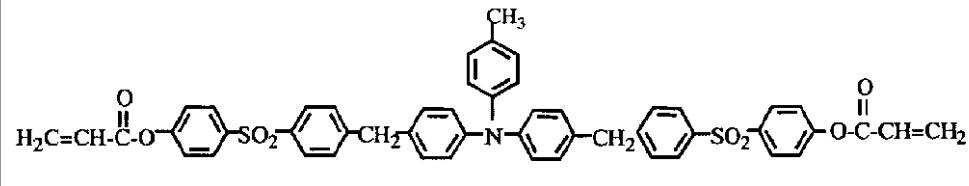
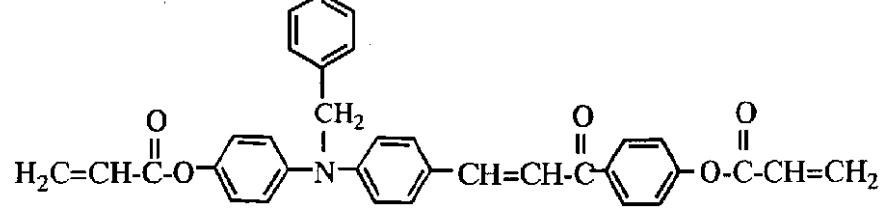
No.	化 合 物 例
101	<p style="text-align: right;">10</p>
102	
103	<p style="text-align: right;">20</p>
104	<p style="text-align: right;">30</p>
105	<p style="text-align: right;">40</p>

【 0 0 9 9 】

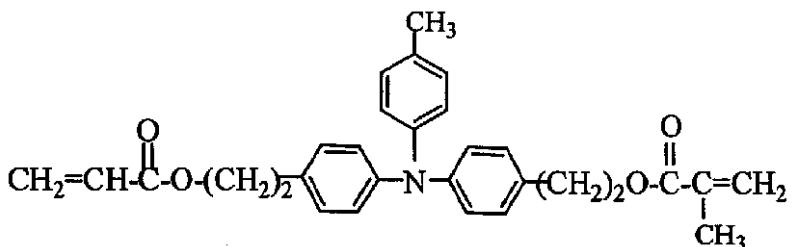
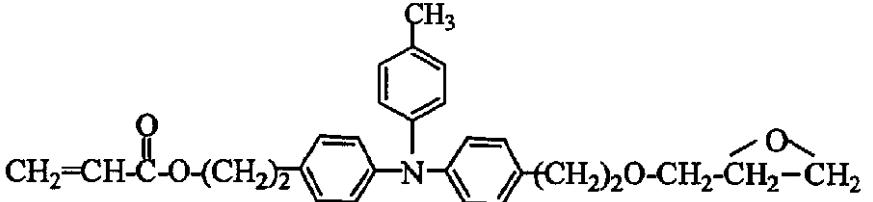
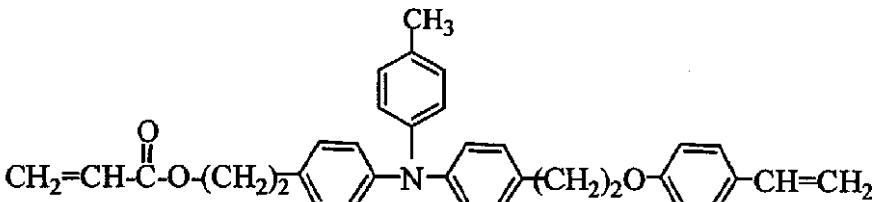
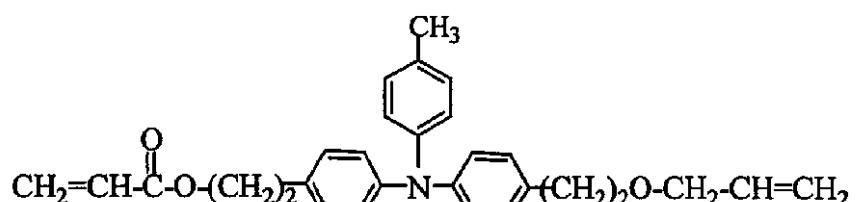
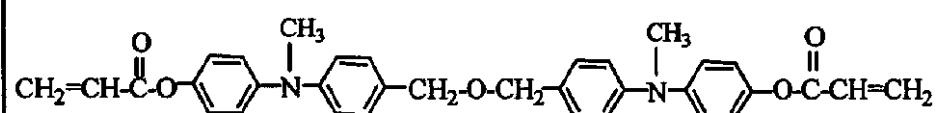
【 化 5 1 】

No.	化 合 物 例	
106	<chem>CCN(CC)c1ccc(cc1)N(c2ccc(cc2)C(=O)OC(=O)Cc3ccccc3)Cc4ccc(cc4)C(=O)OC(=O)Cc5ccccc5</chem>	10
107	<chem>CCN(CC)c1ccc(cc1)N(c2ccc(cc2)C(=O)OC(=O)Cc3ccccc3)N(c4ccc(cc4)C(=O)OC(=O)Cc5ccccc5)Cc6ccc(cc6)C(=O)OC(=O)Cc7ccccc7</chem>	
108	<chem>CCN(CC)c1ccc(cc1)N(c2ccc(cc2)C(=O)OC(=O)Cc3ccccc3)N(c4ccc(cc4)C(=O)OC(=O)Cc5ccccc5)Cc6ccc(cc6)C(=O)OC(=O)Cc7ccccc7</chem>	20
109	<chem>CC=CC1=CC=C(C=C1)C2=CC=C(C=C2)C3=CC=C(C=C3)C4=CC=C(C=C4)C(=O)OC(=O)Cc5ccccc5</chem>	30
110	<chem>CC(C)(C)c1ccc(cc1)N(c2ccc(cc2)C(=O)OC(=O)Cc3ccccc3)N(c4ccc(cc4)C(=O)OC(=O)Cc5ccccc5)Cc6ccc(cc6)C(=O)OC(=O)Cc7ccccc7</chem>	40

【0100】
【化52】

No.	化 合 物 例	
111		10
112		
113		20
114		30
115		40

【0101】
【化53】

No.	化 合 物 例	
116	 $\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{O}-(\text{CH}_2)_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-(\text{CH}_2)_2\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{C}(=\text{CH}_2)-\text{CH}_3$	10
117	 $\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{O}-(\text{CH}_2)_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-(\text{CH}_2)_2\text{O}-\text{CH}_2-\overset{\text{O}}{\backslash}\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2$	
118	 $\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{O}-(\text{CH}_2)_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-(\text{CH}_2)_2\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{CH}_2$	20
119	 $\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{O}-(\text{CH}_2)_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-(\text{CH}_2)_2\text{O}-\text{CH}_2-\text{CH}=\text{CH}_2$	30
120	 $\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\overset{\text{CH}_3}{\text{C}_6\text{H}_4}-\text{CH}_2-\text{O}-\text{CH}_2-\overset{\text{CH}_3}{\text{C}_6\text{H}_4}-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{C}(=\text{CH}_2)-\text{CH}_3$	40

【 0 1 0 2 】

【 化 5 4 】

No.	化 合 物 例
121	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\underset{ }{\text{C}}}-\text{OCH}_2-\overset{\text{CH}_3}{\underset{ }{\text{N}}}(\text{C}_6\text{H}_4)-\text{CH}_2-\text{O}-\text{CH}_2-\overset{\text{CH}_3}{\underset{ }{\text{N}}}(\text{C}_6\text{H}_4)-\text{CH}_2-\overset{\text{O}}{\underset{ }{\text{C}}}-\text{CH}=\text{CH}_2$
122	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\underset{ }{\text{C}}}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\overset{\text{CH}_3}{\underset{ }{\text{N}}}(\text{C}_6\text{H}_4)-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\overset{\text{CH}_3}{\underset{ }{\text{N}}}(\text{C}_6\text{H}_4)-\text{O}-\overset{\text{O}}{\underset{ }{\text{C}}}-\text{CH}=\text{CH}_2$
123	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\underset{ }{\text{C}}}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\overset{\text{CH}_3}{\underset{ }{\text{N}}}(\text{C}_6\text{H}_4)-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\overset{\text{CH}_3}{\underset{ }{\text{N}}}(\text{C}_6\text{H}_4)-\text{O}-\overset{\text{O}}{\underset{ }{\text{C}}}-\text{CH}=\text{CH}_2$
124	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\underset{ }{\text{C}}}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\overset{\text{CH}_3}{\underset{ }{\text{N}}}(\text{C}_6\text{H}_4)-\text{CH}=\text{CH}-\text{C}_6\text{H}_4-\overset{\text{CH}_3}{\underset{ }{\text{N}}}(\text{C}_6\text{H}_4)-\text{O}-\overset{\text{O}}{\underset{ }{\text{C}}}-\text{CH}=\text{CH}_2$
125	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\underset{ }{\text{C}}}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\overset{\text{CH}_3}{\underset{ }{\text{N}}}(\text{C}_6\text{H}_4)-\text{CH}=\text{C}-\overset{\text{CH}_3}{\underset{ }{\text{C}}}-\text{C}_6\text{H}_4-\overset{\text{CH}_3}{\underset{ }{\text{N}}}(\text{C}_6\text{H}_4)-\text{O}-\overset{\text{O}}{\underset{ }{\text{C}}}-\text{CH}=\text{CH}_2$

【 0 1 0 3 】

【 化 5 5 】

No.	化 合 物 例
126	 <chem>CH2=CH-C(=O)-O-phenyl-N(phenyl)-C(=O)-O-phenyl-N(phenyl)-O-C(=O)-CH=CH2</chem>
127	 <chem>CH2=CH-C(=O)-O-phenyl-N(phenyl)-O-CH2CH2-O-phenyl-N(phenyl)-O-C(=O)-CH=CH2</chem>
128	 <chem>CH2=CH-C(=O)-O-phenyl-N(phenyl)-C(=CH2)-CH2-C(=CH2)-CH2-C(=CH2)-N(phenyl)-O-C(=O)-CH=CH2</chem>
129	 <chem>CH2=CH-C(=O)-O-phenyl-N(phenyl)-CH2-CH2-phenyl-CH2-CH2-phenyl-N(phenyl)-O-C(=O)-CH=CH2</chem>
130	 <chem>CH2=CH-C(=O)-O-phenyl-N(phenyl)-C(CH2-phenyl)(CH3)-N(phenyl)-C(CH2-phenyl)(CH3)-N(phenyl)-O-C(=O)-CH=CH2</chem>

【 0 1 0 4 】

【 化 5 6 】

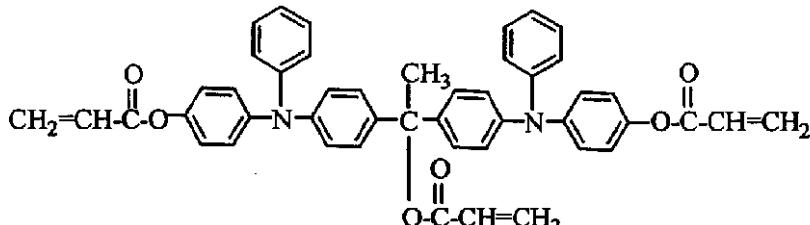
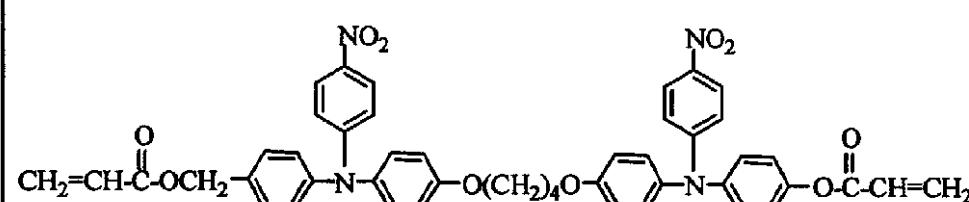
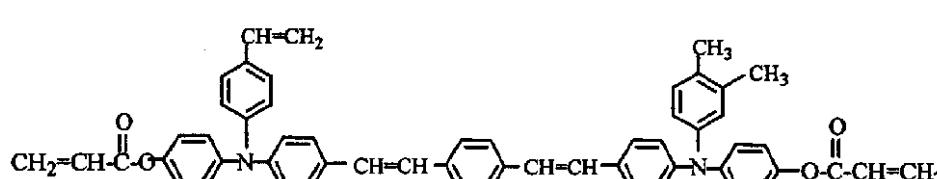
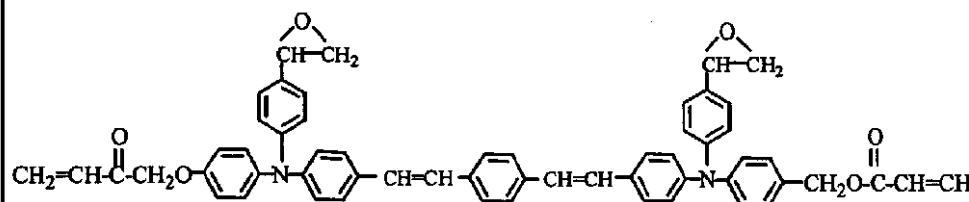
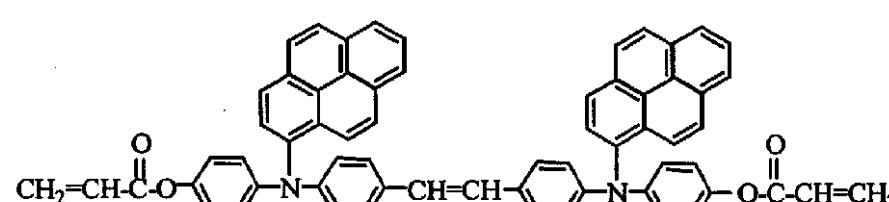
No.	化 合 物 例	
131	<p style="text-align: right;">10</p>	
132		
133	<p style="text-align: right;">20</p>	
134	<p style="text-align: right;">30</p>	
135	<p style="text-align: right;">40</p>	

【0105】
【化57】

No.	化 合 物 例
136	<p><chem>CH2=CH-C(=O)-O-C6H4-N(C6H4-C(=O)-O-)-C6H4-C(=O)-O-C6H4-N(C6H4-C(=O)-O-)-C6H4-C(=O)-CH=CH2</chem></p>
137	<p><chem>CH2=CH-C(=O)-O-C6H4-N(C6H4-C(=O)-O-)-C6H4-O-CH2CH2-O-C6H4-N(C6H4-C(=O)-O-)-C6H4-C(=O)-CH=CH2</chem></p>
138	<p><chem>CH2=CH-C(=O)-O-C6H4-N(C6H4-C(=O)-O-)-CH=CH-C6H4-CH=CH-C6H4-N(C6H4-C(=O)-O-)-C6H4-C(=O)-CH=CH2</chem></p>
139	<p><chem>CH2=CH-C(=O)-O-C6H4-N(C6H4-C(=O)-O-)-CH=CH-C6H4-CH=CH-C6H4-N(C6H4-C(=O)-O-)-C6H4-C(=O)-CH=CH2</chem></p>
140	<p><chem>CH2=CH-C(=O)-O-C6H4-OCH2-C6H4-N(C6H4-C(=O)-O-)-O-CH2-C6H4-N(C6H4-C(=O)-O-)-CH2-O-C6H4-O-C(=O)-CH=CH2</chem></p>

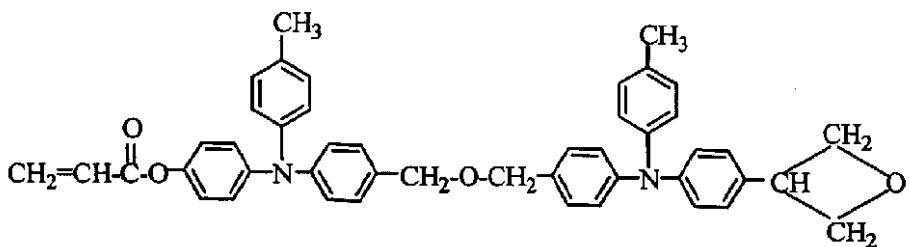
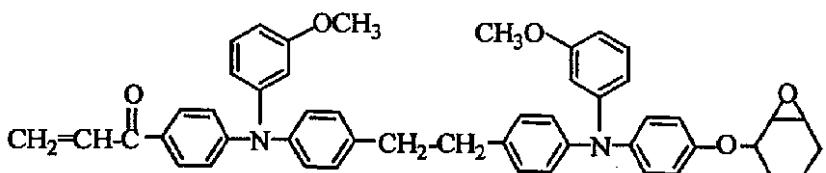
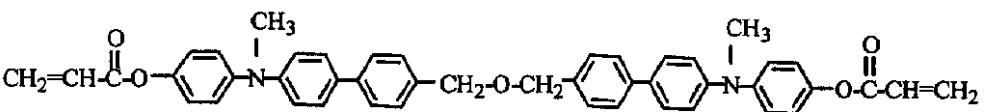
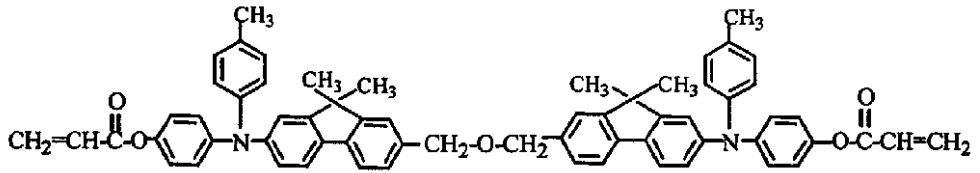
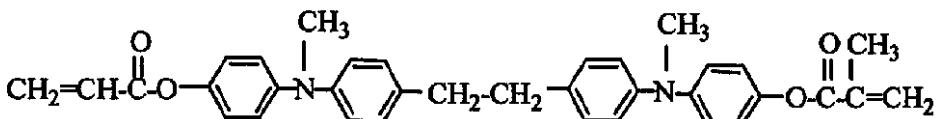
【 0 1 0 6 】

【 化 5 8 】

No.	化 合 物 例	
141		10
142		
143		20
144		30
145		40

【 0 1 0 7 】

【 化 5 9 】

No.	化 合 物 例	
146		10
147		
148		20
149		30
150		40

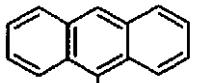
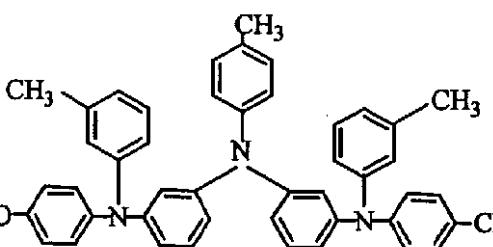
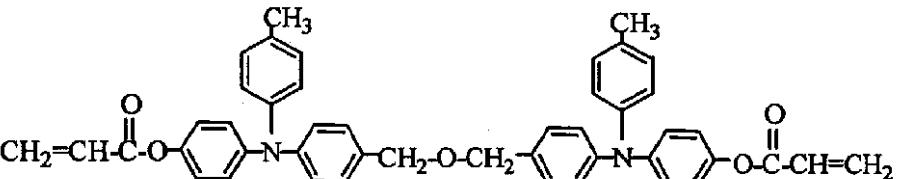
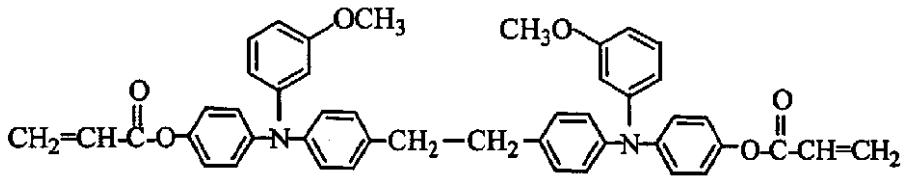
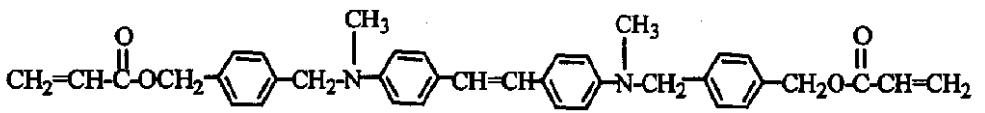
【 0 1 0 8 】

【 化 6 0 】

No.	化 合 物 例
151	<p style="text-align: right;">10</p>
152	
153	<p style="text-align: right;">20</p>
154	<p style="text-align: right;">30</p>
155	<p style="text-align: right;">40</p>

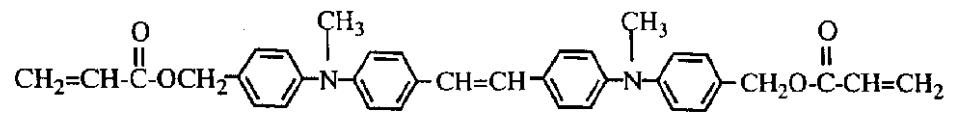
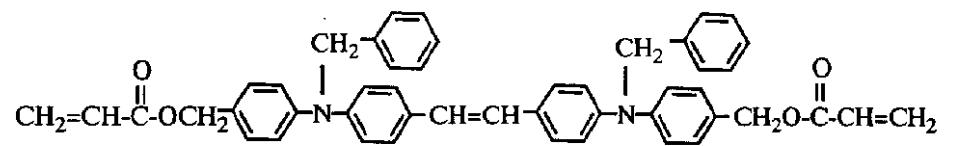
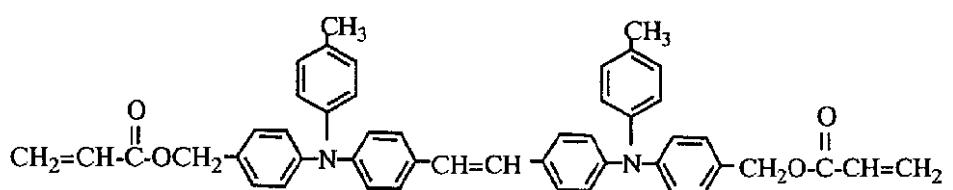
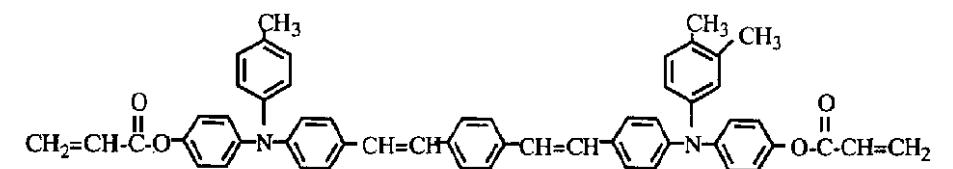
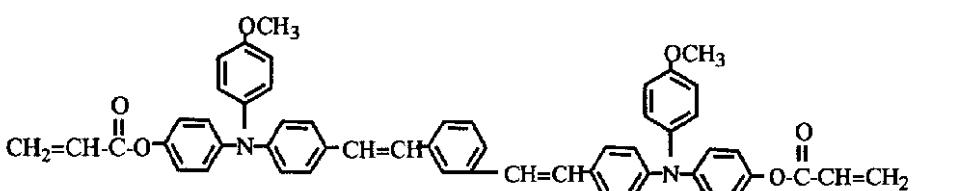
【 0 1 0 9 】

【 化 6 1 】

No.	化 合 物 例	
156	 <chem>CH2=CH-C(=O)-C6H12O-c1ccc(N(c2ccccc2)c3ccc(cc3)S(c4ccccc4)c5ccc(N(c6ccccc6)c7ccc(cc7)C)c6)C=C(C)c7ccc(C)c7</chem>	10
157	 <chem>CH2=CH-C(=O)-CH2O-c1ccc(N(c2ccccc2)c3ccc(cc3)N(c4ccccc4)c5ccc(C)c6)C=C(C)c7ccc(C)c7</chem>	
158	 <chem>CH2=CH-C(=O)-O-c1ccc(N(c2ccccc2)c3ccc(cc3)CH2-O-CH2-c4ccccc4N(c5ccccc5)c6ccc(OCC(=O)C=C(C)c7ccc(C)c7)C=C(C)c8ccccc8)C=C(C)c9ccccc9</chem>	20
159	 <chem>CH2=CH-C(=O)-O-c1ccc(N(c2ccccc2)c3ccc(cc3)CH2-CH2-c4ccccc4N(c5ccccc5)c6ccc(O)C=C(C)c7ccc(C)c7)C=C(C)c8ccccc8</chem>	30
160	 <chem>CH2=CH-C(=O)-OCH2-c1ccc(N(c2ccccc2)c3ccc(cc3)CH=CH-c4ccccc4N(c5ccccc5)c6ccc(O)C=C(C)c7ccc(C)c7)C=C(C)c8ccccc8</chem>	40

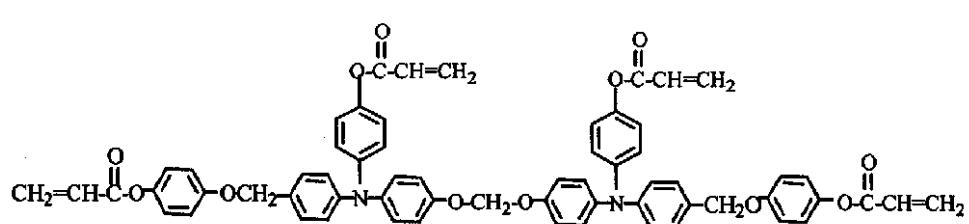
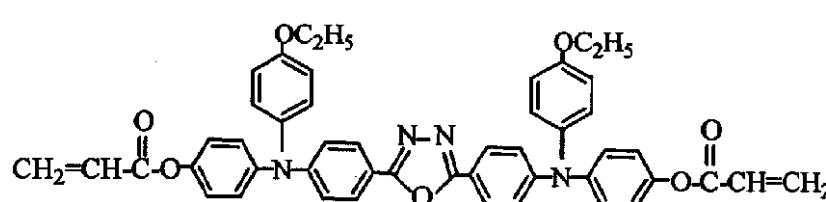
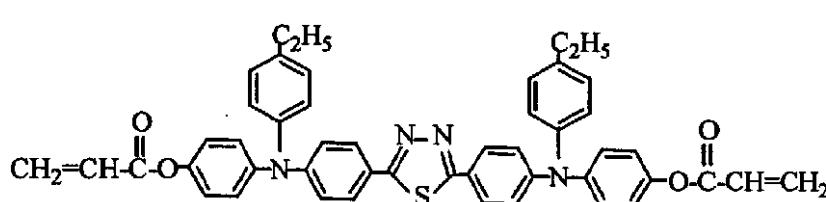
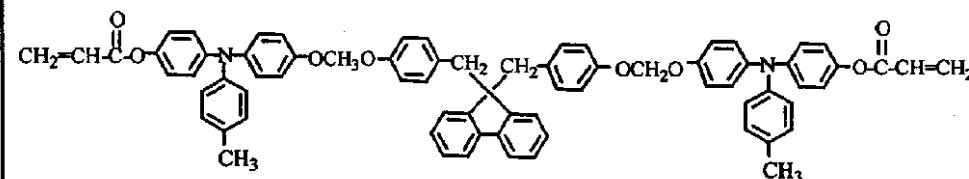
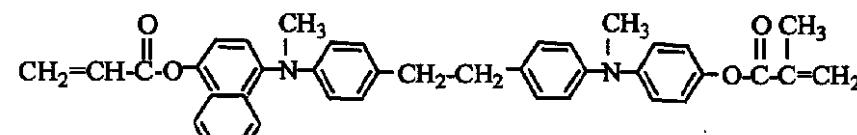
【 0 1 1 0 】

【 化 6 2 】

No.	化 合 物 例	
161		10
162		
163		20
164		30
165		40

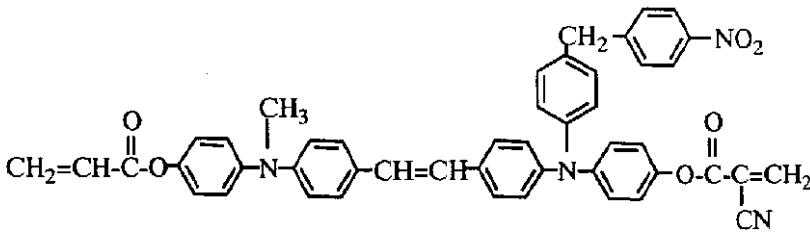
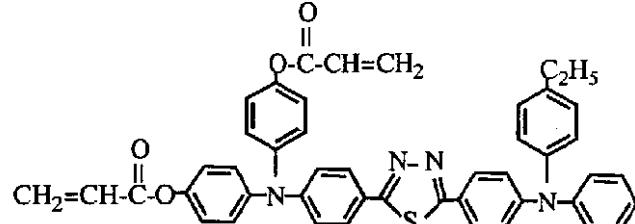
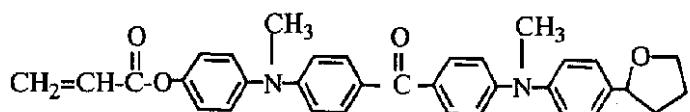
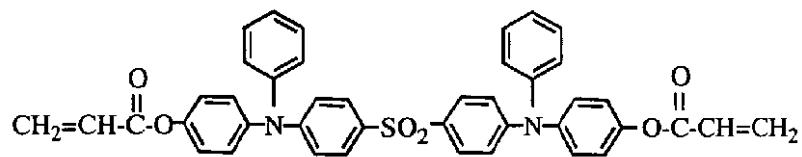
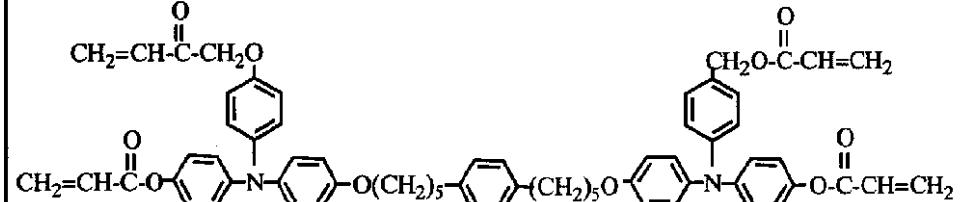
【 0 1 1 1 】

【 化 6 3 】

No.	化 合 物 例	
166		10
167		
168		20
169		30
170		40

【 0 1 1 2 】

【 化 6 4 】

No.	化 合 物 例	
171		10
172		
173		20
174		30
175		40

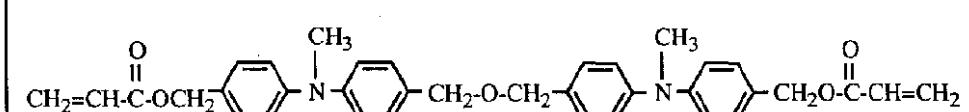
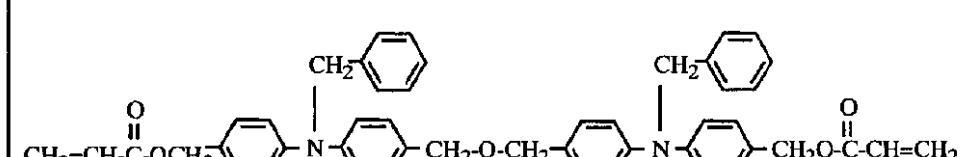
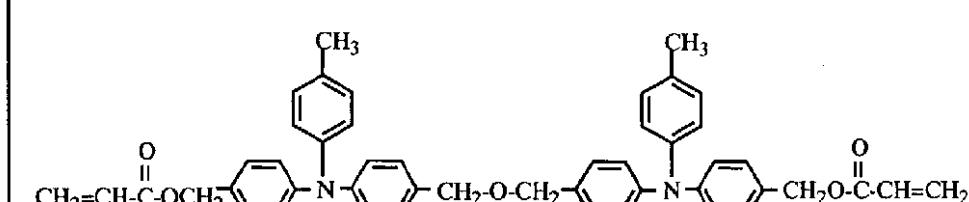
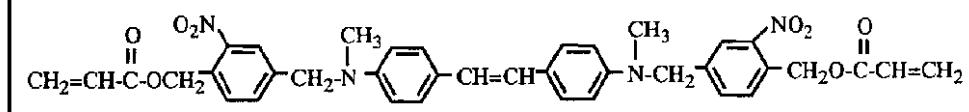
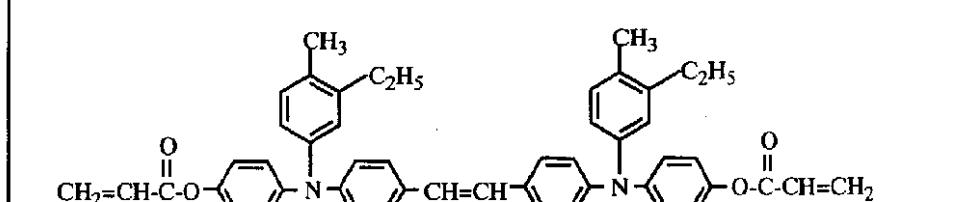
【 0 1 1 3 】

【 化 6 5 】

No.	化 合 物 例	
176	<p>Chemical structure 176: A triphenylamine derivative with two 4-(2,4-dienyl)phenyl groups and two 4-(2,4-dienyl)phenylacetate side chains.</p>	10
177	<p>Chemical structure 177: A triphenylamine derivative with two 4-(2,4-dienyl)phenyl groups and two 4-(2,4-dienyl)phenylacetate side chains.</p>	
178	<p>Chemical structure 178: A triphenylamine derivative with two 4-(2,4-dienyl)phenyl groups and two 4-(2,4-dienyl)phenylacetate side chains.</p>	20
179	<p>Chemical structure 179: A triphenylamine derivative with two 4-(2,4-dienyl)phenyl groups and two 4-(2,4-dienyl)phenylacetate side chains.</p>	30
180	<p>Chemical structure 180: A triphenylamine derivative with two 4-(2,4-dienyl)phenyl groups and two 4-(2,4-dienyl)phenylacetate side chains.</p>	40

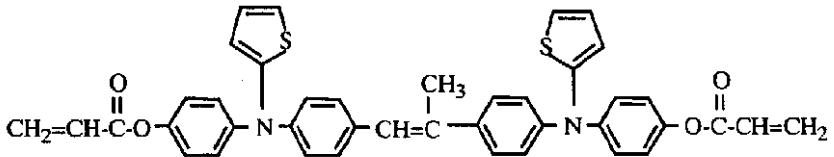
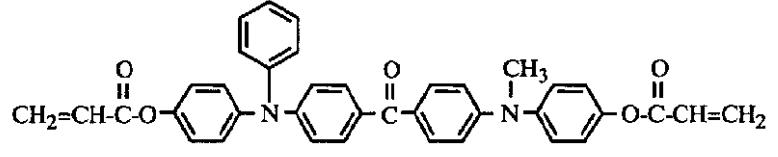
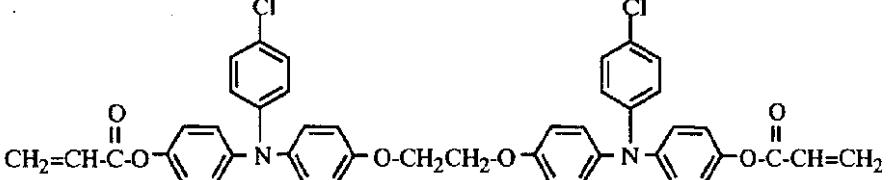
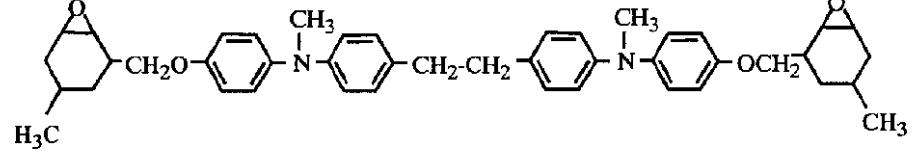
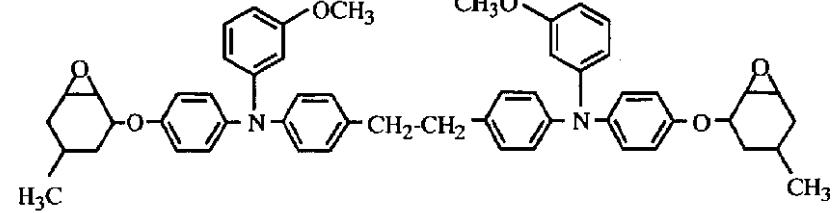
【 0 1 1 4 】

【 化 6 6 】

No.	化 合 物 例	
181		10
182		
183		20
184		30
185		40

【 0 1 1 5 】

【 化 6 7 】

No.	化 合 物 例	
186		10
187		
188		20
189		30
190		40

【 0 1 1 6 】

【 化 6 8 】

No.	化 合 物 例	
191		10
192		
193		20
194		30
195		40

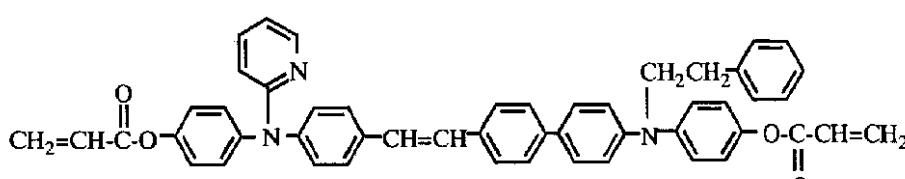
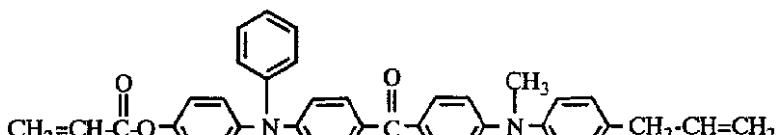
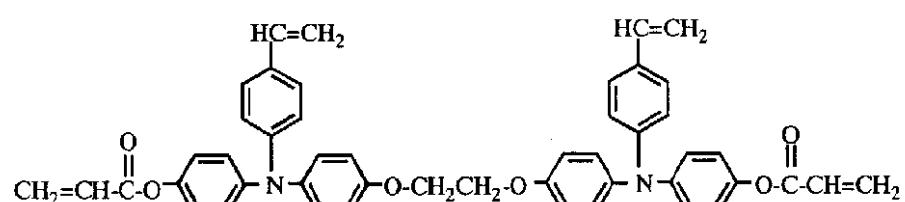
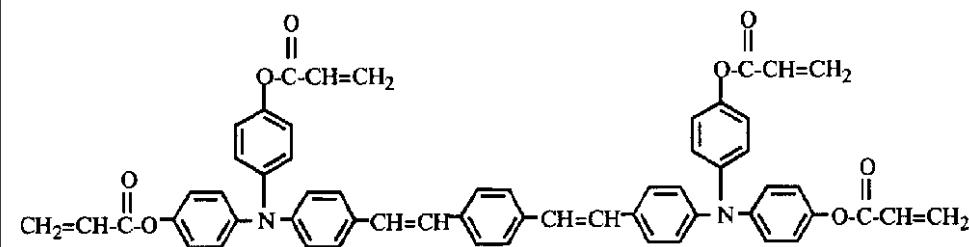
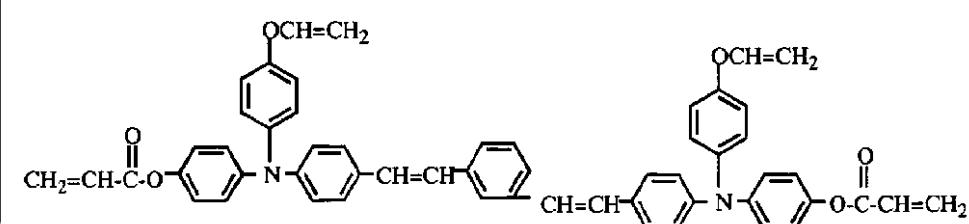
【 0 1 1 7 】

【 化 6 9 】

No.	化 合 物 例
196	
197	
198	
199	
200	

【 0 1 1 8 】

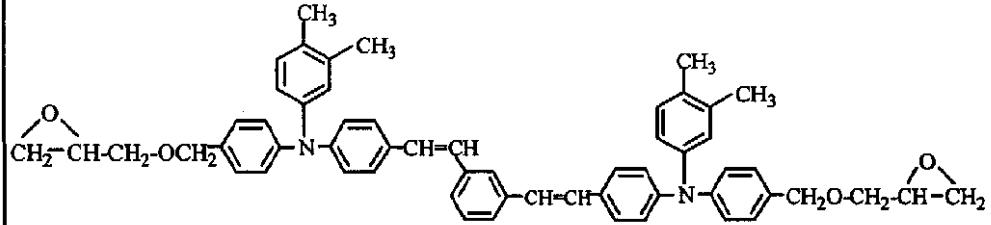
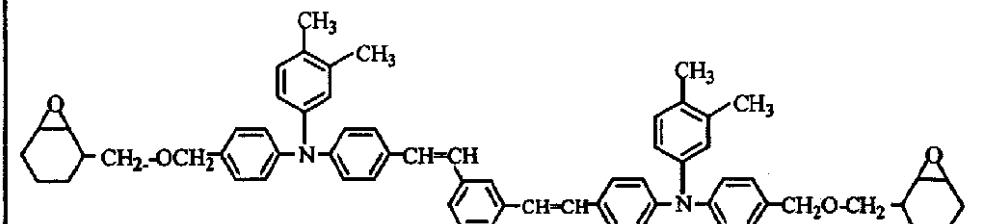
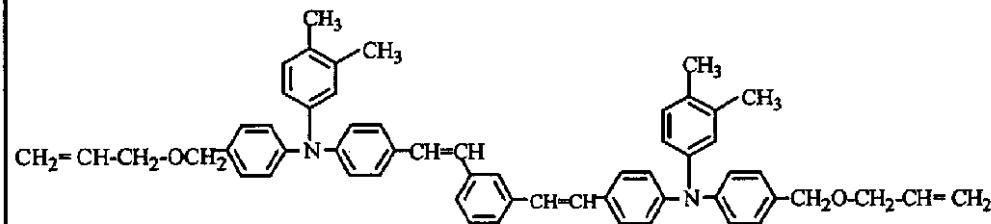
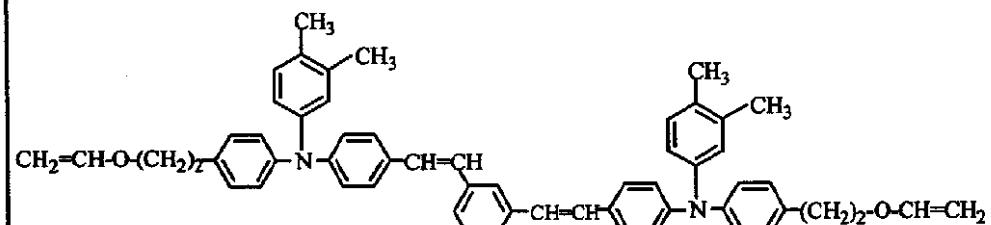
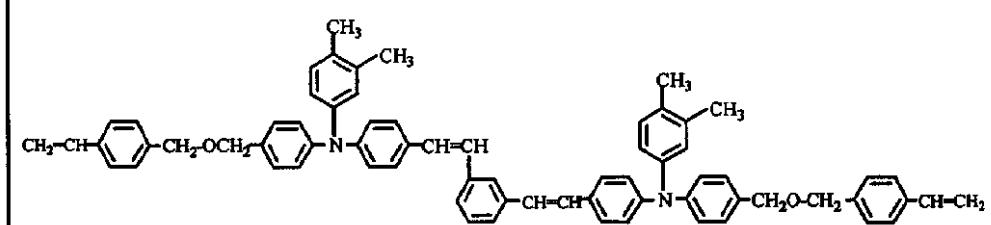
【 化 7 0 】

No.	化 合 物 例	
201		10
202		
203		20
204		30
205		40

【0119】
【化71】

No.	化 合 物 例
206	<p style="text-align: right;">10</p>
207	
208	<p style="text-align: right;">20</p>
209	<p style="text-align: right;">30</p>
210	<p style="text-align: right;">40</p>

【 0 1 2 0 】
【 化 7 2 】

No.	化 合 物 例	
211		10
212		
213		20
214		30
215		40

【 0 1 2 1 】

【 化 7 3 】

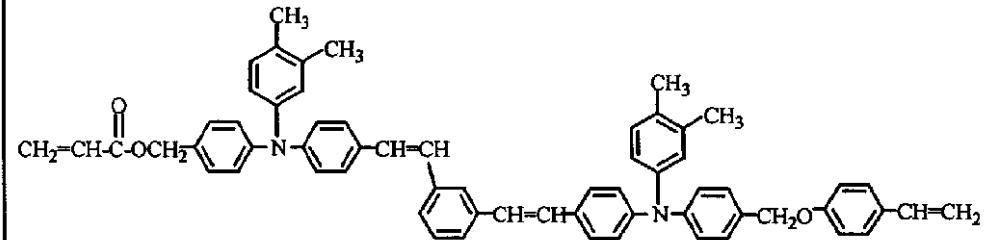
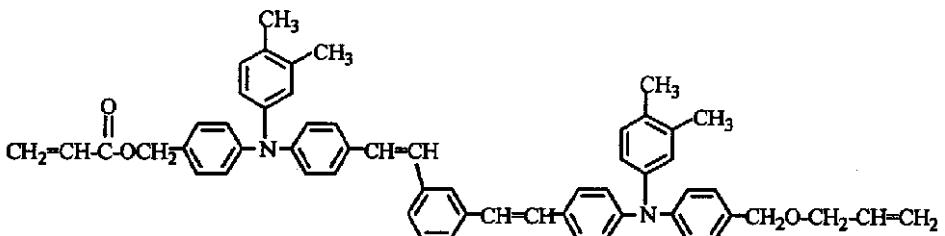
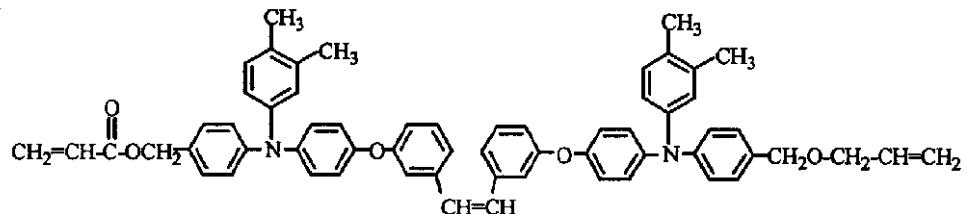
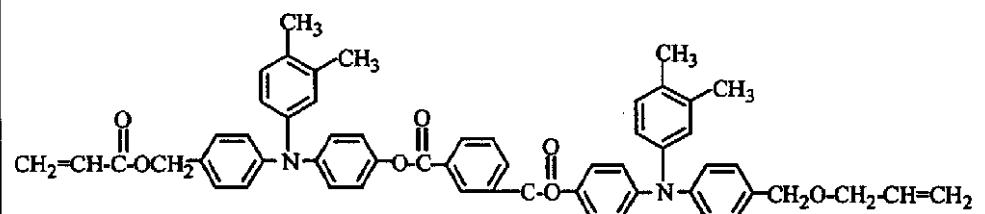
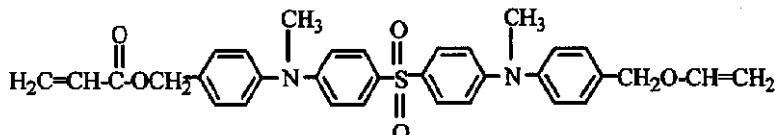
No.	化 合 物 例
216	<p style="text-align: right;">10</p>
217	
218	<p style="text-align: right;">20</p>
219	<p style="text-align: right;">30</p>
220	<p style="text-align: right;">40</p>

【0 1 2 2】
【化 7 4】

No.	化 合 物 例	
221		10
222		
223		20
224		30
225		40

【 0 1 2 3 】

【 化 7 5 】

No.	化 合 物 例	
226	 <chem>CC=CC(=O)OCc1ccc(cc1)-N(c2ccc(cc2)C=CCc3ccc(cc3)-N(c4ccc(cc4)C=CCc5ccc(cc5)Oc6ccc(cc6)C=CC)c4)cc2</chem>	10
227	 <chem>CC=CC(=O)OCc1ccc(cc1)-N(c2ccc(cc2)C=CCc3ccc(cc3)-N(c4ccc(cc4)C=CCc5ccc(cc5)Oc6ccc(cc6)C=CC)c4)cc2</chem>	
228	 <chem>CC=CC(=O)OCc1ccc(cc1)-N(c2ccc(cc2)Oc3ccc(cc3)C=CCc4ccc(cc4)-N(c5ccc(cc5)CH2Oc6ccc(cc6)C=CC)c4)cc2</chem>	20
229	 <chem>CC=CC(=O)OCc1ccc(cc1)-N(c2ccc(cc2)Oc3ccc(cc3)C(=O)c4ccc(cc4)C(=O)c5ccc(cc5)-N(c6ccc(cc6)CH2Oc7ccc(cc7)C=CC)c5)cc2</chem>	30
230	 <chem>CC=CC(=O)OCc1ccc(cc1)-N(c2ccc(cc2)CS(=O)(=O)c3ccc(cc3)-N(c4ccc(cc4)CH2Oc5ccc(cc5)C=CC)c3)cc2</chem>	40

【 0 1 2 4 】

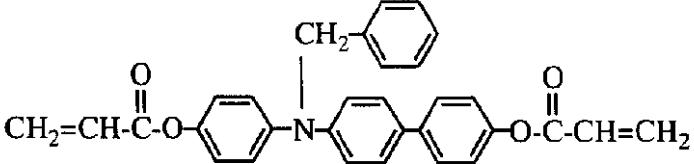
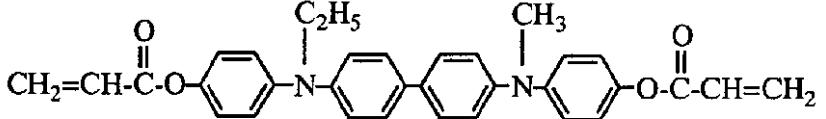
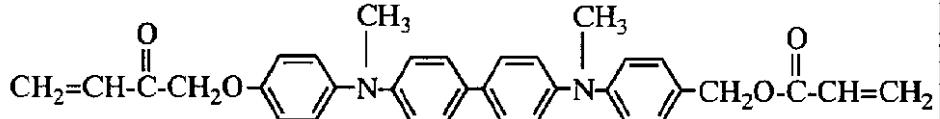
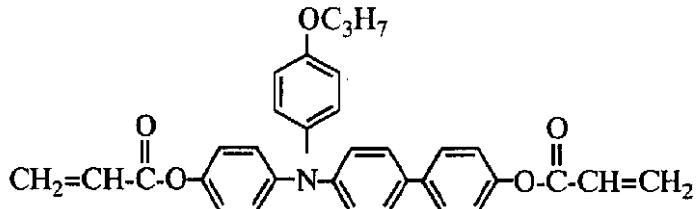
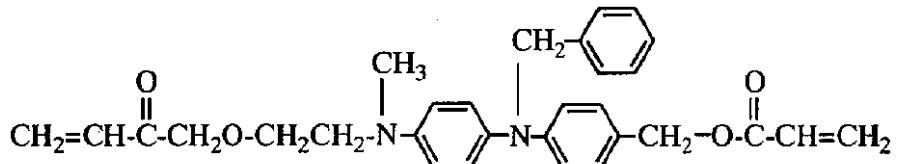
【 化 7 6 】

No.	化 合 物 例	
231		10
232		
233		20
234		30
235		40

【 0 1 2 5 】
【 化 7 7 】

No.	化 合 物 例	
236		10
237		
238		20
239		30
240		40

【0126】
【化78】

No.	化 合 物 例	
241		10
242		
243		20
244		30
245		40

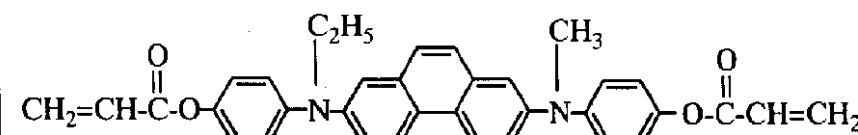
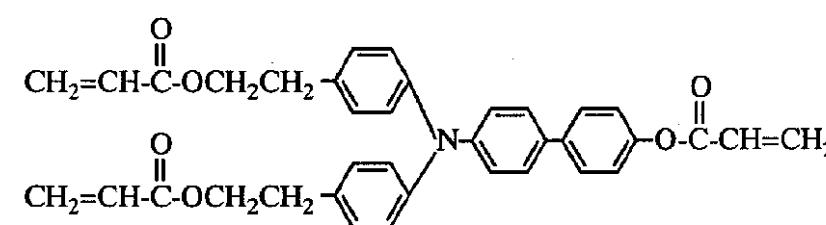
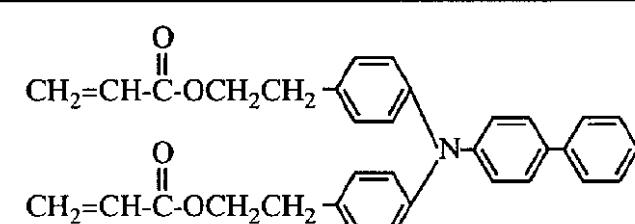
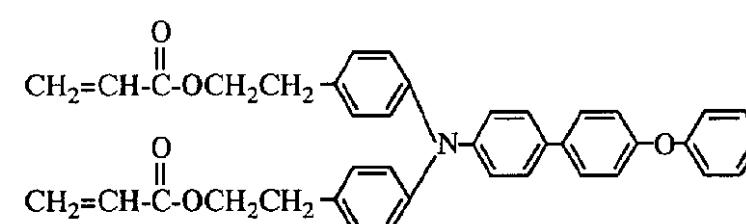
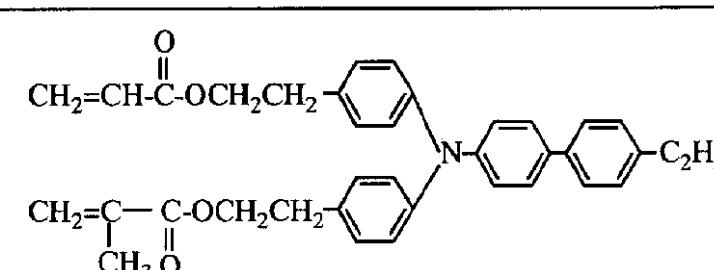
【 0 1 2 7 】

【 化 7 9 】

No.	化 合 物 例	
246		10
247		
248		20
249		30
250		40

【0128】

【化80】

No.	化 合 物 例	
251		10
252		
253		20
254		30
255		40

【 0 1 2 9 】

【 化 8 1 】

No.	化 合 物 例	
256	$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_2\text{H}_5 \\ \\ \text{CH}_2-\text{CH}-\text{CH}_2-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_2\text{H}_5 \end{array}$	10
257	$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_2\text{H}_5 \\ \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_2\text{H}_5 \end{array}$	
258	$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_2\text{H}_5 \\ \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{CH}_2-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_2\text{H}_5 \end{array}$	20
259	$\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \\ \text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{O}-\text{C}(=\text{O})-\text{CH}=\text{CH}_2 \\ \\ \text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{O}-\text{C}(=\text{O})-\text{CH}=\text{CH}_2 \end{array}$	30
260	$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{C}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{CH}_2 \\ \\ \text{C}_2\text{H}_5 \\ \\ \text{CH}_3 \end{array}$	40

【 0 1 3 0 】
【 化 8 2 】

No.	化 合 物 例
261	<p>10</p>
262	
263	<p>20</p>
264	<p>30</p>
265	<p>40</p>

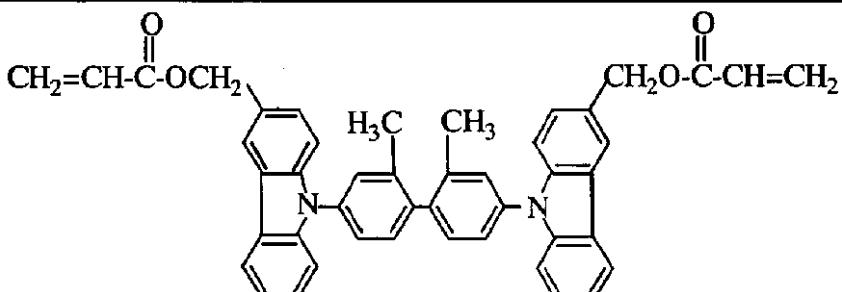
【0 1 3 1】

【化 8 3】

No.	化 合 物 例	
266		10
267		
268		20
269		30
270		40

【 0 1 3 2 】

【 化 8 4 】

No.	化 合 物 例	
271	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\text{C}}-\text{OCH}_2$ 	10
272	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\text{C}}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{S})-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}(=\text{O})-\text{CH}=\text{CH}_2)$	
273	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\text{C}}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{S})-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\text{C}}-\text{CH}=\text{CH}_2$	20
274	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\text{C}}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\text{C}}-\text{CH}=\text{CH}_2)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\text{C}}-\text{CH}=\text{CH}_2$	30
275	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\text{C}}-\text{O}-(\text{CH}_2)_5-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\text{C}}-\text{CH}=\text{CH}_2)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{Cl}$	40

【0133】
【化85】

No.	化 合 物 例	
276		10
277		
278		20
279		30
280		40

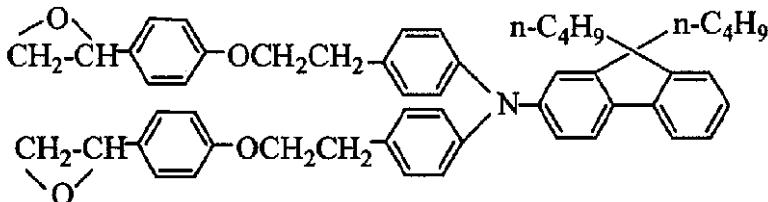
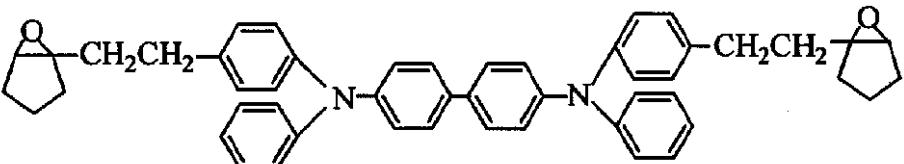
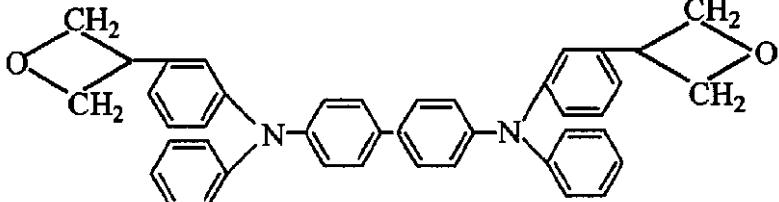
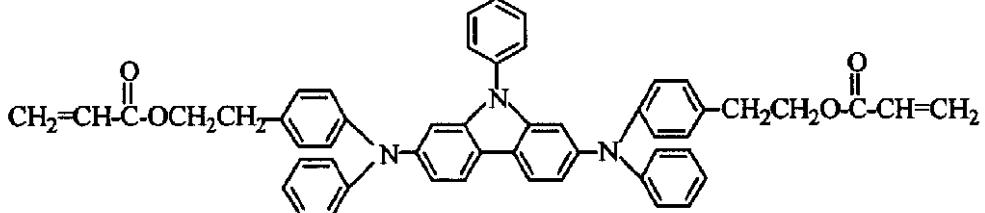
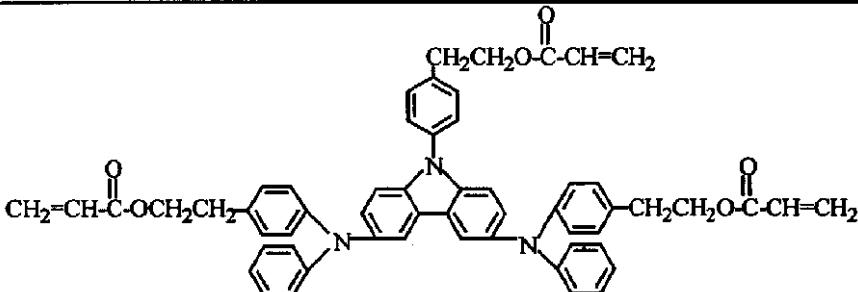
【 0 1 3 4 】

【 化 8 6 】

No.	化 合 物 例	
281		10
282		
283		20
284		30
285		40

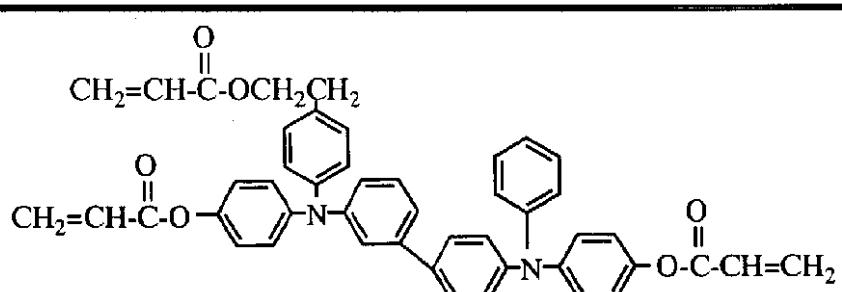
【 0 1 3 5 】

【 化 8 7 】

No.	化 合 物 例	
286		10
287		
288		20
289		30
290		40

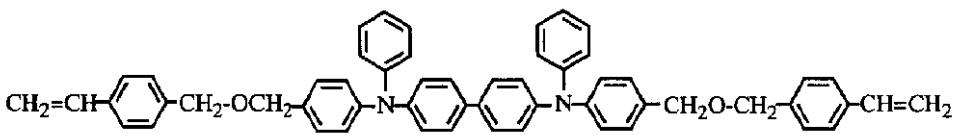
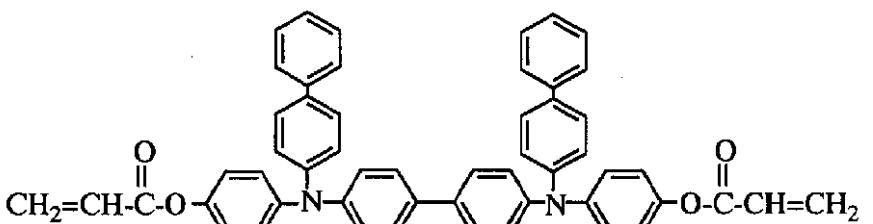
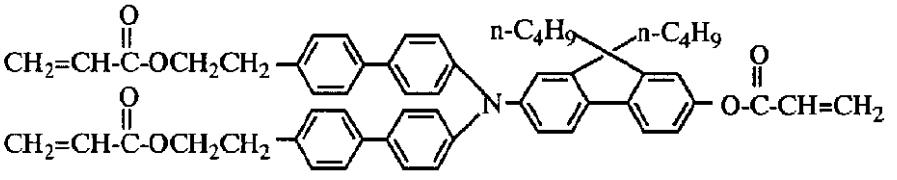
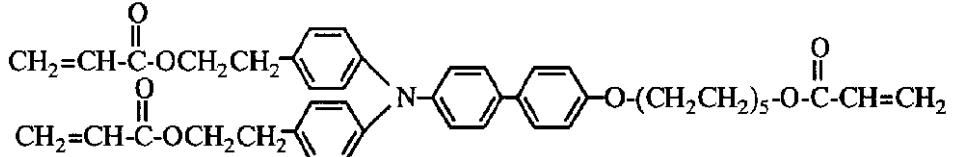
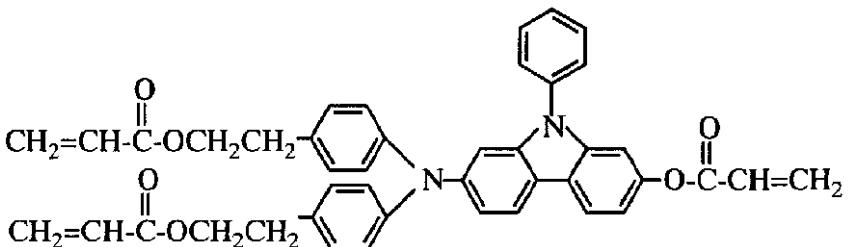
【 0 1 3 6 】

【 化 8 8 】

No.	化 合 物 例	
291	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2$ 	10
292	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{CH}_3)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2$	
293	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_5)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2$	20
294	$\text{CH}_2=\text{CH}-\text{CH}_2-\text{OCH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_5)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_5)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2\text{O}-\text{CH}_2-\text{CH}=\text{CH}_2$	30
295	$\text{CH}_2=\text{CH}-\text{OCH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_5)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_5)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2\text{O}-\text{CH}=\text{CH}_2$	40

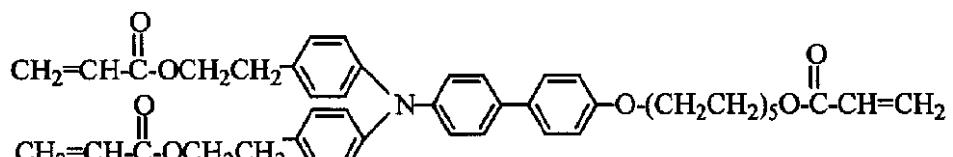
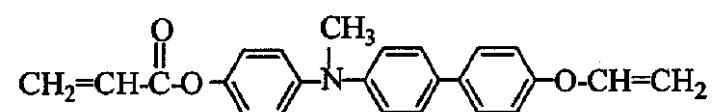
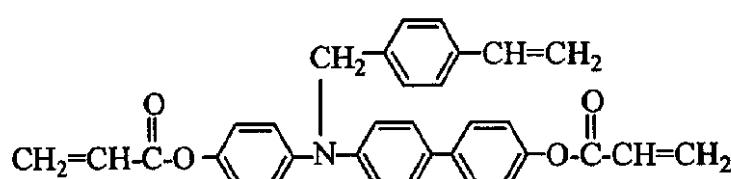
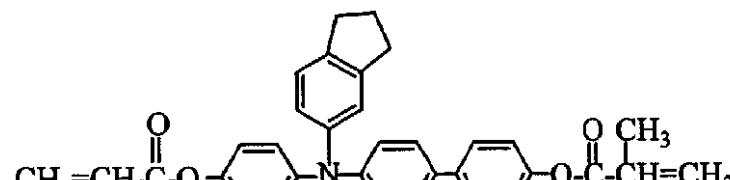
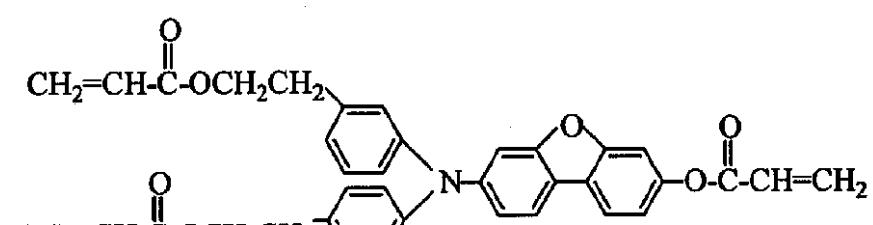
【 0 1 3 7 】

【 化 8 9 】

No.	化 合 物 例	
296		10
297		
298		20
299		30
300		40

【 0 1 3 8 】

【 化 9 0 】

No.	化 合 物 例	
301		10
302		
303		20
304		30
305		40

【 0 1 3 9 】

【 化 9 1 】

【 0 1 4 0 】

【化 9 2】

No.	化 合 物 例	
311		10
312		
313		20
314		30
315		40

【 0 1 4 1 】

【 化 9 3 】

No.	化 合 物 例	
316	<p style="text-align: right;">10</p>	
317		
318	<p style="text-align: right;">20</p>	
319	<p style="text-align: right;">30</p>	
320	<p style="text-align: right;">40</p>	

【 0 1 4 2 】

【 化 9 4 】

No.	化 合 物 例	
321	<chem>CC=CC(=O)OCc1ccccc1Cc2c(N(c3ccccc3)C=C(C)c4ccccc4)cc(C=C(C)c5ccccc5)cc2</chem>	10
322	<chem>CC=CC(=O)OCc1ccccc1Cc2c(N(c3ccccc3)C=C(C)c4ccccc4)cc(C=C(C)c5ccccc5)cc2</chem>	
323	<chem>CC=CC(=O)OCc1ccccc1Cc2c(N(c3ccccc3)C=C(C)c4ccccc4)cc(C=C(C)c5ccccc5)cc2</chem>	20
324	<chem>CC=CC(=O)OCc1ccccc1Cc2c(N(c3ccccc3)C=C(C)c4ccccc4)cc(C=C(C)c5ccccc5)cc2</chem>	30
325	<chem>CC=CC(=O)OCc1ccccc1Cc2c(N(c3ccccc3)C=C(C)c4ccccc4)cc(C=C(C)c5ccccc5)cc2</chem>	40

【 0 1 4 3 】
【 化 9 5 】

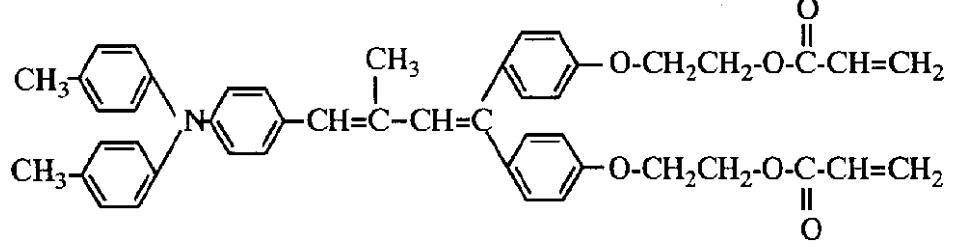
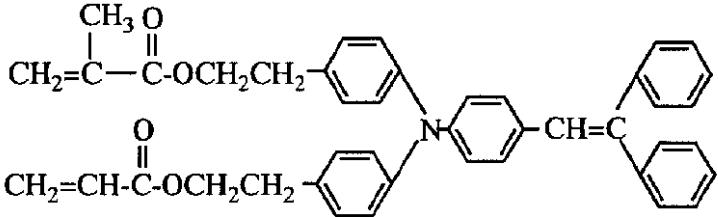
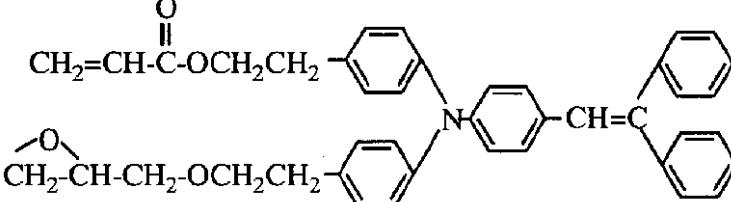
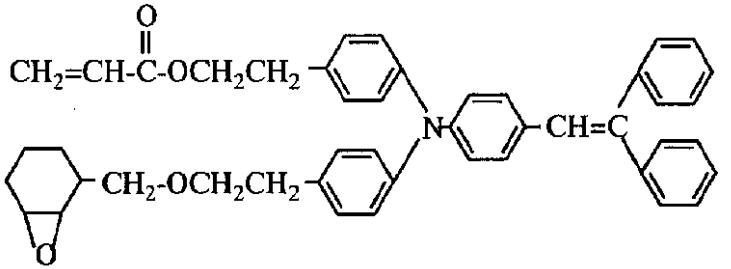
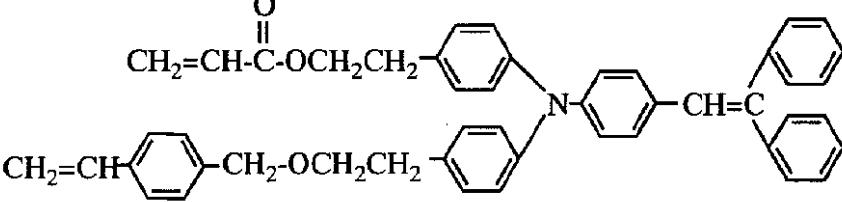
No.	化 合 物 例	
326	<p>Chemical structure 326: N-(2-((4-((2E,4E)-diphenyl-2-((2E)-but-1-enyl)ethoxy)ethylidene)phenyl)-2-methylpropyl)ethylbenzylamine. The structure shows a central nitrogen atom bonded to a 2-methylpropyl group and a 2-phenylpropyl group. The 2-phenylpropyl group is connected via a carbonyl group to a diphenyl-2-((2E)-but-1-enyl)ethoxy group.</p>	10
327	<p>Chemical structure 327: N-(2-((4-((2E,4E)-diphenyl-2-((2E)-but-1-enyl)ethoxy)ethylidene)phenyl)-2-methylpropyl)ethylbenzylamine. The structure is identical to 326, showing a central nitrogen atom bonded to a 2-methylpropyl group and a 2-phenylpropyl group, with the 2-phenylpropyl group linked to a diphenyl-2-((2E)-but-1-enyl)ethoxy group.</p>	
328	<p>Chemical structure 328: N-(2-((4-((2E,4E)-diphenyl-2-((2E)-but-1-enyl)ethoxy)ethylidene)phenyl)-2-methylpropyl)ethylbenzylamine. The structure is identical to 326 and 327, showing a central nitrogen atom bonded to a 2-methylpropyl group and a 2-phenylpropyl group, with the 2-phenylpropyl group linked to a diphenyl-2-((2E)-but-1-enyl)ethoxy group.</p>	20
329	<p>Chemical structure 329: N-(2-((4-((2E,4E)-diphenyl-2-((2E)-but-1-enyl)ethoxy)ethylidene)phenyl)-2-methylpropyl)ethylbenzylamine. The structure is identical to 326, 327, and 328, showing a central nitrogen atom bonded to a 2-methylpropyl group and a 2-phenylpropyl group, with the 2-phenylpropyl group linked to a diphenyl-2-((2E)-but-1-enyl)ethoxy group.</p>	30
330	<p>Chemical structure 330: N-(2-((4-((2E,4E)-diphenyl-2-((2E)-but-1-enyl)ethoxy)ethylidene)phenyl)-2-methylpropyl)ethylbenzylamine. The structure is identical to 326, 327, 328, and 329, showing a central nitrogen atom bonded to a 2-methylpropyl group and a 2-phenylpropyl group, with the 2-phenylpropyl group linked to a diphenyl-2-((2E)-but-1-enyl)ethoxy group.</p>	40

【0 1 4 4】
【化 9 6】

No.	化 合 物 例	
331		10
332		
333		20
334		30
335		40

【 0 1 4 5 】

【 化 9 7 】

No.	化 合 物 例	
336		10
337		
338		20
339		30
340		40

【 0 1 4 6 】

【 化 9 8 】

No.	化 合 物 例	
341	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4)-\text{CH}_2=\text{CH}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4$	10
342	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4)-\text{CH}_2=\text{CH}-\text{CH}_2-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4$	
343	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2)-\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4$	20
344	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_10\text{H}_8)-\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4$	30
345	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_10\text{H}_7\text{S})-\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4$	40

【 0 1 4 7 】

【 化 9 9 】

No.	化 合 物 例
346	<p style="text-align: right;">10</p>
347	
348	<p style="text-align: right;">20</p>
349	<p style="text-align: right;">30</p>
350	<p style="text-align: right;">40</p>

【 0 1 4 8 】

【 化 1 0 0 】

No.	化 合 物 例
351	
352	
353	
354	
355	

【 0 1 4 9 】

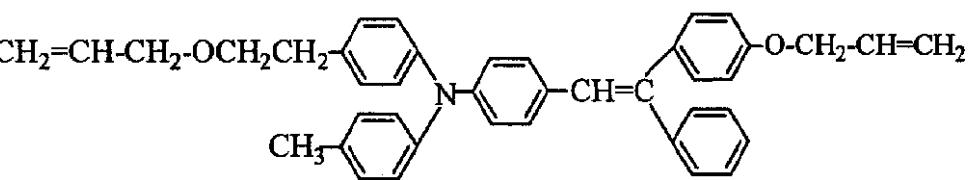
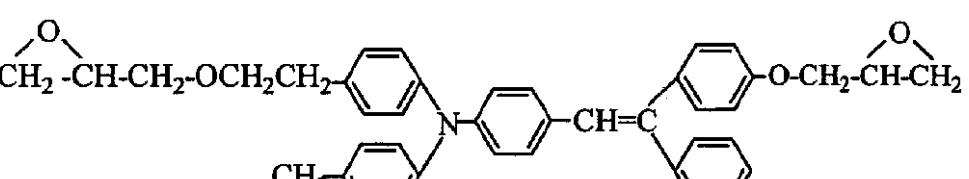
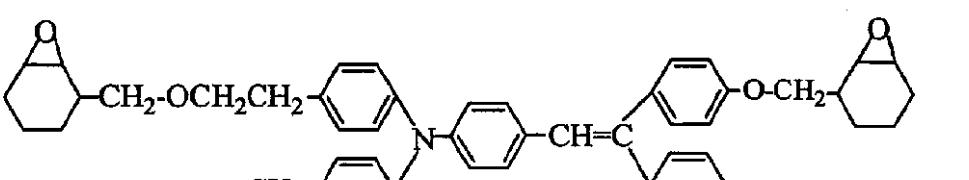
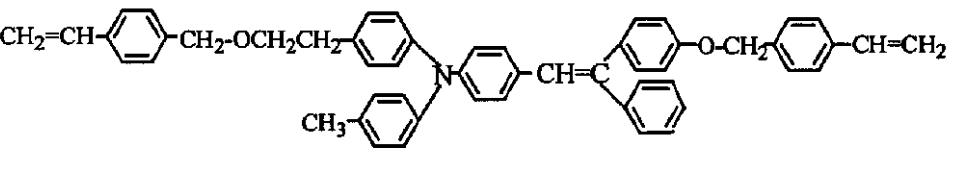
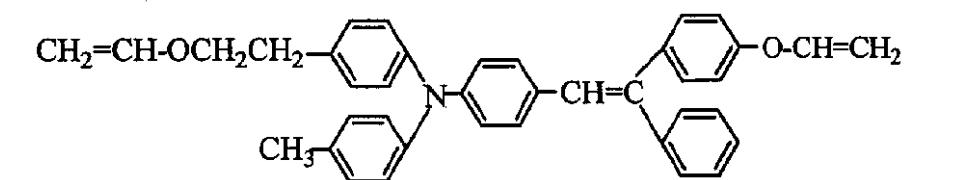
【 化 1 0 1 】

No.	化 合 物 例	
356		10
357		
358		20
359		30
360		40

【 0 1 5 0 】
【 化 1 0 2 】

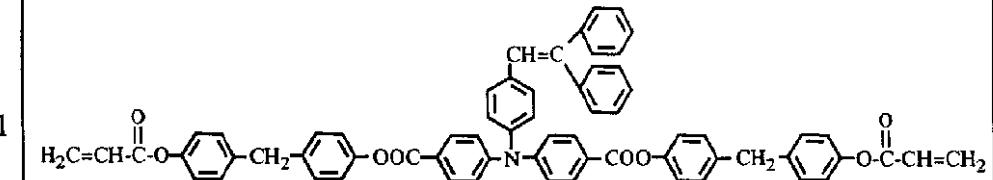
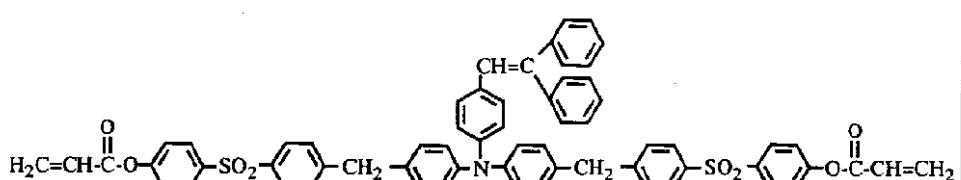
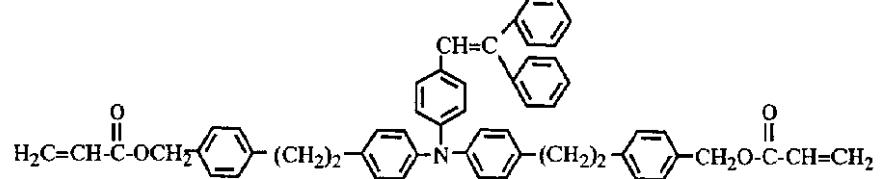
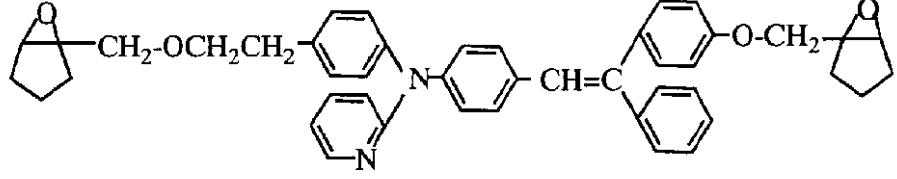
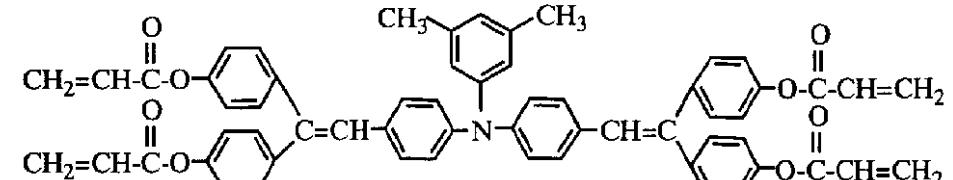
No.	化 合 物 例	
361		10
362		
363		20
364		30
365		40

【0151】
【化103】

No.	化 合 物 例	
366		10
367		20
368		30
369		40
370		

【 0 1 5 2 】

【 化 1 0 4 】

No.	化 合 物 例	
371		10
372		
373		20
374		30
375		40

【 0 1 5 3 】

【 化 1 0 5 】

No.	化 合 物 例	
376	<p style="text-align: right;">10</p>	
377		
378	<p style="text-align: right;">20</p>	
379	<p style="text-align: right;">30</p>	
380	<p style="text-align: right;">40</p>	

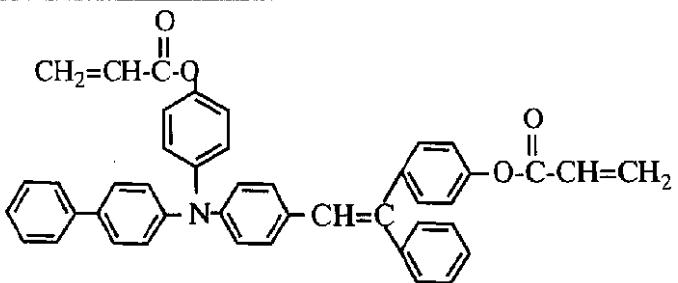
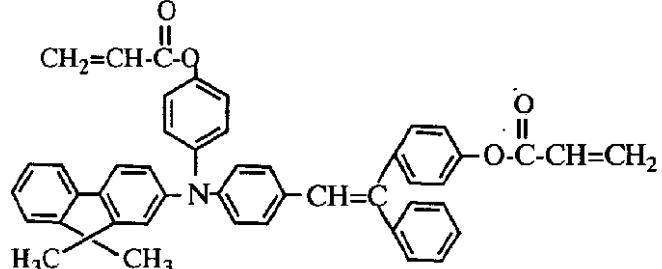
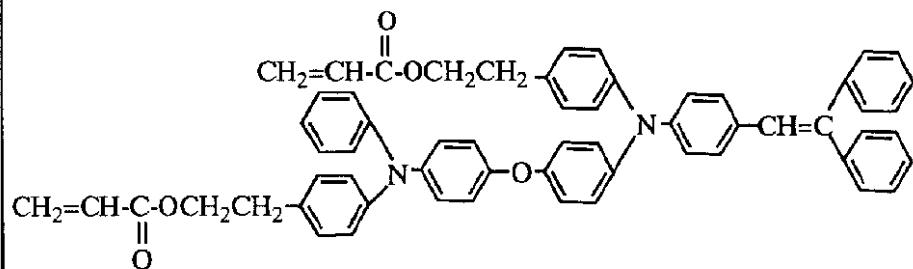
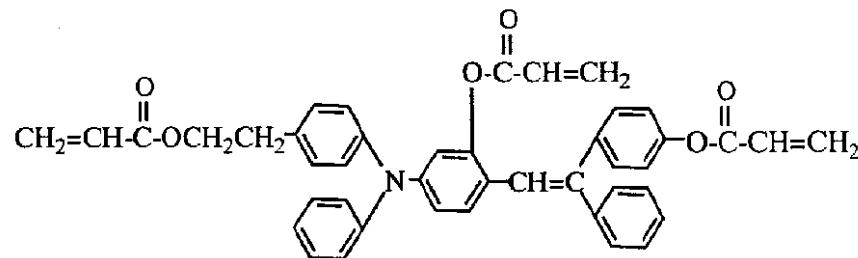
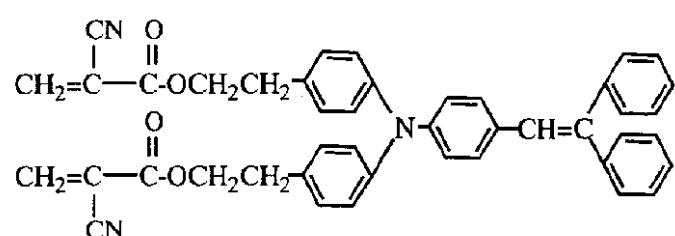
【 0 1 5 4 】

【 化 1 0 6 】

No.	化 合 物 例	
381	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{CH}-\text{C}_6\text{H}_5)$ $\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{CH}-\text{C}_6\text{H}_5)$	10
382	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{CH}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{OC}_2\text{H}_5)$ $\text{CH}_2=\text{CH}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{CH}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{OC}_2\text{H}_5)$	
383	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{C}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2)$ $\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{C}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2)$	20
384	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{C}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{CH}=\text{CH}_2)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{CH}=\text{CH}_2)$ $\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{C}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{CH}=\text{CH}_2)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{CH}=\text{CH}_2)$	30
385	$\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}=\text{CH}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{C}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2)$ $\text{CH}_2=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}=\text{CH}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{C}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2)-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2)$	40

【0 1 5 5】

【化 1 0 7】

No.	化 合 物 例	
386		10
387		
388		20
389		30
390		40

【 0 1 5 6 】

【 化 1 0 8 】

No.	化 合 物 例
391	<p style="text-align: right;">10</p>
392	
393	<p style="text-align: right;">20</p>
394	<p style="text-align: right;">30</p>
395	<p style="text-align: right;">40</p>

【 0 1 5 7 】

【 化 1 0 9 】

No.	化 合 物 例	
396		10
397		
398		20
399		30
400		40

【 0 1 5 8 】

【 化 1 1 0 】

No.	化 合 物 例	
401	$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\text{C}-(\text{CH}_2)_3-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{S}-\text{CH}=\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4 \\ \text{O} \\ \parallel \\ \text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\text{C}-(\text{CH}_2)_3-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4 \end{array}$	10
402	$\begin{array}{c} \text{CH}_3\text{OOC} \quad \text{O} \\ \quad \\ \text{H}_2\text{C}=\text{C}-\text{C}-\text{OCH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4 \\ \text{O} \\ \\ \text{H}_2\text{C}=\text{C}-\text{C}-\text{OCH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4 \\ \text{CH}_3\text{OOC} \end{array}$	
403	$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4 \\ \text{O} \\ \parallel \\ \text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2 \end{array}$	20
404	$\begin{array}{c} \text{O} \quad \text{CH}_3 \\ \quad \\ \text{O}-\text{C}-\text{C}=\text{CH}_2 \\ \\ \text{C}_6\text{H}_4-\text{N} \\ \\ \text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4 \end{array}$	30
405	$\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \\ \text{C}_6\text{H}_4-\text{N} \\ \\ \text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{N}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2\text{O}-\text{C}-\text{CH}=\text{CH}_2 \end{array}$	40

【 0 1 5 9 】

【化 1 1 1 】

No.	化 合 物 例
406	<p style="text-align: right;">10</p>
407	
408	<p style="text-align: right;">20</p>
409	<p style="text-align: right;">30</p>
410	<p style="text-align: right;">40</p>

【0160】
【化112】

No.	化 合 物 例	
411	$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{N}-\text{N}_c\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_5)_2 \\ \\ \text{CH}_3 \quad \text{O} \\ \\ \text{CH}_2=\text{C}-\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$	10
412	$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{N}-\text{N}_c\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_5)_2 \\ \\ \text{CH}_2-\text{CH}-\text{CH}_2-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$	
413	$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{N}-\text{N}_c\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_5)_2 \\ \\ \text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}_2-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$	20
414	$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{N}-\text{N}_c\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_5)_2 \\ \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{C}_6\text{H}_5-\text{CH}_2-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$	30
415	$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{C}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{N}(\text{C}_6\text{H}_4-\text{CH}=\text{N}-\text{N}_c\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_5)_2 \\ \\ \text{CH}_2=\text{CH}-\text{OCH}_2\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$	40

【0 1 6 1】

【化 1 1 3】

No.	化 合 物 例	
416		10
417		
418		20
419		30
420		40

【 0 1 6 2 】

【 化 1 1 4 】

No.	化 合 物 例	
421		10
422		
423		20
424		30
425		40

【 0 1 6 3 】

【 化 1 1 5 】

No.	化 合 物 例	
426		10
427		
428		20
429		30
430		40

【0164】
【化116】

No.	化 合 物 例
431	
432	
433	
434	
435	

【0165】
【化117】

No.	化 合 物 例	
436	$\text{CH}_2=\text{CH-CH}_2\text{-OCH}_2\text{-C}_6\text{H}_4\text{-N}(\text{C}_6\text{H}_5)\text{-C}_6\text{H}_3(\text{Cl})\text{-CH=N-N-C}_6\text{H}_4\text{-C}_6\text{H}_5$ $\text{CH}_2=\text{CH-CH}_2\text{-OCH}_2\text{-C}_6\text{H}_4\text{-N}(\text{C}_6\text{H}_5)\text{-C}_6\text{H}_3(\text{CH}_3)\text{-CH=N-N-C}_6\text{H}_4\text{-C}_6\text{H}_5$	10
437	$\text{CH}_2=\text{CH-C}_6\text{H}_4\text{-CH}_2\text{-OCH}_2\text{CH}_2\text{-C}_6\text{H}_4\text{-N}(\text{C}_6\text{H}_5)\text{-C}_6\text{H}_3(\text{CH}_3)\text{-CH=N-N-C}_6\text{H}_4\text{-C}_6\text{H}_5\text{-O-CH}_2\text{-C}_6\text{H}_4\text{-CH=CH}_2$	
438	$\text{CH}_2\text{-CH(OCH}_2\text{)-CH}_2\text{-OCH}_2\text{CH}_2\text{-C}_6\text{H}_4\text{-N}(\text{C}_6\text{H}_5)\text{-C}_6\text{H}_3(\text{CH}_3)\text{-CH=N-N-C}_6\text{H}_4\text{-C}_6\text{H}_5\text{-O-CH}_2\text{-CH(OCH}_2\text{)-CH}_2$	20
439	$\text{CH}_2=\text{CH-CH}_2\text{-OCH}_2\text{CH}_2\text{-C}_6\text{H}_4\text{-N}(\text{C}_6\text{H}_5)\text{-C}_6\text{H}_3(\text{Cl})\text{-CH=N-N-C}_6\text{H}_4\text{-C}_6\text{H}_5\text{-O-CH}_2\text{-CH=CH}_2$	30
440	$\text{H}_2\text{C=CH-C(=O)-O-C}_6\text{H}_4\text{-CH}_2\text{-C}_6\text{H}_4\text{-OOC-C}_6\text{H}_4\text{-N}(\text{C}_6\text{H}_5)\text{-C}_6\text{H}_3(\text{CH}_3)\text{-COO-C}_6\text{H}_4\text{-CH}_2\text{-C}_6\text{H}_4\text{-O-C(=O)-CH=CH}_2$	40

【0166】
【化118】

No.	化 合 物 例
441	<p style="text-align: right;">10</p>
442	

【 0 1 6 7 】

本発明において、連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物の代表的な合成方法を以下に示す。

【 0 1 6 8 】

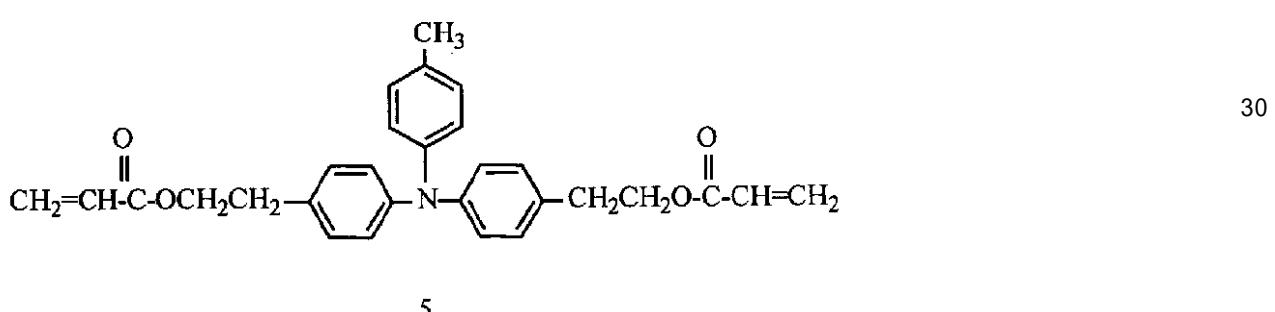
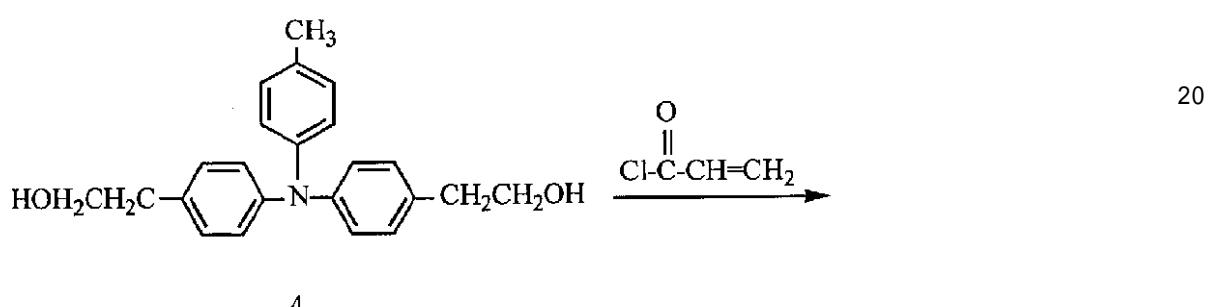
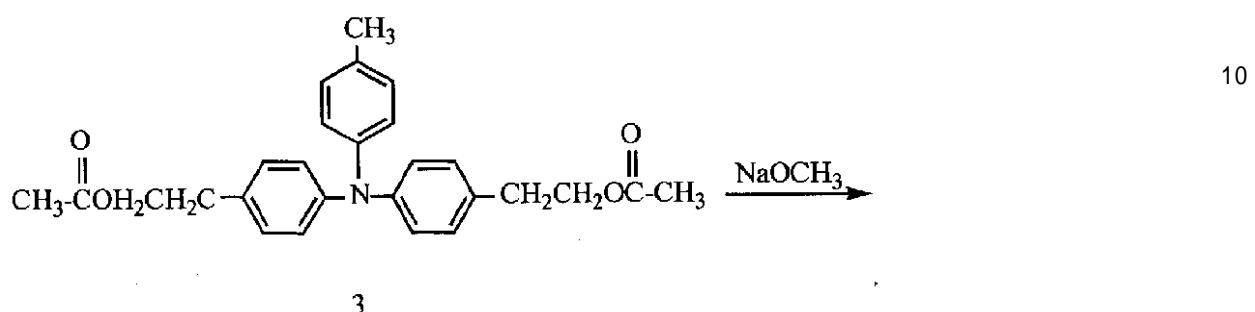
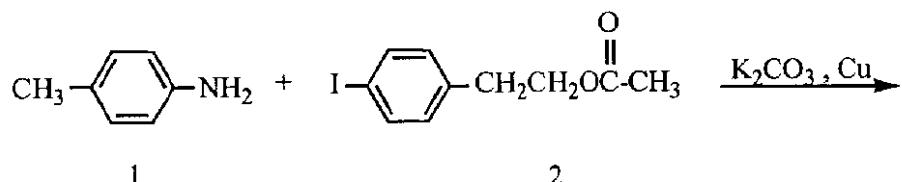
(合成例 1 : 化合物例 No. 6 の合成)

以下のルートに従い合成した。

【 0 1 6 9 】

50

【化119】



【0170】

1 (50g : 0.47mol)、2 (406g : 1.4mol)、無水炭酸カリウム (193g) 及び銅粉 (445g) を 1, 2 - ジクロロベンゼン 1200g と共に 180 ~ 190 度で加熱攪拌を 15 時間行った。反応液を濾過後、減圧下で溶媒を除去し、残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い 3 を 132g 得た。

【0171】

3 (120g : 0.28mol) をメチルセルソルブ 1500g に加え室温で攪拌しながらナトリウムメチラート (150g) をゆっくり添加した。添加終了後、そのまま室温で 1 時間攪拌後、更に 70 ~ 80 度で 10 時間加熱攪拌を行った。反応液を水にあけ希塩酸で中和後、酢酸エチルで抽出し有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下で溶媒を除去した。残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い 4 を 78g 得た。

【0172】

4 (70g : 0.2mol) 及びトリエチルアミン (40g : 0.4mol) を、乾燥テトラヒドロフラン (THF) 400ml に加え 0 ~ 5 度に冷却後、塩化アクリロイル (5

5 g : 0 . 6 m o l) をゆっくり滴下した。滴下終了後、ゆっくり室温に戻し室温でそのまま4時間攪拌を行った。反応液を水にあけ中和後、酢酸エチルで抽出し有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後溶媒を除去した。残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い5(化合物例No.6)を4.2 g 得た。

【0173】

(合成例2：化合物例No.71の合成)

上記合成例1で得られた4(10 g : 29 mmol)を乾燥T H F 50 m lに加え、0~5に冷却後、油性水素化ナトリウム(約60%)3.5 gをゆっくり添加した。添加終了後、室温に戻し1時間攪拌後再び0~5に冷却し、アリルプロマイド(17.5 g : 14.5 mmol)をゆっくり滴下した。滴下終了後、そのまま1時間攪拌後に室温に戻し、更に5時間攪拌を行った。反応液を水にあけ中和後、トルエンで抽出し有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後溶媒を除去した。残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い目的化合物(化合物例No.71)を5.6 g 得た。

10

【0174】

(合成例3：化合物例No.55の合成)

上記合成例2で得られた化合物No.71 3.0 gをジクロロメタン20 m lに溶解後0~5に冷却し、m - クロロ過安息香酸(~70%)5.2 gをゆっくり添加し、そのまま1時間攪拌後に室温に戻し12時間攪拌を行った。反応液を水にあけジクロロメタンで抽出を行った。有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後溶媒を除去し、残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い目的化合物(化合物例No.55)を2.1 g 得た。

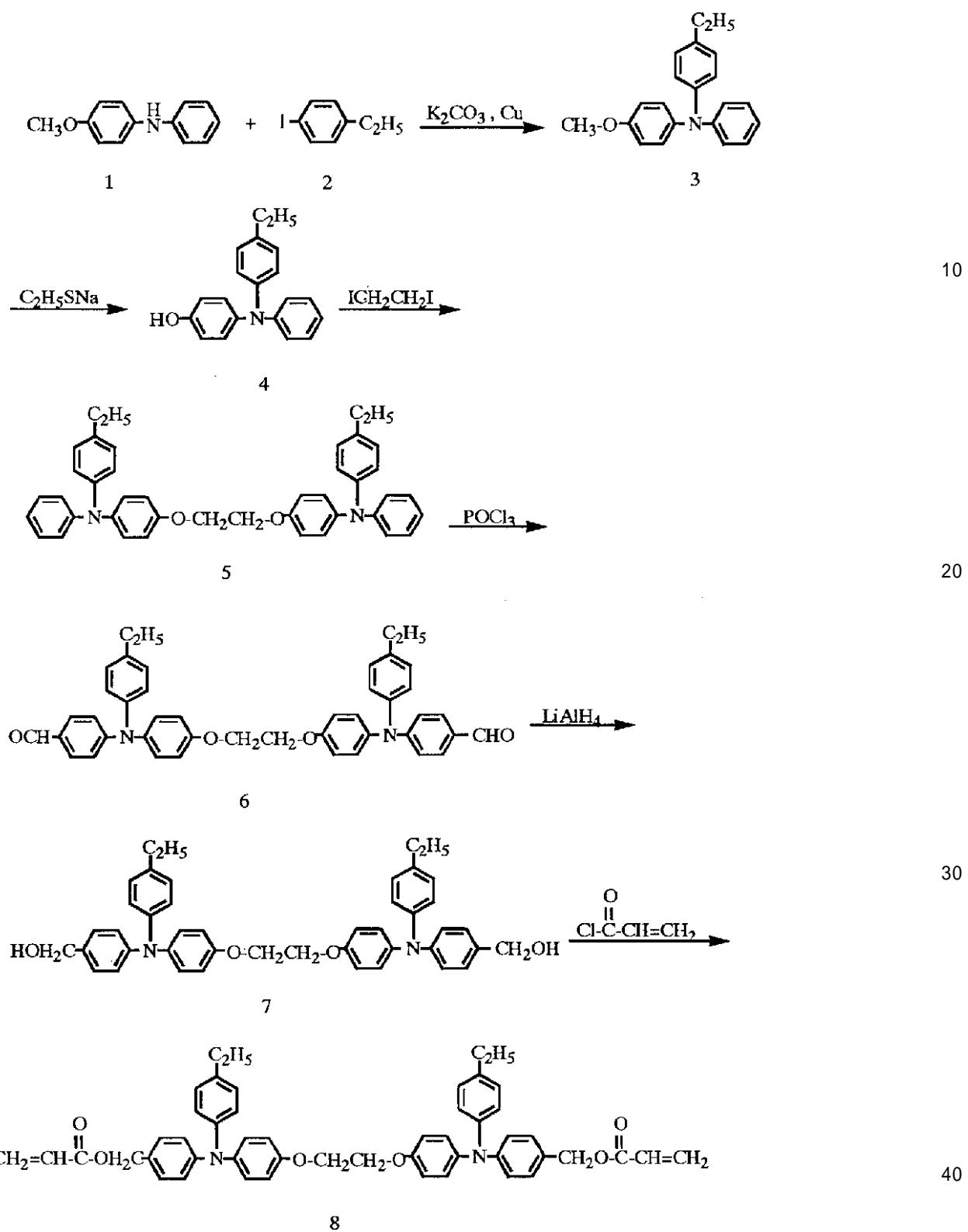
20

(合成例4：化合物例No.152の合成)

以下のルートに従い合成した。

【0175】

【化120】



【0176】

1 (70 g : 0.35 mol)、2 (98 g : 0.42 mol)、無水炭酸カリウム (73 g) 及び銅粉 (111 g) を 1, 2 - ジクロロベンゼン 600 g と共に 180 ~ 190 °C で加熱攪拌を 10 時間行った。反応液を濾過後、減圧下で溶媒を除去し、残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い 3 を 86.2 g 得た。

【0177】

3 (80 g : 0.26 mol) を N, N - デミチルフォルムアミド (DMF) 300 g に加え室温で攪拌しながらエタンオールナトリウム塩 (約 90% : 62 g) をゆっくり添
50

加した。添加終了後、そのまま室温で1時間攪拌後、更に還流下で3時間加熱攪拌を行った。冷却後、反応液を水にあけ希塩酸で弱酸性にし、酢酸エチルで抽出し有機層を更に1.2 mol / l の水酸化ナトリウム水溶液で抽出し、水層を希塩酸で酸性にして酢酸エチルで抽出し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後減圧下で溶媒を除去した。残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い4を6.4 g 得た。

【0178】

4を(6.0 g : 0.21 mol)をN,N-ジメチルフォルムアミド300 gに加え室温で攪拌しながら苛性ソーダ(8.3 g)をゆっくり添加した。添加終了後、そのまま室温で30分間攪拌後、1,2-ジヨードエタン(31.7 g : 0.1 mol)をゆっくり滴下した。滴下終了後、30分間の攪拌後に更に70で5時間加熱攪拌を行った。反応液を水にあけトルエンで抽出を行い、有機層を更に水洗後、無水硫酸ナトリウムで乾燥し減圧下で溶媒を除去した。残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い5を4.9.1 g 得た。

10

【0179】

D MF 18.2 g を0~5に冷却後、オキシ塩化リン63.6 g を10を超えないようゆっくり滴下した。滴下終了後、15分間そのまま攪拌後、5(42.2 g : 0.07 mol) / D MF 10.2 g 溶液をゆっくり滴下した。滴下終了後、そのまま30分間攪拌した後に室温に戻し2時間攪拌し、更に80~85に加熱し15時間攪拌を行った。反応液を約1.5質量%の酢酸ナトリウム水溶液1500 g にあけ12時間攪拌を行った。それを中和後、トルエンを用い抽出し有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後溶媒を除去し、残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い6を2.3 g 得た。

20

【0180】

乾燥T HF 100 ml に水素化リチウムアルミニウム0.89 g を加え室温で攪拌しているところへ6(15 g : 0.023 mol) / 乾燥T HF 100 ml 溶液をゆっくり滴下した。滴下終了後、室温で4時間攪拌後、5質量%塩酸水溶液200 ml をゆっくり滴下した。滴下終了後、トルエンで抽出し有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後溶媒を除去し、残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い7を13.6 g 得た。

【0181】

7(10 g : 0.015 mol)及びトリエチルアミン(6.1 g : 0.06 mol)を、乾燥T HF 120 ml に加え0~5に冷却後、塩化アクリロイル(4.1 g : 0.045 mol)をゆっくり滴下した。滴下終了後、ゆっくり室温に戻し室温でそのまま6時間攪拌を行った。反応液を水にあけ中和後、酢酸エチルで抽出し有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後溶媒を除去した。残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い8(化合物例No. 152)を6.4 g 得た(酸化電位: 0.88 V)。

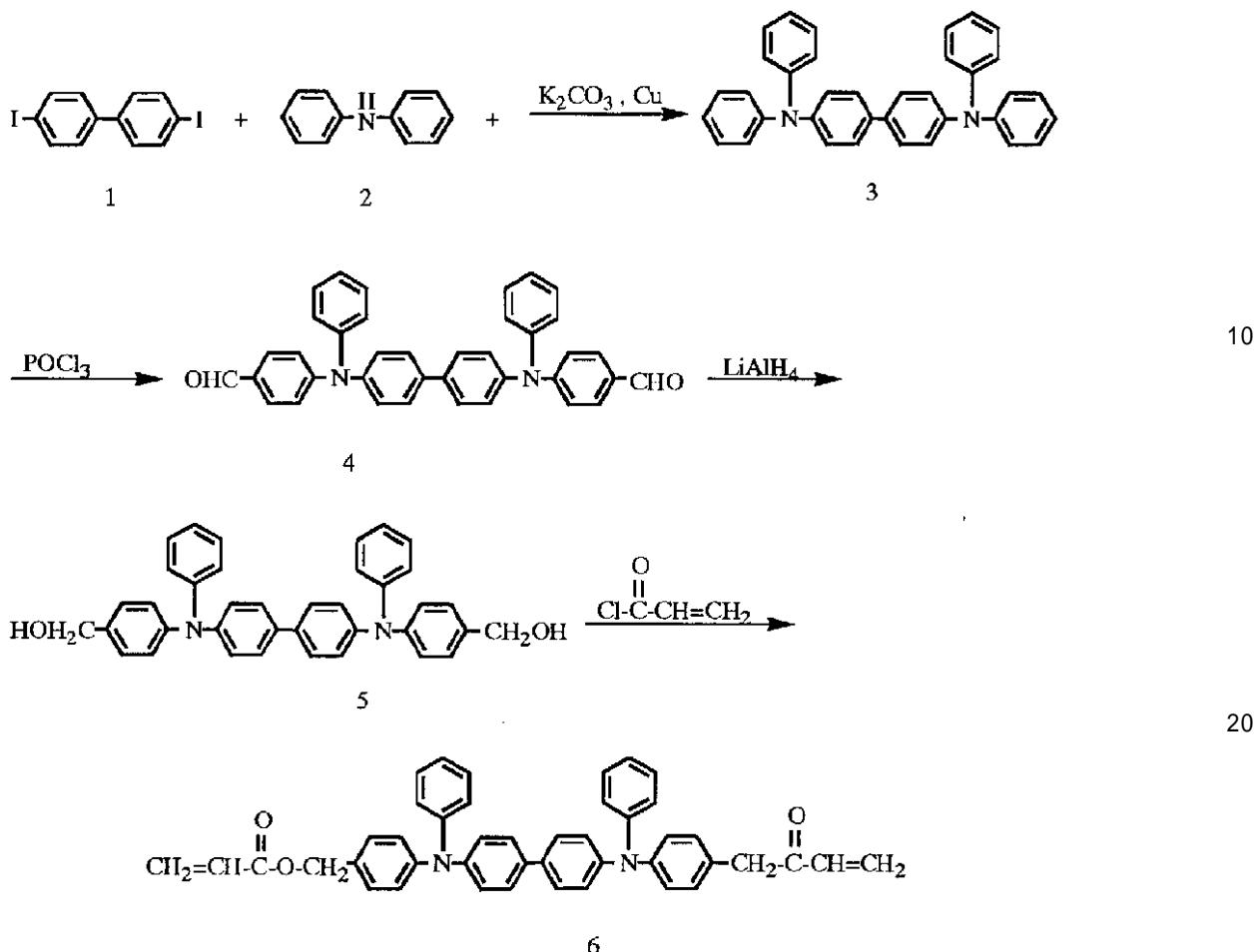
30

(合成例5: 化合物例No. 263の合成)

以下のルートに従い合成した。

【0182】

【化121】



【0183】

1 (50 g : 0.123 mol)、2 (62.4 g : 0.369 mol)、無水炭酸カリウム (25.5 g) 及び銅粉 (32 g) を 1, 2-ジクロロベンゼン 200 g と共に 180 ~ 190 度で加熱攪拌を 18 時間行った。反応液を濾過後、減圧下で溶媒を除去し、残留物をトルエン / メタノール混合溶媒で 2 回再結晶を行い 3 を 60.2 g 得た。

【0184】

D MF 242 g を 0 ~ 5 度に冷却後、オキシ塩化リン (84.8 g : 553.2 mmol) を 10 度を超えないようにゆっくり滴下した。滴下終了後、15 分間そのまま攪拌後、3 (45.0 g : 92.2 mmol) / D MF 135 g 溶液をゆっくり滴下した。滴下終了後、そのまま 30 分間攪拌した後に室温に戻し 2 時間攪拌し、更に 80 ~ 85 度に加熱し 8 時間攪拌を行った。反応液を約 15 質量 % の酢酸ナトリウム水溶液 2500 g にあけ 12 時間攪拌を行った。それを中和後、トルエンを用い抽出し有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後溶媒を除去し、残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い 4 を 40.5 g 得た。

【0185】

乾燥 THF 100 ml に水素化リチウムアルミニウム 0.89 g を加え室温で攪拌しているところへ 4 (37 g : 68 mmol) / 乾燥 THF 600 ml 溶液をゆっくり滴下した。滴下終了後、室温で 4 時間攪拌後、5 質量 % 塩酸水溶液 500 ml をゆっくり滴下した。滴下終了後、トルエンで抽出し有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後溶媒を除去し、残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い 5 を 26.3 g 得た。

【0186】

5 (20 g : 36 mmol) 及びトリエチルアミン (12.8 g : 126 mmol) を、乾燥 THF 130 ml に加え 0 ~ 5 度に冷却後、塩化アクリロイル (9.8 g : 108 mmol) をゆっくり滴下した。滴下終了後、ゆっくり室温に戻し室温でそのまま 6 時間攪

30

40

50

50

拌を行った。反応液を水にあけ中和後、酢酸エチルで抽出し有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後溶媒を除去した。残留物をシリカゲルカラムを用いカラム精製を行い6(化合物例No.263)を11.2g得た(酸化電位:0.80V)。

【0187】

本発明においては、前記同一分子内に二つ以上の連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物を重合することで、感光層中において、正孔輸送能を有する化合物は二つ以上の架橋点をもって3次元架橋構造を形成する。前記正孔輸送性化合物はそれのみを重合させる、あるいは他の連鎖重合性官能基を有する化合物と混合させることのいずれもが可能であり、その種類/比率は全て任意である。ここでいう他の連鎖重合性官能基を有する化合物とは、連鎖重合性官能基を有する単量体あるいはオリゴマー/ポリマーのいずれもが含まれる。10

【0188】

正孔輸送性化合物の官能基とその他の連鎖重合性化合物の官能基が同一の基あるいは互いに重合可能な基である場合には、両者は共有結合を介した共重合3次元架橋構造をとることが可能である。両者の官能基が互いに重合しない官能基である場合には、感光層は二つ以上の3次元硬化物の混合物あるいは主成分の3次元硬化物中に他の連鎖重合性化合物単量体あるいはその硬化物を含んだものとして構成されるが、その配合比率/製膜方法をうまくコントロールすることで、IPN(Inter Penetrating Network)すなわち相互進入網目構造を形成することも可能である。

【0189】

また、前記正孔輸送性化合物と連鎖重合性官能基を有しない単量体あるいはオリゴマー/ポリマーや連鎖重合官能性以外の重合性官能基を有する単量体あるいはオリゴマー/ポリマー等から感光層を形成してもよい。20

【0190】

更に、場合によっては3次元架橋構造に化学結合的に組み込まれないすなわち連鎖重合性官能基を有しない正孔輸送性化合物を含有することも可能である。また、その他の各種添加剤、フッ素原子含有樹脂微粒子等の潤剤その他を含有してもよい。

【0191】

本発明の電子写真感光体の構成は、導電性支持体上に感光層として、少なくとも電荷発生材料を含有する電荷発生層及び少なくとも電荷輸送材料を含有する電荷輸送層をこの順に積層した構成である。30

【0192】

電荷輸送層には、先の連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物を重合・硬化した化合物を含有しており、その電荷輸送層の膜厚は1μm~50μmが好ましく、特に好ましくは5~30μmであり、後述の第2の電荷輸送層として使用する場合は、その膜厚は1~20μmが好ましく、特には1~6μmが好ましい。

【0193】

次に、本発明による電子写真感光体の製造方法を具体的に示す。

【0194】

電子写真感光体の支持体としては導電性を有するものであればよく、例えば、アルミニウム、銅、クロム、ニッケル、亜鉛及びステンレス等の金属や合金をドラム又はシート状に成形したもの、アルミニウム及び銅等の金属箔をプラスチックフィルムにラミネートしたもの、アルミニウム、酸化インジウム及び酸化錫等をプラスチックフィルムに蒸着したものの、導電性材料を単独又は結着樹脂と共に塗布して導電層を設けた金属、プラスチックフィルム及び紙等が挙げられる。40

【0195】

本発明においては、導電性支持体の上にはバリアー機能と接着機能をもつ下引き層を設けることができる。下引き層は、感光層の接着性改良、塗工性改良、支持体の保護、支持体上の欠陥の被覆、支持体からの電荷注入性改良、また感光層の電気的破壊に対する保護等のために形成される。50

【0196】

下引き層の材料としては、ポリビニルアルコール、ポリ-N-ビニルイミダゾール、ポリエチレンオキシド、エチルセルロース、エチレン-アクリル酸共重合体、カゼイン、ポリアミド、N-メトキシメチル化6ナイロン、共重合ナイロン、にかわ及びゼラチン等が知られている。これらは、それぞれに適した溶剤に溶解されて支持体上に塗布される。その際の膜厚としては0.1~2μmが好ましい。

【0197】

本発明の電子写真感光体は、電荷発生層及び電荷輸送層を積層する機能分離型の電子写真感光体である。電荷発生層に用いる電荷発生材料としては、セレン-テルル、ピリリウム、チアピリリウム系染料、また各種の中心金属及び結晶系、具体的には例えば、¹⁰、[、]、[、]及びX型等の結晶型を有するフタロシアニン化合物、アントアントロン顔料、ジベンズピレンキノン顔料、ピラントロン顔料、トリスアゾ顔料、ジスアゾ顔料、モノアゾ顔料、インジゴ顔料、キナクリドン顔料、非対称キノシアニン顔料、キノシアニン及び特開昭54-143645号公報に記載のアモルファスシリコン等が挙げられる。

【0198】

電荷発生層は、前記電荷発生材料を0.3~4倍量の接着樹脂及び溶剤と共にホモジナイザー、超音波分散、ボールミル、振動ボールミル、サンドミル、アトライター及びローラミル等の方法で良く分散し、分散液を塗布し、乾燥されて形成されるか、又は前記電荷発生材料の蒸着膜等、単独組成の膜として形成される。その膜厚は5μm以下であることが好ましく、特には0.1~2μmの範囲であることが好ましい。²⁰

【0199】

接着樹脂を用いる場合の例は、スチレン、酢酸ビニル、塩化ビニル、アクリル酸エステル、メタクリル酸エステル、フッ化ビニリデン、トリフルオロエチレン、等のビニル化合物の重合体及び共重合体、ポリビニルアルコール、ポリビニルアセタール、ポリカーボネート、ポリエステル、ポリスルホン、ポリフェニレンオキサイド、ポリウレタン、セルロース樹脂、フェノール樹脂、メラミン樹脂、ケイ素樹脂及びエポキシ樹脂等が挙げられる。

【0200】

本発明における前記連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物を重合した化合物は、前述した電荷発生層上に電荷輸送層として、もしくは電荷発生層上に連鎖重合性官能基を有さない電荷輸送材料と接着樹脂からなる電荷輸送層を形成した後に第2の電荷輸送層として用いることができる。いずれの場合も前記表面層の形成方法は、前記正孔輸送性化合物を含有する溶液を塗布後、重合させるのが一般的であるが、前もって該正孔輸送性化合物を含む溶液を反応させて硬化物を得た後に再度溶剤中に分散あるいは溶解させたもの等を用いて、表面層を形成することも可能である。³⁰

【0201】

これらの溶液を塗布する方法は、例えば浸漬コーティング法、スプレイコーティング法、カーテンコーティング法及びスピンドルコーティング法等が知られているが、効率性/生産性の点からは浸漬コーティング法が好ましい。また、蒸着、プラズマその他の公知の製膜方法が適宜選択できる。

【0202】

本発明において連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物は、熱、可視光や紫外線等の光、更に電子線により重合することができる。従って、本発明における感光層の形成は、感光層用の塗工液に前記連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物と必要によっては重合開始剤を含有させ、塗工液を用いて形成した塗工膜に熱、光又は電子線を照射することによって連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物を重合させる。なお、本発明においては、その中でも電子線によって連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物を重合することが好ましい。電子線による重合の最大の利点は、重合開始剤を必要としない点であり、これにより非常に高純度な3次元感光層の作製が可能となり、良好な電子写真特性が確保される点である。また、短時間でかつ効率的な重合反応であるがゆえに生産性も高く、更には電子線の透過性の良さから、厚膜時や添加剤等の遮蔽物質が膜中に存在する際の硬⁴⁰⁵⁰

化阻害の影響が非常に小さいこと等が挙げられる。但し、連鎖重合性官能基の種類や中心骨格の種類によっては重合反応が進行しにくい場合があり、その際には影響のない範囲内の重合開始剤の添加は可能である。

【 0 2 0 3 】

電子線照射をする場合、加速器としてはスキャニング型、エレクトロカーテン型、ブロードビーム型及びパルス型及びラミナー型等いずれの形式も使用することができる。電子線を照射する場合に、本発明の電子写真感光体においては電気特性及び耐久性能を発現させる上で照射条件が非常に重要である。本発明において、加速電圧は 250 kV 以下が好ましく、最適には 150 kV 以下である。また、線量は好ましくは $1\text{ Mrad} \sim 100\text{ Mrad}$ の範囲、より好ましくは $3\text{ Mrad} \sim 50\text{ Mrad}$ の範囲である。¹⁰ 加速電圧が 250 kV を超えると電子写真感光体特性に対する電子線照射のダメージが増加する傾向にある。また、線量が 1 Mrad よりも少ない場合には硬化が不十分となり易く、線量が 100 Mrad を超えた場合には電子写真感光体特性の劣化が起こり易いので注意が必要である。

【 0 2 0 4 】

前記連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物を電荷輸送層として用いた場合の前記正孔輸送性化合物の量は、重合硬化後の電荷輸送層膜の全質量に対して、前記一般式(1)で示される連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性基Aの水素付加物が20質量%以上が好ましく、特には40質量%以上含有されていることが好ましい。²⁰ 20質量%未満であると電荷輸送能が低下し、感度低下及び残留電位の上昇等の問題点が生じ易い。

【 0 2 0 5 】

前記正孔輸送性化合物を電荷発生層/電荷輸送層上に第2の電荷輸送層として用いた場合、その下層に当たる電荷輸送層は適当な電荷輸送材料、例えば、ポリ-N-ビニルカルバゾール、ポリスチリルアントラセン等の複素環や縮合多環芳香族を有する高分子化合物や、ピラゾリン、イミダゾール、オキサゾール、トリアゾール、カルバゾール等の複素環化合物、トリフェニルメタン等のトリアリールアルカン誘導体、トリフェニルアミン等のトリアリールアミン誘導体、フェニレンジアミン誘導体、N-フェニルカルバゾール誘導体、スチルベン誘導体、ヒドラゾン誘導体等の低分子化合物等を適当な結着樹脂(前述の電荷発生層用樹脂の中から選択できる)と共に溶剤に分散/溶解した溶液を前述の公知の方法によって塗布、乾燥して形成することができる。この場合の電荷輸送材料と結着樹脂の比率は、両者の全質量を100とした場合に電荷輸送材料の質量が $30 \sim 100$ が好ましく、より好ましくは $50 \sim 100$ の範囲で適宜選択される。電荷輸送材料の量がそれ以下であると、電荷輸送能が低下し、感度低下及び残留電位の上昇等の問題点が生じ易い。³⁰

【 0 2 0 6 】

上記に記載したように、連鎖重合性官能基を有する正孔輸送性化合物を重合・硬化した電荷輸送層は下記の方法で示唆熱分析を行った場合、発熱量が 60 mJ/mg 以下であり、好ましくは 40 mJ/mg 以下である。この発熱は、主に電荷輸送層中の未反応の連鎖重合性官能基の反応による物と推定されるが、この発熱量の値が電子写真感光体の耐磨耗性は勿論、繰り返し使用や環境の変動による電位変動、更には転写メモリーやフォトメモリー等の各種メモリーにも極めて相関があり、上記値の場合が極めて良好な特性を発現することが判明した。⁴⁰

【 0 2 0 7 】

(示差走査熱量測定法)

電子写真感光体ドラムの電荷輸送層を、最表面からある特定の深さの成分に偏ることなく均等に削り取り、これを乳鉢等ですりつぶして小さな均一な粒子とした物を試料とした。なお、試料は電子写真感光体ドラムの任意の3ヶ所からそれぞれ採取し、それらを下記の方法で測定を行い、3点の平均を取って本発明の発熱量とした。

【 0 2 0 8 】

示差走査熱量測定は、上記のように採取した試料数 mg をアルミニウム製容器の底部に一様に入れ、ふたをクリンプして測定サンプルを作製した。同様に、何も入れていないアル

ミニウム製容器にふたをクリンプしたものをリファレンスとした。これらを示差走査熱量測定装置にセットし、1分間あたり10ずつ昇温させ、50分間で500昇温させた（尚、サンプル周辺の雰囲気を制御するために、測定中は窒素ガスを50ml/minでフローして行った）。このときに現れる発熱ピークを測定し、発熱ピーク面積から発熱量を決定した。

【0209】

なお、本発明における感光層には、各種添加剤を添加することができる。該添加剤としては、酸化防止剤及び紫外線吸収剤等の劣化防止剤や、フッ素原子含有樹脂微粒子等の潤滑剤等が挙げられる。

【0210】

図1に本発明の電子写真感光体を有するプロセスカートリッジを用いた電子写真装置の概略構成を示す。

【0211】

図において、1はドラム状の本発明の電子写真感光体であり、軸2を中心に矢印方向に所定の周速度で回転駆動される。電子写真感光体1は、回転過程において、一次帯電手段3によりその周面に正又は負の所定電位の均一帯電を受け、次いで、スリット露光やレーザービーム走査露光等の露光手段（不図示）から出力される目的の画像情報の時系列電気デジタル画像信号に対応して強調変調された露光光4を受ける。こうして電子写真感光体1の周面に対し、目的の画像情報に対応した静電潜像が順次形成されていく。

【0212】

形成された静電潜像は、次いで現像手段5によりトナー現像され、不図示の給紙部から電子写真感光体1と転写手段6との間に電子写真感光体1の回転と同期して取り出されて給紙された転写材7に、電子写真感光体1の表面に形成担持されているトナー画像が転写手段6により順次転写されていく。

【0213】

トナー画像の転写を受けた転写材7は、電子写真感光体面から分離されて像定着手段8へ導入されて像定着を受けることにより画像形成物（プリント、コピー）として装置外へプリントアウトされる。

【0214】

像転写後の電子写真感光体1の表面は、クリーニング手段9によって転写残りトナーの除去を受けて清浄面化され、更に前露光手段（不図示）からの前露光光10により除電処理された後、繰り返し画像形成に使用される。なお、一次帯電手段3が帯電ローラー等を用いた接触帯電手段である場合は、前露光は必ずしも必要ではない。

【0215】

本発明においては、上述の電子写真感光体1、一次帯電手段3、現像手段5及びクリーニング手段9等の構成要素のうち、複数のものを容器11に納めてプロセスカートリッジとして一体に結合して構成し、このプロセスカートリッジを複写機やレーザービームプリンター等の電子写真装置本体に対して着脱自在に構成してもよい。例えば、一次帯電手段3、現像手段5及びクリーニング手段9の少なくとも一つを電子写真感光体1と共に一体に支持してカートリッジ化して、装置本体のレール等の案内手段12を用いて装置本体に着脱自在なプロセスカートリッジとすることができます。

【0216】

また、露光光4は、電子写真装置が複写機やプリンターである場合には、原稿からの反射光や透過光、あるいは、センサーで原稿を読み取り、信号化し、この信号に従って行われるレーザービームの走査、LEDアレイの駆動及び液晶シャッターアレイの駆動等により照射される光である。

【0217】

本発明の電子写真感光体は、電子写真複写機に利用するのみならず、レーザービームプリンター、CRTプリンター、LEDプリンター、FAX、液晶プリンター及びレーザー製版等の電子写真応用分野にも広く用いることができる。

10

20

30

40

50

【0218】

【実施例】

以下、実施例を挙げて本発明を更に詳細に説明する。なお、実施例中の「部」は質量部を示す。

【0219】

(実施例1)

まず導電層用の塗料を以下の手順で調製した。10質量%の酸化アンチモンを含有する酸化スズで被覆した導電性酸化チタン粉体50部、フェノール樹脂25部、メチルセロソルブ20部、メタノール5部及びシリコーン化合物(ポリジメチルシロキサンポリオキシアルキレン共重合体、平均分子量3000)0.002部を1mmガラスピーズを用いたサンドミル装置で2時間分散して調製した。この塗料を30mmのアルミニウムシリンダー上に浸漬塗布方法で塗布し、150で30分間乾燥することによって、膜厚が18 μm の導電層を形成した。10

【0220】

次に、N-メトキシメチル化ナイロン5部をメタノール95部中に溶解し、中間層用塗料を調製した。この塗料を前記の導電層上に浸漬コーティング法によって塗布し、100で20分間乾燥することによって、膜厚が0.5 μm の中間層を形成した。

【0221】

次に、CuKの特性X線回折におけるプラグ角(2±0.2度)が9.0度、14.2度、23.9度及び27.1度に強いピ-クを有するオキシチタニウムフタロシアニンを3部、ポリビニルブチラ-ル(商品名:エスレックBM2、積水化学(株)製)3.5部及びシクロヘキサンノン35部を1mmガラスピ-ズを用いたサンドミル装置で2時間分散して、その後に酢酸エチル60部を加えて電荷発生層用塗料を調製した。この塗料を前記の中間層の上に浸漬塗布方法で塗布して90で10分間乾燥することによって、膜厚が0.2 μm の電荷発生層を形成した。20

【0222】

次いで、化合物例No.6の正孔輸送性化合物60部をモノクロロベンゼン50部/ジクロロメタン30部の混合溶媒中に溶解し、電荷輸送層用塗料を調製した。この塗料を前記の電荷発生層上にコーティングし、加速電圧150kV、線量7Mradの条件で電子線を照射し樹脂を硬化することによって、膜厚が15 μm の電荷輸送層を形成し、電子写真感光体を得た。30

【0223】

この電子写真感光体をレーザービームプリンター(Laser Writer 16/600PS: Apple社製)の改造機に装着し、常温常湿下(23/55%RH)(N/N)で、初期暗部電位(Vd)が-700(V)になるように帶電設定をし、これに波長780(nm)のレーザー光を照射して-700(V)の電位を-200(V)まで下げるのに必要な光量(E500)を測定し感度とした。更に、20($\mu\text{J}/\text{cm}^2$)の光量を照射した場合の電位を残留電位(Vr)として初期特性を測定した。なお、その他の条件は、転写電流:+5.5 μA 、プロセススピード:96mm/secで行った。その後、環境を高温高湿下(32/85%RH)(H/H)に代え、V1の常温常湿下からの変動量(V1)を測定した。40

【0224】

次に、新たに上記と同様の方法で作製した電子写真感光体を、上記と同様の改造機に装着して常温低湿環境下(23/10%RH)(N/L)で連続5000枚の通紙耐久を行って、初期と耐久直後の暗部電位と明部電位の変動量をVd¹とV1¹を測定した。更に、その電子写真感光体の削れ量をケットで測定を行った。

【0225】

また更に、以下のようにして転写メモリー及びフォトメモリーの測定を行った。転写メモリーの測定は、新たに上記と同様の方法で作製した電子写真感光体を、上記と同様の改造機に装着しN/Nで、転写電流OFF時の一次帯電電位をVd²、転写電流ON時の一次50

帶電電位を V_d^3 として、 $V_d^2 - V_d^3$ を測定した。更に、白色光に対するフォトメモリーの測定として、新たに上記と同様の方法で作製した電子写真感光体を上記と同様の改造機に装着し（低温低湿環境下 N / N）で、初期暗部電位（ V_d ） / 初期明部電位（ V_1 ）が -700 (V) / -200 (V) になるように帶電及び露光光量を設定し、次に、この電子写真感光体に暗部と明部ができるようにマスキングし、蛍光灯下で 3000 lux、20 分間光照射した後、5 分間放置し、同様に電位を測定し暗部電位の初期との変化量の絶対値（ V_d^4 ）をフォトメモリーとして測定した。

【0226】

更に、上記と同様にして作製した電子写真感光体ドラムの電荷輸送層部分を先に示した方法でサンプリングし示差走査熱量測定を行った。上記のそれぞれの結果を表 3 に示す。 10

【0227】

（実施例 2 ~ 34 及び比較例 1 ~ 20）

正孔輸送性化合物、電子線の照射線量を表 3 及び表 4 のように代えた以外は、実施例 1 と同様にして電子写真感光体を作製し、評価した。結果を表 3 及び表 4 に示す。

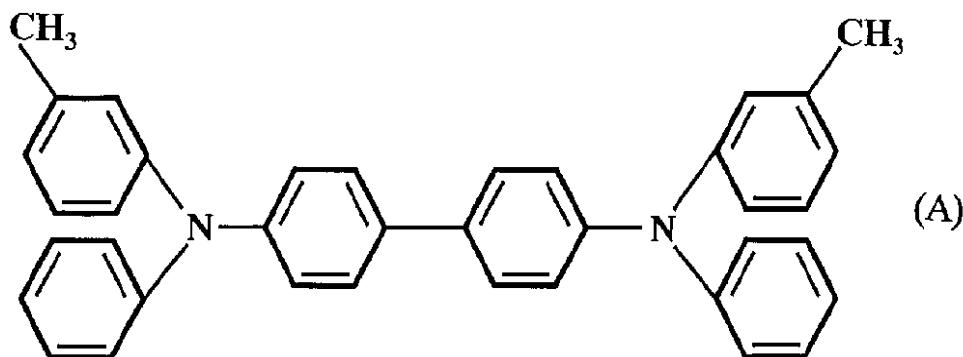
【0228】

（比較例 21）

実施例 1 において電荷発生層を形成した後、下記構造式のトリアリールアミン化合物（A）20 部及びポリカーボネート樹脂 Z 型（平均分子量 2 万）10 部をモノクロロベンゼン 50 部及びジクロロメタン 20 部の混合溶媒中に溶解して調製した電荷輸送層用塗料を用いて、前記電荷発生層上に電荷輸送層を形成し電子写真感光体を得た。このときの電荷輸送層の膜厚は 18 μm であった。この電子写真感光体を実施例 1 と同様にして評価し、結果を表 4 に示す。 20

【0229】

【化 122】



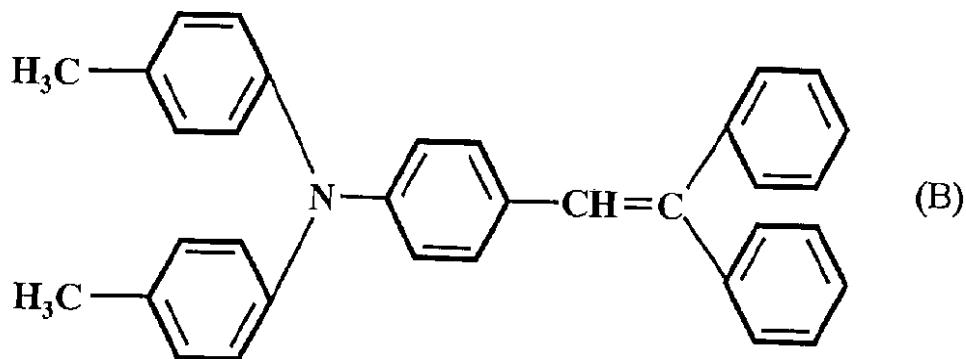
【0230】

（比較例 22）

比較例 21 の電荷輸送化合物を下記のスチリル系化合物（B）に代えた以外は、比較例 2 1 と同様な方法で電子写真感光体を作製し、同様な評価を行った。結果を表 4 に示す。 40

【0231】

【化 123】



10

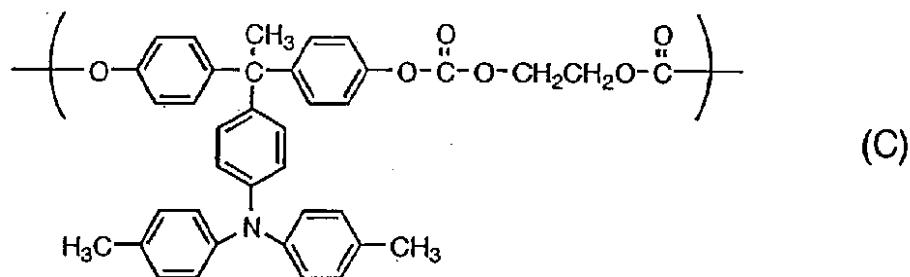
【0232】

(比較例23)

実施例1において電荷発生層を形成した後、特開平8-248649号公報の10~11頁に記載されている製造法に従って合成した下記構造式のポリカーボネート樹脂(C)20部をテトラヒドロフラン80部に溶解して調製した電荷輸送層用塗料を用いて、前記電荷発生層上に電荷輸送層を形成した。このときの電荷輸送層の膜厚は18μmであった。この電子写真感光体を実施例1と同様にして評価した。結果を表4に示す。

【0233】

【化124】



20

30

【0234】

表3及び表4より明らかなように、本発明の電子写真感光体では高感度、低残留電位であり、各種環境での電位変動も極めて小さく、安定した特性を有している。更に、転写メモリーやフォトメモリー等も極めて小さく優れた特性を発現することが明らかである。なお、これらの特性は電荷輸送層の示差走査熱量測定の発熱量と相関が見られ、発熱量が60mJ/mg以下の場合が良好で、40mJ/mg以下の場合が特に良好であることが明確である。

【0235】

(実施例35)

まず導電層用の塗料を以下の手順で調製した。10%の酸化アンチモンを含有する酸化スズで被覆した導電性酸化チタン粉体50部、フェノール樹脂25部、メチルセロソルブ20部、メタノール5部及びシリコーンオイル(ポリジメチルシロキサンポリオキシアルキレン共重合体、平均分子量3000)0.002部を1mmガラスピーブを用いたサンドミル装置で2時間分散して調製した。この塗料を30mmのアルミニウムシリンダー上に浸漬塗布方法で塗布し、140℃で30分間乾燥することによって、膜厚が20μmの導電層を形成した。

【0236】

次に、N-メトキシメチル化ナイロン5部をメタノール95部中に溶解し、中間層用塗料を調製した。この塗料を前記の導電層上に浸漬コーティング法によって塗布し、100

40

50

で20分間乾燥することによって、膜厚が0.65μmの中間層を形成した。

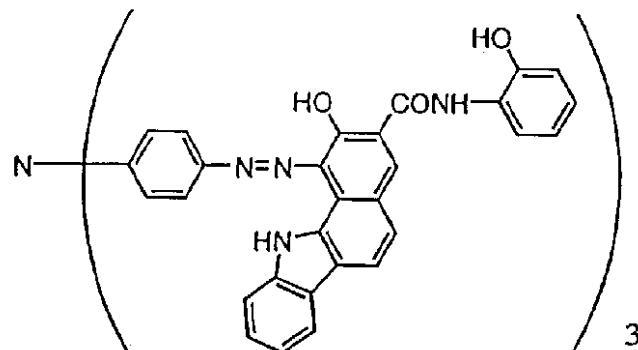
【0237】

次に、下記のビスアゾ顔料5部、ポリビニルブチラール樹脂2部及びシクロヘキサンノン60部を、1mmガラスビーズを用いたサンドミル装置で24時間分散し、更にテトラヒドロフラン60部を加えて電荷発生層用塗料とした。この塗料を前記の中間層の上に浸漬コーティング法で塗布して、100℃で15分間乾燥することによって、膜厚が0.25μmの電荷発生層を形成した。

【0238】

【化125】

10



20

【0239】

次いで、化合物例No.263の正孔輸送性化合物60部をモノクロロベンゼン50部/ジクロロメタン30部の混合溶媒中に溶解し、電荷輸送層用塗料を調製した。この塗料を前記の電荷発生層上にコーティングし、加速電圧150kV、線量30Mradの条件下電子線を照射し樹脂を硬化することによって、膜厚が13μmの電荷輸送層を形成し、電子写真感光体を得た。

【0240】

この様にして作製した電子写真感光体を、パルス変調装置を搭載しているキヤノン製プリンターLB P-2000に装着し、以下の画像評価を行った。

30

【0241】

(ドット、文字再現性の評価)

暗部電位Vd = -650V、明部電位V1 = -200Vに設定し、1ドット1スペース画像と文字(5ポイント)画像の出力を行った。

【0242】

(ゴーストの評価)

常温常湿下(23°C / 55%RH)(N/N)で、初期に、ドラム一周分適当な文字パターンを印字し、その後全面ハーフトーン画像を取りゴースト現象が出ているかどうかを確認した。次に、下記耐久パターンを2000枚連続プリントし耐久後に全面ハーフトーン画像を取り耐久後のゴースト現象が出ているかどうかを確認した。耐久パターンは約2mm幅の線を縦横7mmおきに印字した。画像サンプルは全面黒と、1ドット1スペースのドット密度の画像を用い、機械の現像ボリューム、F5(中心値)とF9(濃度薄い)で各々サンプリングした。評価基準はゴーストが見えないものをランク5とし、1ドット1スペースF9で見えるものをランク4、1ドット1スペースF5で見えるものをランク3、全面黒F9で見えるものをランク2、全面黒F5で見えるものをランク1とした。

40

【0243】

更に、上記と同様にして作製した電子写真感光体ドラムの電荷輸送層部分を先に示した方法でサンプリングし示差走査熱量測定を行った。上記の結果を以下の表5に示す。

【0244】

(実施例36~42及び比較例24~28)

50

正孔輸送性化合物、電子線の照射線量を表5のように代えた以外は、実施例35と同様にして電子写真感光体を作製し、評価した。結果を表5に示す。

【0245】

(比較例29)

実施例35において電荷発生層迄を形成した後、比較例21と全く同じ処方で電荷輸送層を作製し(但し膜厚は $13\text{ }\mu\text{m}$)電子写真感光体を作製し、実施例35と同様にして評価した。結果を表5に示す。

【0246】

(比較例30)

実施例35において電荷発生層迄を形成した後、比較例23と全く同じ処方で電荷輸送層を作製し(但し膜厚は $13\text{ }\mu\text{m}$)電子写真感光体を作製し、実施例35と同様にして評価した。結果を表5に示す。10

【0247】

これらの結果から、本発明の電子写真感光体は、ドットの再現性や文字の再現性に優れ高解像度の出力画像が得られることがわかる。また、欠陥がなく鮮明な画像が安定して得られた。これらの結果は、電荷輸送層の示差走査熱量測定の発熱量と相関が見られ、発熱量が 60 mJ/mg 以下の場合が良好で、 40 mJ/mg 以下の場合が特に良好であることが明確である。

【0248】

【表3】

20

表3

実施例	電荷 輸送材料 No.	線量 (Mrad)	発熱量 (mJ/mg)	初期特性		環境変動			5000枚耐久 (N/L)			転写 メモリー Vd2-Vd3 (V)	フォト メモリー ΔVd4 (V)
				E Δ 500 (μ J/cm ²)	Vr (-V)	Δ Vl (-V)	Δ Vd1 (+V)	Δ Vl (+V)	削れ量 (μ m)				
1	6	7	45	0.22	25	18	20	15	1.5	15	15	20	
2	6	10	35	0.21	25	10	10	15	0.7	5	5	8	
3	6	20	3.4	0.20	25	5	5	5	0.5	0	0	5	
4	118	20	21	0.23	25	8	15	10	1.5	10	10	5	
5	111	20	50	0.24	25	20	20	20	2.5	18	18		
6	165	10	49	0.20	20	15	15	10	2.0	15	15		
7	165	20	18	0.20	20	5	5	0	1.0	5	5		
8	151	10	41	0.21	25	20	15	15	1.0	15	15		
9	151	30	5	0.20	20	5	5	5	0.4	5	5		
10	152	20	20	0.24	25	10	10	5	1.1	5	5		
11	263	15	55	0.22	25	17	20	20	2.0	15	15		
12	263	20	35	0.19	20	10	10	5	1.4	10	10		
13	263	40	2.5	0.20	25	5	0	5	1.2	0	5		
14	243	20	30	0.29	30	10	15	15	2.0	15	10		
15	296	50	20	0.24	25	15	10	15	2.2	10	15		
16	326	40	15	0.21	20	15	15	15	1.9	10	15		
17	335	20	55	0.23	25	20	20	15	1.8	15	15		

【0 2 4 9】
【端4】

表3(つづき)

実施例	電荷 輸送材料 No.	線量 (Mrad)	発熱量 (mJ/mg)	初期特性		環境変動		5000枚耐久(N/L)		転写 ×モリー Vd2-Vd3 (V)	フォト メモリー ΔVd4 (V)
				EΔ500 (μJ/cm ²)	V _r (-V)	ΔV ₁ (-V)	ΔV _{d1} (+V)	ΔV ₁ (+V)	削れ量 (μm)		
18	335	30	25	0.21	20	10	10	10	1.0	5	10
19	335	40	9	0.20	20	5	5	10	0.9	5	5
20	320	20	45	0.20	20	15	15	15	1.5	10	15
21	320	40	11	0.20	20	5	5	5	1.1	0	5
22	358	20	47	0.24	25	20	15	20	1.0	15	10
23	358	40	3	0.23	20	5	5	5	0.6	5	5
24	400	30	11	0.27	25	5	5	10	1.2	5	5
25	403	30	12	0.27	30	10	15	15	1.5	15	15
26	317	15	45	0.21	25	15	10	15	1.6	15	15
27	317	30	7	0.20	20	0	5	5	1.1	5	5
28	267	25	45	0.21	25	17	15	10	1.8	20	15
29	267	40	6	0.20	20	10	5	5	1.2	10	5
30	310	15	51	0.21	20	15	15	15	1.6	10	15
31	310	25	18	0.21	20	5	0	5	0.9	5	5
32	310	40	2.5	0.21	25	0	0	0	0.7	5	0
33	204	15	42	0.25	30	15	15	20	0.8	15	15
34	204	30	4.1	0.24	30	5	5	10	0.4	5	5

【0 2 5 0】
【満 5】

表4

比較例	電荷 輸送材料 No.	線量 (Mrad)	発熱量 (mJ/mg)	初期特性			環境変動			5000枚耐久 (N/L)			転写 メモリー Vd2-Vd3 (V)	フォト メモリー ΔVd4 (V)
				E Δ500 (μJ/cm ²)	V _r (-V)	ΔV1 (-V)	ΔVd1 (+V)	ΔV11 (+V)	削れ量 (μm)	35	55			
1	6	2	95	0.28	30	50	45	50	6.0	35	55			
2	118	10	80	0.29	30	45	55	45	7.1	40	45			
3	111	10	91	0.27	35	55	60	50	6.4	45	45			
4	165	5	65	0.23	25	45	40	45	4.9	35	40			
5	151	5	72	0.24	30	65	55	60	4.4	40	45			
6	152	10	68	0.25	30	55	60	45	5.8	35	35			
7	263	5	84	0.25	30	65	60	60	5.2	45	50			
8	263	10	64	0.24	30	45	45	40	4.7	40	40			
9	243	10	70	0.30	35	50	0.45	35	5.8	65	55			
10	296	30	77	0.25	30	60	50	50	6.5	50	35			
11	326	10	83	0.24	30	55	45	50	4.3	35	35			
12	335	10	71	0.23	30	60	40	40	4.0	30	35			
13	320	10	74	0.24	30	55	50	50	4.2	45	40			
14	358	10	88	0.25	30	45	50	45	3.8	40	30			
15	400	10	68	0.30	30	40	45	50	4.8	30	30			
16	403	10	78	0.31	35	60	65	65	5.2	60	45			
17	317	10	65	0.22	30	45	50	45	4.1	40	45			
18	267	15	71	0.21	25	40	45	40	5.0	35	40			
19	310	10	73	0.22	25	35	40	35	4.3	40	35			
20	204	8	63	0.26	30	60	55	45	3.5	55	40			
21	式 (A)	—	—	0.32	30	80	115	85	8.5	80	70			
22	式 (B)	—	—	0.32	30	80	120	75	9.2	75	60			
23	式 (C)	—	—	0.42	65	90	150	95	7.1	85	60			

【0251】
【消6】

表 5

	電荷輸送材料 N o.	線量 (Mrad)	発熱量 (Mj/mg)	ドット 再現性	文字 再現性	初期 ゴースト レベル	耐久後 ゴースト レベル
実施例 35	263	30	12	◎	◎	5	4
36	263	15	53	○	○	4	4
37	263	40	2.8	◎	○	5	5
38	203	30	25	○	○	5	5
39	247	30	6.2	○	○	5	5
40	247	15	43	○	○	4	4
41	353	20	5.2	○	○	5	5
42	328	30	2.1	○	○	5	5
比較例 24	263	10	65	○	△	5	2
25	203	10	72	△	○	4	2
26	247	10	66	△	△	5	1
26	353	8	72	△	○	5	1
28	328	15	63	△	○	5	2
29	構造式 (A)	—	—	△	○	5	2
30	構造式 (C)	—	—	×	△	4	1

【0252】

【発明の効果】

本発明によれば、耐磨耗性が極めて良好であるばかりか、繰り返し使用や環境の変動によらず、安定して優れた電位特性を示し、転写メモリーやフォトメモリー等のメモリーも小さく、かつカブリ等の画像欠陥のない良好な画質を与えることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の電子写真感光体を有するプロセスカートリッジを用いる電子写真装置の概略構成の例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 電子写真感光体
- 2 軸
- 3 帯電手段
- 4 露光光
- 5 現像手段
- 6 転写手段
- 7 転写材
- 8 定着手段
- 9 クリーニング手段
- 10 前露光光
- 11 プロセスカートリッジ容器
- 12 案内手段

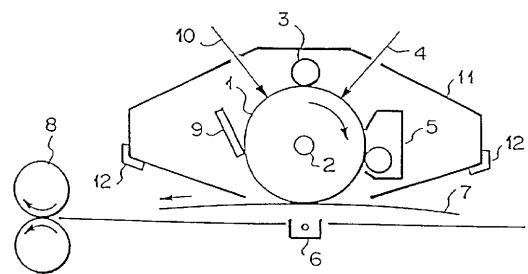
10

20

30

40

【図1】



フロントページの続き

(72)発明者 丸山 晶夫

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

審査官 高松 大

(56)参考文献 特開平04-133066(JP,A)

特開平10-097090(JP,A)

特開昭64-001728(JP,A)

特開2001-166509(JP,A)

特開平11-218952(JP,A)

特開平11-030869(JP,A)

特開平11-149821(JP,A)

特開平11-148067(JP,A)

特開平09-316012(JP,A)

特開平02-214867(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G03G 5/147

G03G 5/06

G03G 5/07